

OSAKA KYOIKU



人

に
ま
っ
す
ぐ
。

UNIVERSITY

大阪教育大学

2027

OSAKA KYOIKU UNIVERSITY GUIDE BOOK 2027



国立大学法人
大阪教育大学

大阪教育大学 学務部入試課

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1

TEL072-978-3324

<https://osaka-kyoiku.ac.jp/>

企画・編集・発行／総務部広報室

公式SNS



UD FONT 見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

人 O.K.U. にまつすぐ。

OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

大阪教育大学は、1874(明治7)年に設置された教員伝習所を起源とし、2024(令和6)年に創基150周年を迎えました。長い歴史の中で本学が大切にしてきたのは、常に時代の変化に向き合い、教育の未来を切り開く姿勢です。

いま、社会はかつてないスピードで変化し、学校現場の課題も複雑化しています。こうした時代に応えるため、本学は2022年3月、文部科学大臣より「教員養成フラッグシップ大学」に指定されました。全国の教員養成をリードする大学として、今年で5年目を迎えています。

本学は産官学の多様なパートナーと連携し、教育現場の課題に応える実践的な教員養成改革を推進しています。めざすのは、「問い続け、寄り添える教師」を育てること。そのための教職プログラムを全国へ広げる役割も担っています。

日本の教育課題が縮図化された都市、大阪において、さまざまな主体と協働しながら、教育DXやダイバーシティ教育を重点的に促進し、日本の未来の教育とともに創造していきます。

超スマート社会が到来するこれからの時代、教師にはデジタルテクノロジーの理解と活用、そして創造性やイノベーションを生み出す力が求められます。本学では、教員養成フラッグシップ大学としての特性を活かし、協働・省察を重視した先導的なカリキュラムを開発して、2024年度から学校教育教員養成課程に導入し、教育DXをけん引する学びを実現しています。

また、急速に変化する社会の中で、日本の教育は新たなステージへ進んでいます。学校や教員だけでなく、教育に関わる多様な専門領域の発展が欠かせません。本学では、最先端の教育課題に挑み、夢を語り合い、励まし合いながら成長できる仲間と出会うことができます。

大阪教育大学での学びは、皆さんが「次世代の教育を担う力」を育む出発点になります。日本の教育の未来を切り開く一歩を、ここから踏み出す皆さんを心よりお待ちしております。

大阪教育大学 学長 岡本 幾子

学長挨拶	001
学部・課程・学科・専攻 一覧	003
数字でわかる大教大	005
教育実習	007
就職支援	011
海外留学・国際交流	015
クラブ&サークル	019
一人暮らし	023
年間行事	027
食堂&ショップ	029
学位プログラムと3つのポリシー	031
学校教育教員養成課程	033
養護教諭養成課程	057
教育協働学科	059
大学院／特別専攻科	073
柏原キャンパス	075
天王寺キャンパス	079
附属学校園	080
就職DATA	083
学生DATA	086
学部入試結果	087
入学科・授業料・奨学金	089
アドミッション・ポリシー	091
ディプロマ・ポリシー	093
カリキュラム・ポリシー	094
全国から集まる大教大生	095
アクセス	097

大阪教育大学の沿革



学校現場と教育に関わるさまざまな

職業とを「つなぐ」人材を育てる

学部・課程・学科・専攻 一覧

学 部	キャンパス	課程・学科	専 攻	コース		募集 人員	取得できる教員免許状(すべて一種免許状			※は二種免許状も可能)※1			卒業後のイメージ		
							幼	小	中	高	特支	養護			
教 育 学 部	柏 原	学校教育 教員養成課程	幼小教育	幼児教育		15	●	◎						幼稚園教諭、小学校教諭など	
				小学校教育		45	◎	●	□* 技術・家庭以外の教科		□工業・家庭・書道以外の教科				小学校教諭、幼稚園教諭など
			次世代教育	教育探究		40		●	○*国語・英語・ 社会から選択		○国語・英語・[地理歴史・ 公民]・情報から選択				小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭など
				ICT教育※3	①	20		●	□*		●情報				
					②			□*	●数学		●情報 ●数学				
			教科教育	国語教育		45		●	●国語		◎国語		□ □(各コースの高に記載した以外の教科)		小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭など
				英語教育		25		●	●英語		◎英語				
				社会科教育		40		●	●社会		◎地理歴史 ◎公民				
				数学教育		45		●	●数学		◎数学				
				理科教育		50		●	●理科		◎理科				
				技術教育		10		●	●技術		◎工業				
				家政教育		15		●	●家庭		◎家庭				
				保健体育		40		●	●保健体育		◎保健体育				
				音楽教育		20		●	●音楽		◎音楽				
				美術・ 書道教育	美術分野	25		●	●美術		◎美術				
					書道分野			●	□*		●書道				
			特別支援教育		45		●	□* 上記の各教科		□上記の各教科		●		特別支援学校教諭、小学校教諭など	
	天王寺	小学校教育(夜間) 5年		40		●							小学校教諭など		
		3 年次編入学		(25)											
	小 計						520(25)								
	柏 原	養護教諭養成課程					30						●	養護教諭など	
	計						550(25)								
	柏 原	教育協働学科	教育 イノベーション	数理・知能情報		55			◎数学		◎数学 ◎情報				教育委員会など教育行政職員(情報系技術職員)、企業(情報処理・情報通信系、学習用ソフトウェア・デジタル教材開発、教育現場のICT化)、学校事務職員・大学事務職員、教育サービス企業、中学校教諭、高等学校教諭 など
				環境安全科学		75			◎理科		◎理科				教育委員会など教育行政職員、教育関連NPO職員、企業(教科書、学習用ソフトウェア・デジタル教材開発)、教育系シンクタンク企業、学校事務職員・大学事務職員、教育サービス企業、中学校教諭、高等学校教諭 など
			教育 コミュニティ 支援	心理科学		40									企業・公務員・団体職員(心理・人材育成・社会福祉系)、大学院(公認心理師資格取得を含む)、教育サービス企業 など
				スポーツ健康		50			◎保健体育		◎保健体育				企業(健康・スポーツ系)、スポーツトレーナー、公務員・団体職員(スポーツ振興系)、部活動・ジュニアスポーツ指導者、教育サービス企業、中学校教諭、高等学校教諭 など
				芸術表現	音楽分野	40			◎音楽		◎音楽				企業(デザイン・広告・映像・音楽制作・芸術教材開発等)、公務員・団体職員(芸術文化振興系、劇場、美術館等)、部活動・音楽・美術教室の指導者、教育サービス企業、中学校教諭、高等学校教諭 など
美術分野								◎美術		◎美術					
グローバル 教育			日本語教育		55			◎国語		◎国語				日本語学校教師、公務員・団体職員(国際交流系)、通訳・翻訳業、教育サービス企業、中学校教諭、高等学校教諭 など	
			国際協働英語		35			◎英語		◎英語				国際交流機関職員、公務員・団体職員(国際交流系)、英会話講師、通訳・翻訳業、教育サービス企業、中学校教諭、高等学校教諭 など	
計						350	※1 ●は卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状。 ◎及び○は卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することにより取得が可能な教員免許状。学校教育教員養成課程では取得を								
合 計						900(25)	ただし、●以外の免許状は卒業と同時に取得することは保証されません。○及び□は免許・教科別の受入人数や条件(選考等)があるため、入学後に申請が必要であり、履修の許可を得られるとは限りません。また、履修の許可を得られても、時間								
							※2 学校教育教員養成課程 幼小教育専攻の幼児教育コース及び小学校教育コースは、1～2年次を柏原キャンパス、3～4年次を天王寺キャンパスで修学します。								

()は夜間3年次編入を表し、外数。

※1 ●は卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状。
◎及び○は卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することにより取得が可能な教員免許状。学校教育教員養成課程では取得を推奨する。◎は自専攻・コース科目、○は他専攻・コース科目から必要な単位を修得する。
□は取得をめざすことができる教員免許状。

ただし、●以外の免許状は卒業と同時に取得することは保証されません。○及び□は免許・教科別の受入人数や条件(選考等)があるため、入学後に申請が必要であり、履修の許可を得られるとは限りません。また、履修の許可を得られても、時間割の重複や科目ごとの受講人数の制限等により、4年間では必要な科目を履修することができず、教員免許状を取得できない場合があります。
□の免許状取得に必要な科目は、すべて柏原キャンパスにて開講予定です。

※2 学校教育教員養成課程 幼小教育専攻の幼児教育コース及び小学校教育コースは、1～2年次を柏原キャンパス、3～4年次を天王寺キャンパスで修学します。
※3 ICT教育コースは、出願時に①②いずれかを選択していたできます。

取得可能な資格等

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員免許状を取得できる課程・専攻等において、「学校図書館司書教諭」の資格取得のための履修が可能です。また、全課程・学科において、「図書館司書」「学校司書※4」の資格等取得のための履修が可能です。ただし、「図書館司書」「学校司書」の資格等取得に必要な授業は、柏原キャンパスにて開講予定です。

学校図書館司書教諭

小学校などで教諭として採用された者が、学校教育に必要な書籍や視聴覚資料の管理、読書指導を行う仕事です。司書教諭として勤務するための前提として、小学校などの教諭の普通免許状を取得する必要があります。

図書館司書

公立または私立の図書館で勤務し、資料の収集・提供、読書相談や調査研究の援助、読書活動の助成、集会・行事の企画などを行う仕事です。図書館で働く職員のすべてが司書であるわけではなく、図書館における専門的な職務に携わる専門職です。

学校司書

学校図書館において、職員として児童又は生徒及び教員が学校図書館を利用するために必要とされる事務的仕事をを行います。

※4 学校司書は学校図書館法上、資格としての定めはありません。文部科学省が定める学校司書養成のモデルカリキュラムに対応する科目を開講し、修了者には単位取得証明書を発行します。

※この他にも取得可能な資格がありますので、詳細については専攻・コースごとのページをご覧ください。

数字でわかる 大教大

多種多様な専攻・
コース設定で様々な学びを実現！

世界に触れよう！
豊富な海外協定校

6割の学生が
課外活動で活動！
(クラブ・サークル等)

昨年度オープンキャンパス
参加者数

歴史と伝統
日本有数の
教育大学

緑に囲まれた
広大な柏原キャンパス

教員志望者に
おける教員就職率

就職希望者に
おける就職率

西日本最大の
教員養成大学

約6割の学費

令和7年度授業料
免除額の計

大阪府内に
2キャンパス

専攻・コース設定
24
P.03

国・地域 海外協定校
15 38
P.18

58.4%
(令和5年度
学生生活実態調査より)
P.21

4,116名
(2日間計、保護者含む)
P.28

2024年に創基150周年
大阪教育大学
150th
ANNIVERSARY
P.02

67万m²
阪神甲子園球場の
約17倍
P.75

98.6%
(令和7年度末学部卒業生)
P.83

学部学生数
3,920名
P.86

96.2%
(令和7年度末学部卒業生)
P.83

66.9%
私立大学文系平均100とした場合、
本学の学生納付金4年間合計は
66.9%の学費となります。
P.89

**4億
5,000万円**
(前後期免除者数約1,000人)
P.89

2っ
P.97

教育実習

大教大だからできる超現場主義！
リアルな実習だから実感できる！

T E A C H I N G P R A C T I C E

一人ひとりに寄り添う
そんな先生になりたい。



学校教育教員養成課程
中等教育専攻 美術・書道教育コース
酒井 玲奈さん
(出身校: 岐阜県立長良高等学校)

教員になろうと思った理由は？

妹の存在が大きいです。妹は中学生のときに不登校になりました。妹のように悩みや苦しさを抱えている子どもは学校に多くいると感じています。一人で抱え込み、どこにも相談できず、つらい思いが届かないような環境を変えたいと考えるようになりました。そのため、子どもたちの変化に早い段階で気づき、適切な支援につなげられる教員になろうと思いました。

どんな先生になりたいですか？

悩みや苦しみを抱えている子を早期に発見し、適切な支援につなげられる先生になりたいです。子どもたち一人ひとりに寄り添う姿勢を何よりも大切に、多面的な観察と相談しやすい環境づくりを通して、早期発見に努めたいです。また、子どもたちの小さな変化も見逃さず、適切な支援ができるよう学び続けていきます。

大教大を選んだ理由は？

学校の先生になりたいという思いと、大好きな書道を学びたいという願いの両方を実現できる大学だと考えたからです。母が大教大を見つけてくれたことに加え、高校の先生からも勧めていただきました。また、私自身も自分のことを誰も知らない環境で一から挑戦したいと考え、大教大への進学を決めました。

受験生へメッセージまたはアドバイス

受験勉強で忙しい毎日だと思いますが、何気ない日常やほっとできる時間も大切にしてほしいと感じています。思うようにいかず不安になることもあるかもしれませんが、これまでの努力は必ず力になっています。皆さんが笑顔で受験生活を締めくくれることを心から願っています。最後まで自分を信じて、諦めずに頑張ってください。大教大でお会いできるのを楽しみにしています！



教員になろうと思った理由は？

幼い頃からピアノを続けており、将来は何らかの形で音楽に関わる仕事がしたいと考えていました。その中で音楽科の教員という仕事に興味を持ったことがきっかけです。ピアノを通して私自身が感じてきた音楽の楽しさや魅力を、多くの生徒に伝えたいと思うようになりました。教員になろうと思いました。



教育協働学科
芸術表現専攻 音楽表現コース
宮川 桜さん
(出身校: 高松市立高松第一高等学校)

どんな先生になりたいですか？

どんなに忙しい状況でも目の前の生徒一人ひとりとしっかり向き合える先生になりたいと考えています。教育実習を通して教師の多忙さを実感した一方で、生徒の成長を間近で見届けられることに大きなやりがいを感じました。また、教師として自分自身も学び続ける姿勢を大切にしたいです。教育を取り巻く環境や生徒の価値観は変化し続けるため、常に新しい知識や指導方法を学び続け、より良い教育を提供できる教師でありたいです。

音楽の楽しさや魅力を伝えたくて 教員の道を進みました。

大教大の好きなところは？

大阪教育大学の魅力は、教員をめざす仲間と切磋琢磨しながら学べる環境があることです。同じ目標を持つ学生が多いため、授業や教育実習、教員採用試験に向けて互いに刺激を受けながら成長することができます。また、教員養成に関する手厚いサポートに加え、キャリア形成の授業や進路相談も充実しているため、教員だけでなく幅広い進路について考え、自分に合った将来を選択できる点も魅力だと感じています。

大教大を選んだ理由は？

地元のピアノの先生の勧めがきっかけで、この大学を選びました。教育大学でありながら、所属する音楽表現コースでは高度なレッスンを受けることができ、音楽を専門的に学びながら教師をめざせる点に魅力を感じました。また、教員志望の学生が多く、真面目で落ち着いた雰囲気の子が多いと聞いていましたが、実際に入学してみてもその印象は変わらず、自分に合った環境だと感じています。

受験生へメッセージまたはアドバイス

受験勉強は苦しいこともあります。乗り越えた先には楽しい大学生活が待っています。大阪教育大学では、勉強だけでなく、部活動や行事、友人との出会いなど、多くの貴重な経験をすることができます。焦らず自分のペースで努力を続け、悔いのない受験生活を送ってください。応援しています！



学校現場での実践



POINT 1

積み上げ型の教育実践システム

POINT 2

理論と実践を往還する「省察」科目の導入

POINT 3

電子ポートフォリオによる学び診断

1・3・4回生での教育実習に加えて、2回生からの段階に応じた学校インターンシップでは、児童・生徒との関わり方や授業づくりに加えて今日的な教育課題に触れ、学校教育の現状について実践的に学びます。その学びを大学での修学につなぎ、教員としての高い実践力を身に付けます。

教育実習・学校インターンシップを通じて自らの実践をふりかえり、捉え直しながら、新たな目標の設定、実践、ふりかえりを繰り返す「省察」科目を設定します。

夢を叶えるために、学修成果評価システムを活用し、授業の成績や課外活動・ボランティア活動など「学びの軌跡」を蓄積し、自分の成長を確認します。「履修カルテ」と「教育実習カルテ」で構成されます。

履修カルテのポイント

自分を知る

- 全学生が入力
- 学習や卒業後の目標を自分で設定
- 授業科目の履修状況と学修成果を把握

何を学んだか何を感じたかを記録

- 履修した全ての授業科目についてふりかえり(自由記述)を入力
- 学外実習・ボランティア活動の状況も記録

評価する

- 教員に必要な様々な資質能力について自己評価
- 指導教員による指導・助言(年2回)

教育実習カルテ

教育実習カルテは、それぞれの実習の指標にそって作成しています。自分の到達目標を設定し、実習にのぞみ、実習終了後はそれぞれの指標について自己評価を行います。また、実習校による学校評価が表示されます。

子ども理解

子どもの人権を尊重した関わり

学級づくりや集団づくりへの関わり

教職員組織への関わり

授業の実践

指導方法や技術の活用

ルールやマナーなどの遵守

教職員とのコミュニケーション

「なりたい」から「なる!」につながる実習

大阪教育大学では「4年間を通じた学校現場における実践的学修」を行っています。
4年間にわたり教育実習と学校インターンシップを行い、力を積み上げることで、教師としての実践的指導力を身に付けます。
さらに「電子ポートフォリオ」を取り入れ、指導教員と学びの軌跡を確認します。そうすることで総合的な教育実践力と専門分野の知識・技能を向上させます。なお、教育実習の履修方法は、課程・専攻・コースにより異なります。

1回生

導入期

なりたい

- 教師の仕事を知る
- 子どもを観る
- 教職への志望動機を持つ

教職入門実習

教職のための省察入門

必修

学校教育教員養成課程の全専攻及び養護教諭養成課程

教わる側から教える側へ視点を転換する

教育の理念や教職の意義等の教育の基礎的な知識や、フラッグシップ指定科目の履修を通じて、社会や学校教育における子どもの多様性について理解を深め、教師としての子どもへの接し方についての基礎を学びます。
教職入門実習では、実際の学校現場の観察を通じて、これまでの学ぶ立場から教える立場へと視点の転換を行います。キャンパスでは、実際の学校現場の観察体験についてのふりかえりを行い、学び続ける教師のための素地を形成します。

2回生

体験期

- 自分に必要な学習を掘り起こす
- 教職への動機を高める

教職インターンシップⅠ(必修)または学校インターンシップ体験

教職専門性と省察

必修

学校教育教員養成課程の全専攻及び養護教諭養成課程

基本実習に備えて実践の基礎を身に付ける

社会における学校の役割や教育課程の意義や教育の方法、生徒指導についての基礎を身に付けるとともに、フラッグシップ指定科目の履修を通じて、探究的な学びや学習者を中心とする授業のための基礎的な理論などについて学びます。
学校インターンシップでは、教師としての職能や学習指導の実際に触れ、職業としての教師の体験を行います。キャンパスでは、教師の発達と学習についての理論や発達のための学習を支える研修制度などについて学び、教師としての学びを実践します。

3回生

実践期

- 教師をもっと知る
- 教師の仕事を実践する
- 授業をつくる

基本実習(2~4週間)

教職インターンシップⅡ(選択)

必修 (基本実習)

学校教育教員養成課程の全専攻及び養護教諭養成課程

学習指導と授業実践力を身に付ける

総合的な学習の時間や特別活動、道徳の指導のあり方などについて学ぶとともに、教える教科内容や教科指導の方法についても理解を深めていきます。
その上で、教育実習では、児童・生徒に応じた授業づくりや教材研究を通じて、実践的な教科指導力を身に付けるとともに、教職の専門性を高めます。また、フラッグシップ指定科目では、教科横断的な学びや教育データの活用などについての学びをさらに高めることができます。

4回生

発展期

- 異なる校種で実践する
- 子どもをもっと知る
- 教職の適性を再確認する

基本実習(2~3週間)

併修実習(2週間)

連携協働活動演習(選択)

必修 (基本実習)

ICT教育コース
美術・書道教育コースの書道選択者

選択 (併修実習)

上記コース等以外

基本実習で身に付けた実践力にみがきかける

教師の卵としての力量を身に付ける最終仕上げの段階です。教職課程の集大成となる教職実践演習では、自身のこれまでの学びをふりかえり、不足する知識を補うことや強みを伸ばすことを通じて「なりたい教師になる」ための自己実現を行います。
また、選択科目の連携協働活動演習では、学校を支える専門家の立場である教育協働学科の学生と連携しチーム学校を体験します。

学校インターンシップと教育実習の接続

専攻やコース、学校のある自治体などにもよりますが、学校インターンシップを行う学校と同じ学校での教育実習を希望することができます。教育実習前に学校インターンシップの活動を行えば、児童・生徒や先生方との人間関係をあらかじめ作っておくことができ、教育実習を円滑にスタートさせることができます。

実習制度

	1回生	2回生	3回生	4回生	5回生
小学校教育(夜間)5年専攻	教職入門実習	学校インターンシップ体験(必修)	学校インターンシップⅠ(選択)	教育実習Ⅰ(必修・2週間) 学校インターンシップⅡ(選択)	教育実習Ⅱ(必修・2週間)
教育協働学科	教員免許状取得を希望する学生は、教職実践演習の履修が必要です。教育実習は、4回生で行っています。				

009 OSAKA KYOIKU UNIVERSITY — 2027

OSAKA KYOIKU UNIVERSITY — 2027 010

就職支援

より実践的な就職支援プログラムを展開し、求められる人材へキャリア形成をサポート！

C A R E E R S U P P O R T



学校教育教員養成課程
小中教育専攻 社会科教育コース
松浦 浩大さん
(出身校:兵庫県立姫路飾西高等学校)

大教大を選んだ理由は？

小中高と幅広く教員免許を取得できるためです。私は高校の教員を志望して大教大へ進学しましたが、教育実習は小学校と高校で行いました。小学校では1年生を担当させていただき、学習規律を子どもたちに意識させることの難しさを学びました。高校生はある程度大人で、規律ある行動を取ることができますが、それは小学校での学びの土台があってのことです。その土台の部分に携わることができたのはとても大きな学びでした。



キャリア支援センターではどのような指導をしてもらいましたか？

採用試験に向けた対策(面接、模擬授業、場面指導)はもちろんですが、進路に関してもたくさんのアドバイスをいただきました。採用試験対策に関しては、私自身の発言や経験に即した具体的な指導をいただきました。進路に関しては、今後の自分の人生の不安なことや疑問に思ったことをたくさん相談することができアドバイスをいただくことができました。

専門的な教育が学べ

就職支援が充実しています。

教採カフェには参加して良かったところは？

親密度が上がることによって互いに励まし合えることだと思います。兵庫県の採用試験は集団討論試験がありますが、集団討論という試験の特性上、練習を重ねていく中でコミュニケーションを密に取ることになります。そのため、自然と仲良くなりました。試験前にはお互いに励まし合ったり、学生間の考えの共有をしたり、どんどんと親密度が上がっていくことを実感し、モチベーションアップにつながりました。

キャリア支援センターの指導の中で教員採用試験に役立ったことは？

場面指導や先生方の教育観に関する指導がとても勉強になりました。これらのことは、実際の教職現場の経験が浅い自分の想像だけではどうしても限界があったので、「そんな場合もあるのか」「そんな考え方もあるのか」と自分にとって新たな視点で、とても新鮮でした。いただいた指導と自分の思考を照らし合わせることで、自分の思考がより具体的なものになったと実感できました。



受験生へメッセージまたはアドバイス

大教大をめざされる受験生の方は、ほとんどが教員志望かと思います。「教員になる！」と決め、そして、大教大を選択したことは間違いではないと思うので、皆さんそれぞれの素敵な夢を実現できるよう、全力を出し切ってくれば嬉しいです。



キャリア支援センターに行くようになったきっかけを教えてください。

3回生の5月頃からキャリア支援センターに行くようになりました。きっかけは、キャリア支援センターが実施していたセミナーに参加したことです。就活サイトへの登録など、就職活動の第一歩となる内容であったため、その後も継続して利用するようになりました。

教育協働学科
教育心理学専攻
米田 友さん
(出身校:奈良県立高田高等学校)

キャリア支援センターの指導の中で就職活動に役立ったことは？

特に役立ったと感じているのは、面接練習での「聞かれたことに的確に答える」という指導です。一見当たり前のことですが、実際の面接では話そうとする意識が強くなり、気づかないうちに質問の意図からずれてしまうことがあります。自分では気づきにくい部分を客観的に指摘していただけたことが非常に有意義でした。

もっとこうしておけば良かったと思うところがあれば教えてください。

自己PRやガクチカを、より早い段階で完成させておけば良かったと感じています。就職活動ではエントリーシートが最初の関門となり、企業ごとに独自の設問も多くあります。そのため、自己PRやガクチカをあらかじめ準備しておくことで、他の設問に集中でき、効率的に進めることができると思います。



大教大の好きなところは？

私は猫が好きなので、猫がいるところが一番好きところです。また、学生数が比較的少ないため食堂が混雑しすぎないところが気に入っています。自然が多く落ち着いた環境で、のびのびと過ごせる点も魅力だと感じています。



受験生へメッセージまたはアドバイス

受験に合格しても、たとえそうでなくても、これまで努力してきた経験がなくなることはありません。その経験は、必ず自分の力として生きてきます。一度本気で努力した経験は、これから先、努力が求められる場面に直面したときにも、しっかりと向き合う力になると思います。大学受験は人生の一部分にすぎません。「今」だけにとらわれすぎず、これまで自分が積み重ねてきた努力に自信を持って、最後までやり切ってください。応援しています。

きめ細やかなサポート

本学は、時代に先駆けて行ってきた教養教育や、教員就職・企業就職・公務員就職に関する支援が充実しており、教員正規採用人数は毎年
 全国トップクラス、就職希望者の就職率は96.2%※と、高い就職実績を実現しています。※令和7年度末学部卒業生
 また、教員就職・企業就職ともに、人間的魅力や仕事ぶりにおける卒業生の評価は高く、社会の様々な場面で活躍しています。
 2010年4月に開設したキャリア支援センターは、大学生活のあらゆる場での学生のキャリア形成と職業選択を支援することを目的とし、学
 生の進路・就職に向けたサポートを1年次からスタートしています。
 「自分の適性」を把握し目標を持った大学生活を過ごすことが理想の就職につながるという観点に立ち、より実践的な就職支援プログラ
 ムを展開し、教育協働学科を有する本学だからできるきめ細かいキャリア支援をめざしています。

POINT 1 教員就職

経験豊富なキャリアアドバイザーが教員
 採用試験に向けた面接指導、場面指導や
 模擬授業対策など幅広いサポートをして
 います。

POINT 2 企業・公務員就職

専門のアドバイザーが企業・公務員就職
 に関する様々な相談に応じています。エ
 ントリーシート添削、面接指導など、きめ
 細かなサポートをしています。



POINT 3 就職支援Webシステム

在学生専用Webシステム「Live Campus」では就職ガイダンスや各種対策講座の通知を受
 けたり、就職相談、面接指導の予約などができます。また、eラーニングのオープンソースで
 は、教員・企業・公務員就職に関する情報、ガイダンスの説明会の資料、ビデオ、大学に届い
 た求人情報等、豊富な情報にアクセスすることができます。

教採カフェ

教員採用試験の対策として、志望自治体と同じ学生同士が自発的
 に集まり、面接対策の練習や、筆記試験の情報交換等を行い、全
 員合格をめざす有志の会のことです。対面・オンラインを駆使し
 て、自主的に面接練習などを行っています。



インターンシップ

企業・官公庁等で、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと
 です。体験目的は、「アルバイトとの違いを知る」「自分の適性を知
 る」「業界を知る」等学生により様々です。近年は、1、2回生の募集も
 増えています。そのため、キャリア支援センター実施の学内説明会
 は、学年を問わず参加でき、インターンシップの意義や効果を伝え
 ています。



入学

学校教育教員養成課程

養護教諭養成課程

教育協働学科

職業観をつかむ

キャリア支援センター教員担当授業科目

「キャリアデザイン」「キャリア形成」

入学時より授業(選択制)を通じてキャリア形成力を育成。

キャリア支援センター主催
「キャリアガイダンス」

低年次学生(昼間1、2回生、夜間2、3回生)を
 対象に、就活の現状とキャリア支援センターの
 利用方法や開催講座を紹介し、就活期へのス
 ムーズな移行ができる準備ガイダンスです。



1・2年次からの目標設定
 指導教員制による個別支援

教員をめざす

データファイル

教員採用試験を受験した先
 輩たちが記録した試験内容、
 対策、勉強法など、膨大な情
 報を集めた
 本学オリジナルの冊子。学
 内で配布。先
 輩たちもこれ
 を見て合格！



教員就職ガイダンス

教員としての資質を磨く
 上で重要な事を確認。

教師塾、学校サポート活動 学校インターンシップ

実際の学校現場を体験し、将来像
 や職業観の形成に役立てる。

教採面接指導事前 ガイダンス

面接の基本を確認。

教採スタートアップ ガイダンス

2、3年次から始める教員採用
試験対策の解説。

私立学校教員合同説明会

各私立学校の採用担当者から、私立学校の魅力について
 聞くことができる。

教員採用試験説明会

各教育委員会担当者から試験
 の詳細や変更点を聞くことが
 できる。

面接対策指導

教育委員会や校長を経験さ
 れたアドバイザーによる面接
 練習を受けることができる。

筆記試験対策講座

個人では対策の難しい科目に
 ついて、オンライン形式や講
 義形式で解説。

実技・面接対策

水泳・音楽・体操など実
 技試験の対策、集団面
 接、模擬授業・場面指
 導の対策講座。

教員採用試験
1次試験合格！

教採カフェで対策

教員採用試験
最終合格！

教員

公務員をめざす

就職ガイダンス

今年度公務員試験の状
 況と、次年度の傾向と
 対策、勉強方法確認。

インターンシップ

実際の職場を体験し、将来像
 や職業観の形成に役立てる。



自己分析講座

採用試験の初めに必要な履歴書作成のノウハウを身に付ける。
 就職活動の第一歩となる自己分析について学ぶ。

面接対策実践講座

企業・公務員の面接試験を実
 践練習。

エントリーシート・グループ ディスカッション対策講座

自己PR方法や簡潔な表現方
 法を学ぶ。

企業説明会

本学学生の採用に意欲的な
 多くの企業・官公庁が集まる。



就職相談

就職活動中の悩みを相談し
 たり、求人情報を収集できる
 相談を随時開講。



公務員試験
面接合格
内定！

公務員

企業採用試験
面接合格
内定！

企業

独自のキャリアアッププログラムで
 学生の進路決定をサポート

個別の進路に合わせた
 ガイダンス実施と情報発信

進路別の対策講座・面接で
 細かな指導を実施

卒業生を含め
 就職決定まで万全サポート

海外留学・国際交流

一歩踏み出せば広がる新しい世界！異文化に触れて新しい自分を見つける！

STUDY ABROAD / EXCHANGE

どうしてカナダに留学しようと思いましたか？

カナダを留学先に選んだ理由は、日本の英語教育で主に扱われているアメリカ英語に近い英語を学ぶことができると考えたからです。また、カナダ英語は比較的発音や訛りが穏やかで聞き取りやすいとされており、現在の自分の英語力に適した環境だと感じました。さらに、多文化社会として知られるカナダで生活することで、さまざまな文化的背景を持つ人々と交流し、異文化理解を深めることができる点にも大きな魅力を感じたからです。

学校教育教員養成課程
次世代教育専攻 教育探究コース

中谷 仁子さん
(出身校：奈良県立高田高等学校)

留学先での活動等を教えてください。

留学中は、週4日間のオールイングリッシュの授業を通して、英文法の定着やスピーキング力の向上に努めました。また、大学内では現地で日本語を学ぶ方々に日本語を教える活動や、音楽イベント、保護犬との交流など、さまざまなアクティビティに参加しました。休日にはホストファミリーとの時間を大切にしながら、大学主催のイベントにも積極的に参加し、現地の文化や生活習慣に触れ、多くの学びを得ることができました。



現地でしか得られない 学びがそこにはある。

所属する専攻・コースの良いところは？

教育探究コースの魅力は、教育を技術として学ぶだけでなく、その背景にある子ども理解や教育課題について深く考えられる点です。教育学や心理学などを横断的に学ぶことで、目の前の子どもの姿や教育現場の課題を多面的に捉える力を養うことができます。また、答えのない教育課題に対して、自ら問いを立て、考え続ける姿勢を身に付けられることも大きな魅力だと感じています。将来教員になった後も学び続け、成長し続ける教師をめざせるコースだと思います。

大教大を選んだ理由は？

私が大阪教育大学を選んだ理由は、教員養成に特化した環境で実践的な指導力を身に付けられると考えたからです。教員は子ども一人ひとりを理解し、成長を支える仕事だからこそ、教育学や心理学などを幅広く学び、自分がめざす理想の教師に近づけたと思います。さらに、同じ志を持つ仲間と切磋琢磨しながら学び合える環境にも魅力を感じ、自分自身も成長しながら夢に向かって進めると確信して志望しました。

受験生へメッセージ またはアドバイス

今の努力は、受験に合格するためだけのものではないと私は思います！ 悩みながらも前を向いたこと、思うようにいかなくても挑戦し続けたこと、最後までやり抜こうとしたこと、その一つひとつの経験が、未来の自分をつくると思います！ 自分を信じて最後まで頑張ってください！

海外での様々な経験が
視野の広がりにつながりました。

留学をして学んだこと 良かったと思ったことを教えてください。

自身が目標としていたスウェーデンの英語教育について学べただけでなく、「世界にはまだまだ知らないことや経験したことのないことがたくさんある。もっと見て、もっと学びたい！」という思いが強まり、視野が大きく広がりました。また、留学先での日々の生活や学業以外での取り組みを通して行動力や挑戦力を養うことができました。

学業以外で力を入れていること

ヨーロッパ風のファッションに挑戦しています。スウェーデン留学中、旅行や日常生活の中でヨーロッパの文化やスタイルに触れたことをきっかけにハマりました。ただ、今回のページで着ている服は、全然ヨーロッパ風ではないんですけどね。



留学に行きたいと思ったきっかけや 出来事、留学の目的を教えてください

留学してみたいと思い始めたのは、大学生になって本格的に英語学習に取り組み、楽しいと思うようになった頃です。そして大学で英語教育を学ぶ中で、留学を通じて直接自分の目で「海外での英語学習の仕組み」を探求したいという思いを強めました。また自分の成長のため、日本を出て異文化の環境に身を置こうと考えました。

学校教育教員養成課程
小中教育専攻 英語教育コース

井上 夏希さん
(出身校：西宮市立西宮高等学校)

大教大を選んだ理由は？

私が大教大を志望した理由は、教育大学としての学びの質と量、学習環境、そして教授陣の充実度に魅力を感じたからです。大教大では、教育に関する理論と実践をバランスよく、かつ深く学ぶことができるため、教員として必要な専門性を高められると考えています。



受験生へメッセージまたはアドバイス

自分の人生は、自分自身の手で舵を取って進んでいってください。そして、その道の途中で出会うご縁も大切に。みなさんには無限の可能性があります。信じた道を、自信を持って進んでください。



世界に触れ、新しい自分を見つけよう

POINT 1 交換留学(6ヶ月～1年間)

学生交流協定に基づき、本学の学生が海外の協定締結校へ留学し、海外の協定締結校の学生も本学へ留学する制度が、交換留学です。大阪教育大学では、アジア・アメリカ・ヨーロッパなどの大学(海外15か国・地域38校)に交換留学生として留学することができます。留学期間中は、「休学」ではなく「留学」の身分として、各自の専門に応じて、開講されている科目から選んで履修できます。

POINT 2 海外短期研修(1～5週間)

本学では、海外協定校協力のもと、夏休みや春休み等を利用して1週間から5週間現地に滞在する短期研修プログラムを実施しています。例えば語学を学ぶとともに異文化を体験する語学研修プログラムをオーストラリアとカナダで、文化研修を韓国と台湾で、教員養成大学の特色を活かし、現地小・中学校等で見学・実習を行うプログラムをアメリカとシンガポールで実施しています。
※年によって実施される研修は異なります。

留学支援

充実の語学学習サポート!

外国語学習支援ルーム(GLC)において、TOEFL®、IELTS™等各種外部試験のサポートを行っています。また、英会話チャット、ネイティブ教員の個別指導、教員による学習相談、様々な国際交流イベントの他、多数の多読本、外国語検定対策本(英・仏・独・中・韓)の貸出を行っており、留学に向けた語学学習をサポートしています。

留学資金のサポート体制も充実!

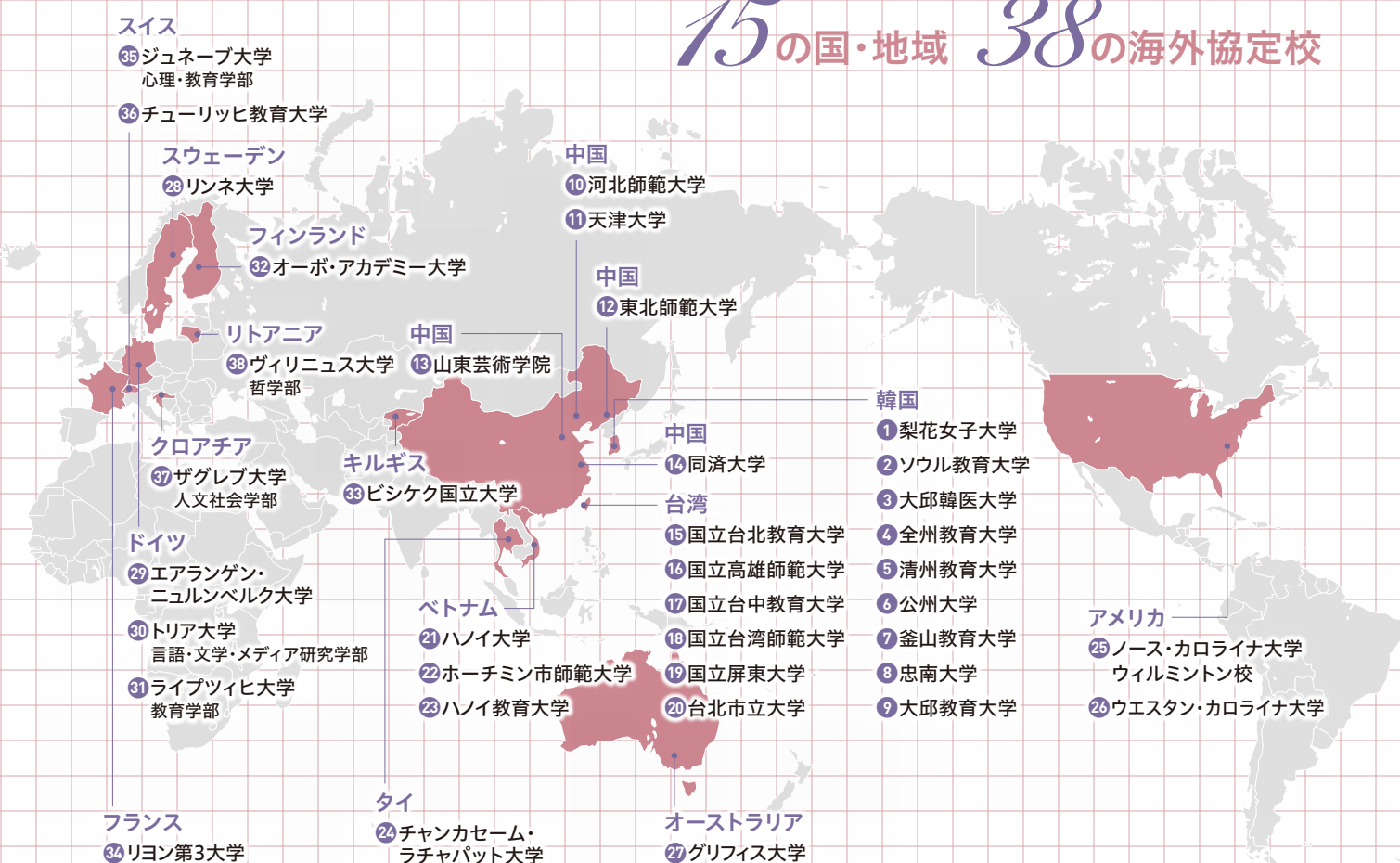
海外留学のための給付型奨学金(文部科学省・日本学生支援機構・民間団体等)を獲得するための情報提供をし、申請書類の作成をサポートしています。毎年、グローバルセンターの交換留学や短期研修に参加する学生の多くが奨学金を受給しています。



学生交流協定締結校一覧

(令和8年5月1日現在)

15の国・地域 38の海外協定校



2学期4ターム制の導入

本学では、2学期4ターム制を導入しています。短期間で集中的に学ぶことによる教育効果の向上はもとより、海外留学等に参加しても、授業を履修しやすくする環境づくりをするとともに、ターム科目の開講を順次拡大しています。

導入によるメリット

01 留学や海外体験がしやすくなる

段階を経て、ターム科目を増やし、留学や海外体験をしやすくします。また、留学や語学研修に参加しても、修業年限で卒業・修了できるような学年暦及びカリキュラム編成をめざします。

02 短期集中型授業による学修

短期間で集中的に学び、重点的に予習・復習を行うことによる教育効果の向上をめざします。

03 多様な学外活動に参加できる

まとまった時間を利用して、教育実習や学校インターンシップなどの学外実習や、ボランティア活動などの自主的活動を行えるような環境づくりをめざします。

クラブ&サークル

仲間と一緒に夢中になれる！みなぎる活力が明日への力になる！

C L U B & C I R C L E S

ここにはある。
継続できる環境が



学校教育教員養成課程
教科教育専攻 保健体育コース
久保 穂乃花さん
(出身校: 奈良市立一条高等学校)

大教大を選んだ理由は？

生徒一人ひとりとコミュニケーションを大切にしながら、身体を動かす楽しさや喜びを伝えられる保健体育教師になりたいという夢を実現しようと思い、大教大を選びました。
また、高校時代の尊敬する先生が大教大出身だったからです。

所属する専攻・コースの良いところは？

保健体育コースは、実技を中心とした授業が多く、仲間と協力しながら学ぶ機会が多くあることや、みんな仲が良く、いつも明るくにぎやかな雰囲気、楽しく充実した学生生活を送ることができています。

サークル活動の中で一番の思い出は何ですか？

1番の思い出は3月にある追いコンです。4回生の先輩方の引退を見送りながら、一緒に踊った時間や日常での思い出などを振り返りました。「もっと一緒に踊りたかった」と感じ、サークルの温かさを感じた特別な時間でした。

学業とクラブやサークル活動の両立で大変なことは何ですか？

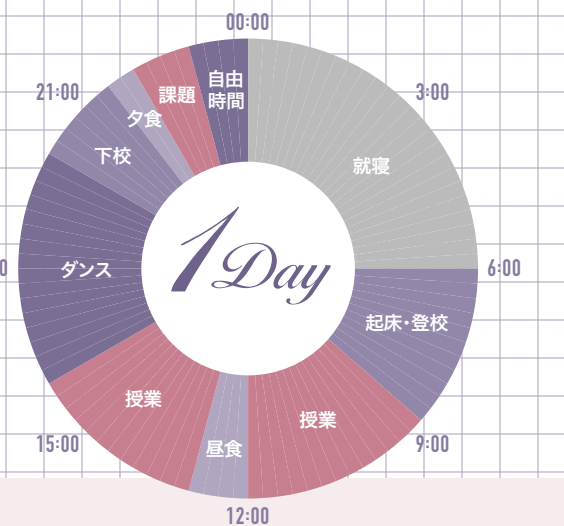
時間の管理が大変です。授業や課題に取り組む時間を確保しながら、部長として全体連絡や運営を行っています。また、作品づくりやダンスについて考えることも多く、限られた時間を有効に使うことを意識しながら学生生活を送っています。



受験生へメッセージまたはアドバイス

受験勉強は大変なことも多いと思いますが、無理をしすぎず、自分のペースで頑張ってください。受験を乗り越えた先には、充実した楽しい楽しい大学生活が待っています。皆さんと一緒に学べる日を楽しみにしています。

学習とクラブ活動を両立した充実の一日



6:00 - 8:50

起床・登校

朝食を急いで食べ、通学電車の中で音楽を聴いたり寝たりしています。

8:50 - 12:05

授業

1限目は陸上競技で、短距離走やハードル、投擲をしています。2限目は保健体育科教育法で、保健体育科の授業を専門的に理解し、体育・保健の内容を学校現場でどう教えるか学んでいます。

12:05 - 12:55

昼食

友達と一緒に昼食をとっています。Dining TERRAを利用することが多いです。

12:55 - 16:10

授業

3限目は教職専門性と省察の授業で、教師が成長し続けるために必要な省察の考え方や方法を学び、授業をより良くするための専門性を身に付けます。4限はソフトボールで、基本技術や原理を学びます。

16:30 - 20:00

ダンス

ダンスルームで自分が出演する作品の練習や自主練をしています。

20:00 - 21:30

下校

音楽を聴いたりダンスの動画を見たりしています。

21:30 - 23:00

夕食・課題

帰ってから夕食を食べー息ついた後、自分の部屋で課題に取り組んでいます。

23:00 - 00:00

自由時間

入浴を済ませ、ドラマやYouTubeを観ています。





豊かな活動で生活に潤いを

キャンパスでは各ジャンルのサークルが結成されています。

クラブやサークルの仲間とともに過ごす4年間には、一生の素晴らしい思い出を作るチャンスが豊富にあります。



体育会 (31団体)

- 男子バスケットボール部
- 女子バスケットボール部
- 男子バレーボール部
- 女子バレーボール部
- 男子ハンドボール部
- 女子ハンドボール部
- 男子ラクロス部
- 女子ラクロス部
- 男子サッカー部
- 女子サッカー部
- 硬式野球部
- 準硬式野球部
- ラグビー部
- アメリカンフットボール部
- 硬式庭球部
- ソフトテニス部
- 卓球部
- バドミントン部
- 剣道部
- 柔道部
- 合気道部
- 山岳部
- 空手道部
- 体操競技部
- 陸上競技部
- 水上競技部
- スキー部
- フィギュアスケート部
- モダンダンス部
- 弓道部
- L.S.B

体育系クラブ・サークル (6団体)

- ローンテニス部
- 男女ソフトボール同好会
- 軟式野球部
- C.I.O. サークル池田組
- バレーボール同好会
- Soft Tennis Circle

文化系クラブ・サークル (14団体)

- 映像制作サークル「ライパチフィルム」
- 茶道部
- 写真部
- 点訳サークルまんてん
- 漫画研究会
- 放送研究会
- パソコンPaPa
- Let's Play
- 文芸部
- かるた会
- 聴覚障害学生と共に手話を学ぶ会
- 演劇集団FREEDOM INFINITY
- 琉球鼓舞 いちゃりばちょーでー エイサー隊
- YOSAKOI ソーランサークル 凜凜
- ゆるスポーツサークル ワニナル

天王寺キャンパス学生団体 (16団体)

- 学生局
- サークル連絡協議会
- バドミントンサークル
- 軟式野球サークル elements
- フットサルサークル
- ソフトボールサークル Phoenix
- 男女バレーボールサークル
- 男女バスケットボールサークル
- ダンスサークル DIL
- 剣道サークル
- 手話サークル パエリア
- お笑いサークル 笑賊団
- 音研究会
- 軽音楽堂 LED GIGs
- 混声合唱団 ア・コール
- 天文サークル SKYcrew

大学行事クラブ・サークル

- 大学祭準備会

音楽系サークル連合会 (5団体)

- 軽音楽部
- 混声合唱団
- 吹奏楽部
- 邦楽研究会
- フォーク集団べんべん草

CLUB & CIRCLES

1 陸上競技部

男子は一部残留、女子は総合6位を目標に、部員一同全力で練習に取り組んでいます！

2 男子サッカー部

男子サッカー部です！私たちは強い大教大を取り戻すため、1部再昇格に向けチーム作りをしています。大教大サッカー部の一員となり、共に歴史を作りましょう！

3 卓球部

卓球部は関西リーグに所属し、日々それぞれの目標に向かって切磋琢磨しています。練習には実力に関わらず全員が全力で取り組み、終わればご飯や遊びにみんなで行くなど雰囲気の良い部活動です。ぜひ、一度卓球部に足を運んでみてください！

4 アメリカンフットボール部

部員の多くが未経験者から始めており、誰でも活躍できるスポーツです。私たちと一緒にアメフトの楽しさを体験し、仲間と共に熱い時間を過ごしましょう！

5 邦楽研究会

和楽器を演奏するサークルです。未経験者も経験者も、演奏会に向けて楽しく練習しています！

6 女子ハンドボール部

2部リーグ1位、1部リーグ昇格を目標にみんなで力を合わせて頑張っています！

7 剣道部

私たちは、「積笑成大」というスローガンを掲げ、日々稽古に励んでいます。ぜひ、私たちと一緒に剣道で汗を流しませんか？

8 L.S.B.

大阪教育大学唯一のストリートダンスサークルです！ダンス経験の有無、回生、性別、ジャンル関係なく、みんなで楽しく活動しています！サークル全体の仲の良さと、アットホームな雰囲気が自慢です！

9 空手道部

我々空手道部は、日々の稽古を通して、武道という日本の文化を学びながら、楽しく活動できる部活をめざしています！経験者も未経験者も大歓迎！みんなで一緒にがんばりましょう！！

10 バドミントン部

バドミントン部は主に関西の大会でそれぞれの目標を達成するために日々練習に励んでいます。経験者も未経験者も強くなるために一生懸命練習しているので、自分も仲間と一緒に頑張りたいと思っている方はぜひ一度見にきてください！！ 待ってます！！

11 手話サークル パエリア

お菓子を食べたり、おしゃべりしたりしながら、ゆーと楽しく手話を学んでいます！行事や公演では、部員の好きな曲に手話をつけた「手話歌」を披露しています！

12 軽音楽堂LED GIGs

天王寺キャンパスの軽音サークルです！大学から楽器を始めた方が半分以上で誰でも楽しめます！ライブはいつも大盛り上がりです！

13 男女バスケットボールサークル

経験者・初心者問わず、みんなで楽しくバスケをしています！普段はゲーム形式を中心に活動しており、男女問わず気軽に参加できる雰囲気があります。バスケが好きな人、運動不足を解消したい人、新しい友達を作りたい人も大歓迎！一緒に楽しく汗を流しましょう！

一人暮らし

計画性を身に付け憧れの自立生活！
寮での共同生活も毎日が新鮮！！

L I V I N G A L O N E

理想としていた充実の暮らしを送っています。

一人暮らしをしている中で学んだことや成長を感じたこと。

一人暮らしをして一番学んだことは、両親の偉大さです。実家にいるときは、家に帰ったら温かいご飯が用意されていて、洗濯もされていることが当たり前だったため、一人暮らしを初めて家事の大変さを知り、仕事忙しい中すべての家事をこなしていた親の偉大さを感じました。



一人暮らしの場所を選ぶ際に重視したことは何ですか？

私は合格発表前に予約ができる家を探しました。合格発表前に予約したことで、合格後にバタバタすることなくスムーズに新生活準備を始めることができました。今になっての後悔でいえば、もう少し駅に近い方がよかったなと思います。



大学生活で一人暮らしがプラスになったと感じることはありますか？

自分のペースで生活をする事ができることはプラスになったと感じます。友達を呼んでパーティーしたり、自分の好きなものを食べたり家族に気をつかわずに生活することができるのはプラスに感じます。また、自立心が身に付いたこともプラスになったと感じます。

学校教育教員養成課程
次世代教育専攻 教育探究コース
妹尾 葉奈さん
(出身校:佐賀県立致遠館高等学校)

所属する専攻・コースの良いところは？

私が所属する次世代教育専攻教育探究コースは、個性豊かな人が多く、それぞれ自分の好きなことに打ち込んでいる人が多いです。また、コース全体で仲が良く、運動会やキャンプを自ら計画して実施しました。授業の面でいえば、これからの教師に求められていることを最前線で学ぶことができるところが良いところだと思います。

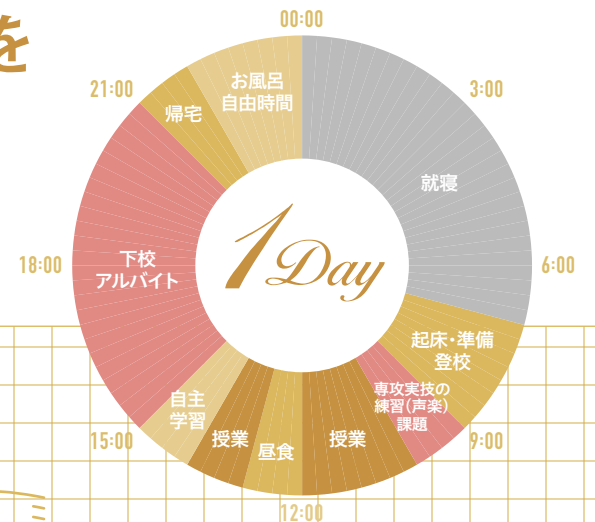
受験生へメッセージまたはアドバイス

一人暮らしをすることは不安になることもたくさんありますが、やってみると意外とできるものです。特に大阪教育大学は温かい人が多いため、不安なんか吹き飛ばすくらい毎日が楽しいです。一人暮らしをしようか迷っている人は、ぜひ大阪教育大学に入学して挑戦してみてください。1年も経てば、大変なことよりも自由なことや楽しいことがたくさんあります。皆さんが大阪教育大学で新しい一歩を踏み出すことを心よりお待ちしております。



アルバイトで自立した生活を

「学生アルバイト情報ネットワーク(バイトネット)」による
アルバイト・家庭教師紹介を行っています。



アルバイト体験記

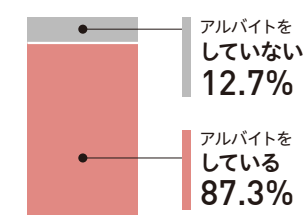
私は将来の進路選択や社会経験を積むため、一回生から中学校の部活指導員とスターバックスコーヒーでアルバイトを続けています。部活指導員としては自分の指導が生徒の技術向上に繋がりが、成長を肌で感じられる事にやりがいを感じています。また、スターバックスコーヒーではお客様からの親しみと信頼を得られることを目標に取り組んでいます。接客を通して相手が笑顔になる瞬間は何よりの喜びです。二つのアルバイト経験を通じて、お金をいただいて働くことの責任を学ぶことができました。さらに、人と深く関わる仕事に魅力を感じるようになり、自分が将来働く上で大切にしたい価値観を見つける事が出来ました。

教育協働学科 芸術表現専攻 音楽表現コース
小木曾 春音さん(出身校:愛知県立明和高等学校)

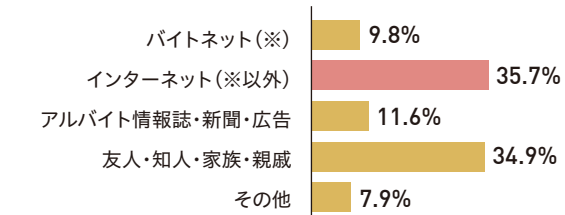
COLUMN

大教生のアルバイト・お財布事情 (令和5年度 学生生活実態調査より)

アルバイトしている割合

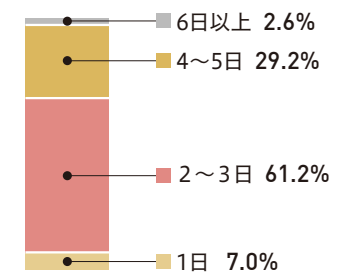


主なアルバイト紹介元

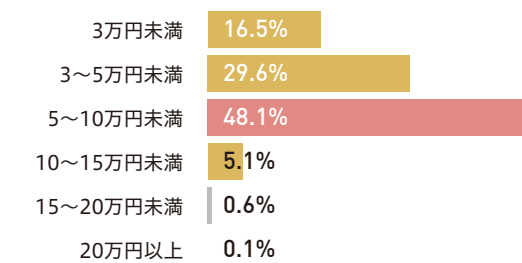


※バイトネット(学生アルバイト情報ネットワーク)は、
学生へのアルバイト・家庭教師紹介業務を委託しているシステム

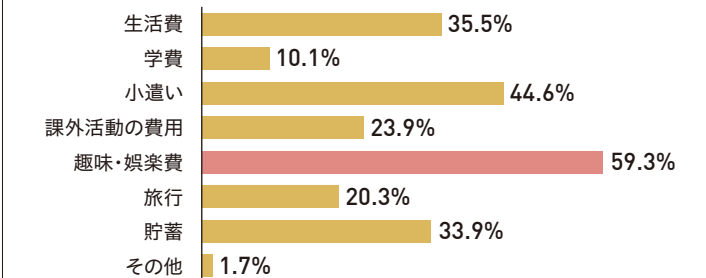
1週間のアルバイト日数



1ヶ月のアルバイト収入

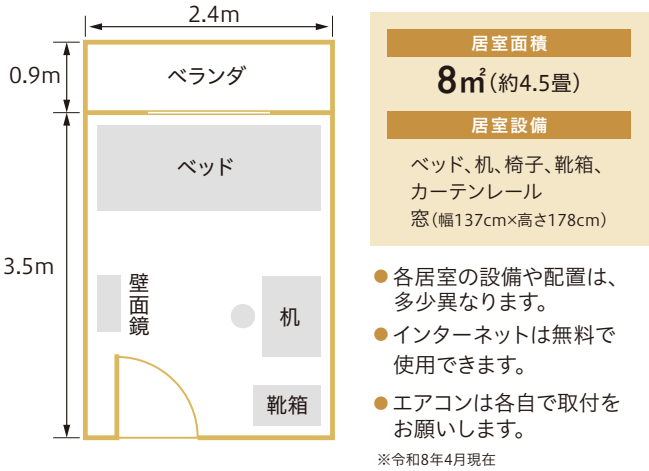
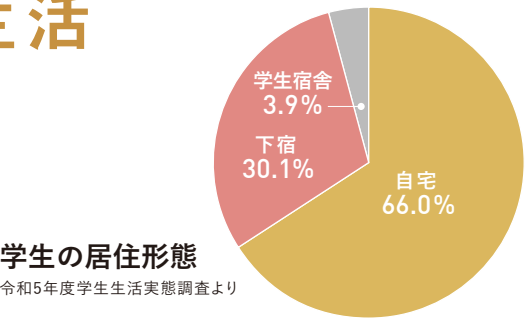


アルバイトで得たお金の使い道(複数回答可)



学生 宿舎で仲間と共同生活

柏原キャンパス内には、本学学生の勉学に資する居住の場を提供し、修学を容易にすることを目的として設置された、男子学生宿舎と女子学生宿舎が各1棟あります。入居者の募集は入学時および途中退去者が出たときに行い、入居資格を満たした申請者の中から大学の定める選考基準に基づき選考委員会において選考されます。



宿舎名	収容定員	居室形態	寄宿料(月額)	共益費(月額)
男子学生宿舎	60人	全室個室	5,000円	1,000円
女子学生宿舎	80人	全室個室	5,000円	1,000円

寄宿料・共益費のほか、居室内および共有部分の光熱水料費として、月額およそ5〜6,000円が必要です。上記の金額は令和7年度の金額で、在学中に改定が行なわれた場合には、改定時から適用されます。

COMMENT

「寄宿料が安い!」
「キャンパス内にあるので通学がしやすい!」
「宿舎から出て買い物に行くのは大変だから生協食堂をよく利用します。」
「談話室に集まって、ご飯を作って食べることもしています。」
「友達がいるからさびしくありません。」
「お風呂が広くて良いです。」

入居に際して

- 学生宿舎は数に限りがあるため、希望されても入ることができない場合があります。
- 入居者は、必ず決められたルールを守っていただきます。

入居者のルールの一部

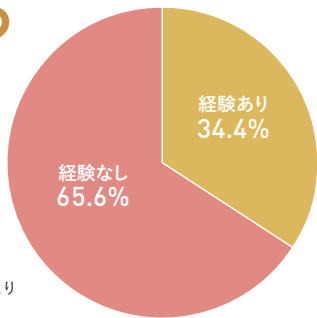
- 建物内禁煙
- 入居者以外立入禁止

ボランティアで自身の経験値を高める

大阪教育大学では、学生の約35%がボランティア活動に参加しています。学校などの児童や生徒に対するボランティア活動に参加する学生が多いです(令和5年度学生生活実態調査)。

ボランティア活動
経験割合

令和5年度学生生活実態調査より



今しかできない体験!
現場がわかる!子どもがわかる!

自らの問題意識に応じて主体的に学校の教育に参画していくサポート活動を通して、児童・生徒や教職に対する理解を深め、指導力の向上を図ります。

大阪教育大学と柏原市が
連携して行う放課後学習支援事業

放課後に小学校の空き教室を利用し、学生が子どもたちの学習補助をしながら、実践的な経験ができる取り組みです。

子どもとふれあい自然に
対する理解を深める

森林体験学習ボランティア活動は柏原市・柏原市教育委員会との連携事業です。学生リーダーとして柏原市立小学校での森林体験学習(森のビンゴゲーム、植物のなかま分け、リース作り、竹細工など)の実施をサポートします。

大阪教育大学では学生に各種ボランティア活動を推奨しています

VOICE

学生宿舎の魅力の一つは、経済的負担が少ないことです。家賃や寮費が非常に少ないため、その分、私は好きなことに使ったり美味しいものを食べたりしています。また、徒歩10分程度で学校へ行くことができる点も魅力です。私は音楽教育コースなので、ピアノや声楽を練習するために、普段よく練習室を利用します。大学が近いことで、休日も気軽に練習室へ行くことができ、大変助かっています。そして、寮内に同じサークルの先輩がいたり、友達ができたりしたので大変心強いです。寮生であることをきっかけに仲良くなったり、お互いの部屋を行き来したり、必要な物を貸し合ったり、一緒にご飯を作って食べたり、他学科の人とも出会う事ができる貴重な場だと感じています。寮生活での思い出もたくさんできると思います。

学校教育教員養成課程
中等教育専攻 音楽教育コース
濱口 満衣さん
(出身校:三重県立伊勢高等学校)



談話室でのおしゃべりが癒やしの時間!

ボランティア体験記

せっかく教育大で学ぶなら、直接子どもたちと関わる機会を経験したいと思い、始めたのがSASでした。SASでは、活動内容やルールなど多くのことが学生指導員に委ねられます。大変ではありますが、担当校の先生方が親身に相談に乗ってくださるので、失敗を恐れず挑戦できる環境です。私が特に印象的なのは、学習の達成度に合わせてシールを溜めるカードを作成した際、子どもたちがとても喜んでくれて、カードを埋めるために一生懸命学習に取り組んでくれたことです。また、活動開始時にはまだまだ警戒心をもっていた子どもたちが、段々と関係性ができて、顔を見ただけで駆け寄ってくれるようになったときは感動と嬉しさでいっぱいでした。私はSASを通して、子どもたちの成長や関係性を築いていく大切さを肌で感じ、そのための試行錯誤が大きなやりがいとなることを学びました。

教育協働学科 健康安全科学専攻
中山 佳名子さん
(出身校:大阪府立市岡高等学校)



年間行事

季節ごとのイベントが盛りだくさん！
一つひとつの思い出が大切な宝物

E V E N T S C H E D U L E



大教大を選んだ理由は？

教育に興味がありながらも、国際関係や教育政策など幅広い分野を学びたいと考えました。そのため、多様な視点から学べる教育協働学科に魅力を感じ、志望しました。

教育協働学科
グローバル教育専攻
国際協働英語コース
打江 史帆さん
(出身校：大阪府立大手前高等学校)

仲間と共に企画を考え
実行する楽しさ。

大学祭等のイベントの 企画や準備で一番 大変だったことは何ですか？

限られた時間の中で、多様な意見をまとめて合意形成を行うことが最も大変でした。それぞれの立場や価値観が異なるため、一つの方向性にまとめるには時間と丁寧な対話が必要であり、調整力の大切さを実感しました。



大学祭のイベントや企画の中で 注目してほしいポイントは？

特定の企画だけでなく、学生主体で作りに上げている雰囲気に注目してほしいです。出店やステージなど、一人ひとりの活動や努力が集まってできている空間を楽しんでいただきたいです。

学業以外で力を入れていること

大学祭実行委員としての活動に取り組む一方で、「学生のうちにしかできない経験をする」というモットーを大切にしています。趣味に没頭する時間も大切にしながら、長期休暇には海外旅行に積極的に出かけ、新たな価値観や視点を得ることを目標にしています。

受験生へメッセージ またはアドバイス

人生は一度きりです。周囲の意見も大切ですが、最終的には自分の気持ちを信じるのが大切だと思います。迷うこともあります。自分の選択に自信を持って進んでください。



4
APR

入学式

音楽教育コースと芸術表現コース(音楽分野)の学生たちの合唱により幕が開く入学式。学長によるお話の後、本学が誇る芸術表現コース(音楽分野)オーケストラの記念演奏が花を添え、新たな一歩を踏み出した後輩たちを、盛大に祝福します。

サークルフェスティバル

春、新入生の訪れとともに、柏原キャンパスの大通りで、多くのクラブ・サークルがお出迎え。新入生勧誘のため、あの手この手を使い、趣向を凝らしてしのぎを削ります！

新入生・編入生歓迎行事
(天王寺キャンパス)

10
OCT

神霜祭

神無月(10月)と霜月(11月)の期間にかけて開催される、本学最大の学園祭。ステージでは、ダンスや音楽ライブ、漫才などのパフォーマンスが繰り広げられ、周辺に連なる模擬店には、地元住民の皆さんが紅葉を眺めながら列をつくれます。



5
MAY

五月祭

大学にも少し慣れた5月、春の学園祭である「五月祭」が開催されます。五月祭は、新入生が中心となって創作するお祭り。仲間たちと交流を深め、友情を育み、青春を分かち合います。

11
NOV

芸術表現コース(音楽分野) 定期演奏会

プロオーケストラも多数公演するザ・シンフォニーホールで、芸術表現コース(音楽分野)オーケストラによるコンサートが開かれます。同じ学生と思えない本格的な演奏と合唱に、感動すること必至！

大学祭(天王寺キャンパス)

6
JUN

フィールドワーク

外の社会を広い目で学ぶ「フィールドワーク」。教員養成課程では、柏原市をはじめとした公立学校での教職入門実習があり、1年生から学校現場を体験できます。専攻によっては、博物館や研究所を見学することも。

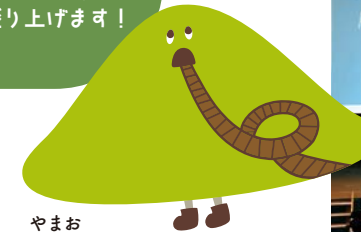
学生大会(天王寺キャンパス)

12
DEC

人権教育全学シンポジウム

人権尊重への意識を高めることを目的に、1979年から続く、本学の理念を表すシンポジウムです。講演やパネルディスカッションを通して、人権とは何かを考えます。

一年中、
いろんな
イベント会場を
盛り上げます！



やまお

7
JUL

オープンキャンパス

例年約4,000人以上が訪れるオープンキャンパスには、大学の魅力を紹介するため、学生たちもスタッフとして参加しています。

1
JAN

8
AUG

語学・文化研修

長い夏休みは、異国の地で未知の世界にふれるチャンス。欧米やアジアの協定校で、プチ留学に挑戦してみよう！

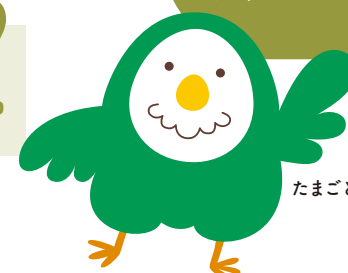
2
FEB

公立学校・私立学校 教員説明会

教育委員会による自治体説明会やさまざまな私立学校が集まる合同学校説明会に参加して、未来に向かってステップアップ！

9
SEP

イベントや
行事の中にも
学びが
たくさんある！



たまごどり

3
MAR

卒業式

先輩たちの旅立ちの日。やまおとたまごどりが舞台上に立ち、卒業生の門出に花を添えます。

卒業行事(天王寺キャンパス)



OKU Channel



イベントの様子や
インタビューなど
動画を随時更新中！
チャンネル登録してね！

食堂&ショップ

美味しいごはんが勢ぞろい！便利なショップもありみんなの憩いの場！

R E S T A U R A N T & S H O P



学校教育教員養成課程
次世代教育専攻 教育探究コース
小西 貴弘さん
(出身校：大阪府立八尾高等学校)

心のリフレッシュに
いつもここを
利用しています。

大教大を選んだ理由は？

私が大教大を選んだ理由は、「教師になりたい」「教育に携わる仕事がしたい」など、教育に対して熱心な志を持つ仲間と出会えると考えたからです。同じ志を持つ仲間と学びを深めていくことで、自分自身の資質・能力の向上につながり、より教師になりたいという思いが強くなりました。

受験生へメッセージ またはアドバイス

受験勉強は苦しくて大変だと思っています。だからこそ、楽しんでみてはいかがでしょうか？友人と問題を出し合ったり、問題集の進捗を競い合ったりなど。私は初めのうちは一人で勉強に取り組んでいました。それは孤独で苦しいものでした。しかし、放課後、友人と自習室で一緒に勉強するようになってからは、勉強が楽しくなりました。また、教え合うことで模試の判定もよくなったのです。あなたも、楽しみながら勉強してみませんか。



週にどれくらいの頻度で 食堂を利用していますか？

私はミールパス(学食定期券)を利用しているので、毎日食堂を利用しています。私はよく「第2食堂」でラーメンと小鉢2つを食べていますが、これだけ食べても約600円とお手ごろな価格。物価高の時代ですが、値段を気にせずお腹いっぱい食べることができています。



M 大学会館

大学生協の魅力に ついて教えてください。

大学生協の魅力は、大教生のニーズにあってくれることです。例えば、ショップの書籍コーナーには、本学が教員養成系大学ということもあり、教員採用試験対策のテキストが充実しています。組合員限定の割引があることも魅力です。また、入学時に生協でPCを購入すると、万一の故障の際にすぐに代替機を貸し出してください。ほとんどの授業でPCを使用しますが、安心して授業に臨めます。大学生協は大教生の心強い味方です。

所属する専攻・コースの 良いところは？

所属するコースの良いところは、教育学や心理学、道徳教育学や教科教育学、人権教育など幅広い分野の中から自分の興味関心に応じて学びを深められるところです。テーマを決めてグループ活動や議論をする機会が多く、友人の考え方から自分の知見を広げられることも良いところだと思います。



SUN CAFE

場 所 大学会館3階
営業時間 平日11:30~13:30/土日祝休業
日替わりサンドセットを中心にスイーツやポテトフライなど、他の店舗にはないメニューを食べることができます。軽食・デザートが充実しているカフェレストランです。

日替わりサンドセット いちごパフェ

Dining TERRA

場 所 大学会館1階
営業時間 平日11:30~13:30/土日祝休業
ごはん・おかず・惣菜・麺類・カレー・丼など、お好みのメニューを自由に組み合わせることができるカフェテリア形式。学内で1番広い食堂です。



照り焼きチキン 豚塩おろしうどん



唐揚げ玉子あん丼 担々麺 チキン南蛮丼 味噌ラーメン

第2食堂

場 所 大学会館2階
営業時間 平日11:00~14:00/日祝 休業
※授業のある平日のみ夕食営業あり(17:00~19:45)

麺類・カレー・丼などの単品メニューを注文する形式と、待たずにおかずやご飯を食べられるスピードレーンがあります。急いでいるときも安心して利用できる食堂です。



Restaurant FORET

営業時間 平日11:45~14:00/土日祝休業
スタッフが席まで料理を運んでくれるフルサービス形式。落ち着いた雰囲気でお食事ができます。

※記載の営業時間は大学の授業、課外活動等が通常通り行われる場合の営業時間です。営業時間や店舗の形式が変更になる場合があります。



テイクアウト弁当ショップ

営業時間 平日11:45~13:00/土日祝休業
あったかいお弁当のテイクアウト専門店です。



Shop IRIS

営業時間 平日8:20~16:45/土日祝休業
お弁当やお菓子などの食料品から、書籍、文具、生活用品、国内海外旅行、教習所紹介、各種レンタル物品、パソコン(及び修理相談)など幅広く取り扱っています。

学位プログラムと 3つのポリシー

PROGRAM & POLICY

学位プログラムは、平成29年度学部教育より導入し、各プログラムに定める到達目標（卒業時に身に付ける力）達成型の教育課程として、運用を行っています。

「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」、「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」及び「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」を一体的に策定のうえ、卒業時に到達目標を達成できることを念頭に置き、カリキュラムを実施します。

教員養成課程 ※1

- 1 豊かな教養と広い視野
- 2 教職に必要な素養
- 3 指導内容の理解と実践力 ※2
- 4 子どもへの対応の理解
- 5 ICTや教育データを利活用する力 ※3
- 6 教職力量を自らひらく力

到達目標

教育協働学科

- 1 豊かな教養と広い視野
- 2 教育理解
- 3 協働力
- 4 探究力
- 5 専門的知識・技能
- 6 教育協働実践力

卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

**到達目標達成型
学位プログラム**
3つのポリシーをコアとする
プログラムシラバス

一体的な策定と各段階に
おける目標を明確化

入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

学校種や専攻の特性に応じたプログラム

- 幼小教育（幼児教育、小学校教育）プログラム
- 次世代教育（教育探究、ICT教育）プログラム
- 教科教育プログラム
- 特別支援教育プログラム
- 小学校教育（夜間）5年プログラム
- 養護教育プログラム

- 教育イノベーション（数理・知能情報、環境安全科学）プログラム
- 教育コミュニティ支援（心理科学、スポーツ健康、芸術表現）プログラム
- グローバル教育（日本語教育、国際協働英語）プログラム

専攻と異なる分野を学ぶプログラム（副専攻プログラム）

- 日本語教育プログラム
- 外国にルーツのある子どもの教育プログラム
- STEAM教育を中心とした教科横断型教育プログラム
- 地域との連携・協働によるダイバーシティと人権教育プログラム
- 心理学のエビデンスを活用できる教員の養成プログラム
- 不登校児童・生徒支援教育プログラム など

※各プログラムにより履修要件が異なります。なお、修了要件を満たすことにより、卒業時に学校教育法施行規則に基づく学修証明書等が交付されます。

各専攻・コースに対応した学位プログラムは本学WEBページにてご確認ください。

※1 学校教育教員養成課程、養護教諭養成課程をいう。 ※2 養護教諭養成課程のみ、養護実践力 ※3 学校教育教員養成課程のみ



学修成果評価システム

学業成績や学外実習、課外活動とボランティア活動などから構成される学修成果の蓄積と到達目標への到達度を明らかにするポートフォリオの構築を行いました。
学生自身が自己の学びをふりかえり、次の学びのデザインを行うための新たなツールとして整備し、主体的な学びを促進しようとするものです。

学修のふりかえりと学びのデザイン

指導教員は、入学から卒業までの間、継続的に面談をおこない、ポートフォリオに基づいて指導や助言をし、良好な大学生活を送れるように支援します。

電子ポート
フォリオをコアとする
学生による
学修成果評価
システム



01

02

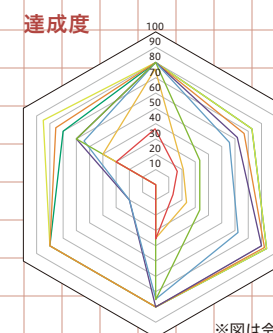
03

学修プロセスの蓄積

授業の成績や、学外実習、課外活動、ボランティア活動における取組の成果をポートフォリオに蓄積し、活用を支援します。

学修成果	達成度	評価
授業の成績	85	A
学外実習	75	B
課外活動	65	C
ボランティア活動	55	D
学修成果の蓄積	45	E
学修成果の活用	35	F
学修成果の発信	25	G

学修成果の可視化

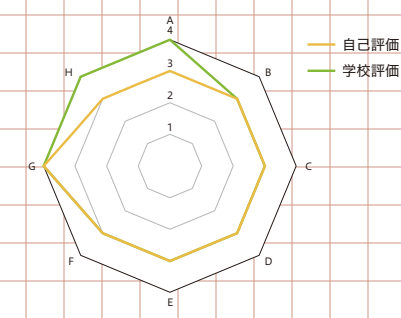


※図は令和6年度のイメージです。

教育実践力の育成

キャンパスにおける学びをもとに、学校における教育実習や、インターンシップによる活動を通じて、これからの教職に求められる実践的資質・能力の形成プロセスを確認します。

※教育協働学科の学生は、教員免許取得希望者のみ



学校教育教員養成課程

幼小教育専攻／次世代教育専攻／教科教育専攻／特別支援教育専攻／小学校教育(夜間)5年専攻

養護教諭養成課程

実践力のある、
幼・小・中・高・特別支援の
教諭および養護教諭を育てる。

これからの学校現場で必要とされる教員に

学校種を超えて子どもの発達を踏まえた学校教育全体を俯瞰した教師に必要な資質・能力を育成するため、令和6年4月に初等教育教員養成課程と学校教育教員養成課程を一本化しました。

本学は令和4年3月に文部科学省から教員養成フラッグシップ大学の指定を受けており、教員養成フラッグシップ大学の特例を活用した先導的・革新的な教員養成カリキュラムを展開し、現代の教育課題に対応した「学校現場で必要とされる教員」を養成します。

学校教育教員養成課程は、幼児教育と小学校教育の接続を踏まえた幼小

教育専攻、学習者中心の学びを支え、次世代の学校教育をけん引する次世代教育専攻、小・中・高の教科指導力を身に付け、小学校及び中学校(一部高等学校)の免許が取得できる教科教育専攻、特別支援教育の専門的な指導力と実践力を身に付ける特別支援教育専攻、夜間5年間で小学校教育について学ぶ小学校教育(夜間)5年専攻で構成されます。子ども一人ひとりの学びに寄り添いながら自らも探究心をもって学び続ける人材育成をめざします。

近畿地区唯一の国立大学の養護教諭養成課程は、学校保健の中心的役割となれるような養護教諭を育てます。

▼ 天王寺キャンパス

学校教育	幼小教育※	幼児教育、小学校教育
	小学校教育(夜間)5年	
	小学校教育(夜間)5年(3年次編入学)	

※1～2年次を柏原キャンパス、3～4年次を天王寺キャンパスで修学します。

▼ 柏原キャンパス

学校教育	次世代教育	教育探究、ICT教育
	教科教育	国語、英語、社会科、数学、理科 技術、家政、保健体育、音楽 美術・書道
	特別支援教育	
	養護教諭	

教員養成課程がめざす人材育成

指導内容の理解と実践力

保育または各教科や教科外の指導に必要な専門的知識や技能の基本を身に付ける。また、学習環境の整備、アクティブ・ラーニングを取り入れた「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた学習者を中心とする指導計画の立案や授業づくりができる。

子どもへの対応の理解

外国にルーツのある子どもや障がいのある子どもなど、特別な配慮や支援を必要とする子どもの特性や社会的包摂の理念を理解したうえで、支援するために必要な知識や支援の方法を身に付ける。また組織的な取組や専門家等と連携する重要性を理解する。

ICTや教育データを利活用する力

学校におけるICTの活用の意義を理解し、授業や校務等にICTを活用するとともに、児童等のICT活用能力を育成するための授業を構想できる。また、学習の改善を図るため教育データを適切に活用することができる。

教職力量を自らひらく力

実践的な教育活動に参画し、児童等と積極的なコミュニケーションをとることができ、自らの学修を記録などに基づいて省察し、目標達成に向けて成長しようとする意欲や学び続ける教師としての姿勢や態度を身に付けている。

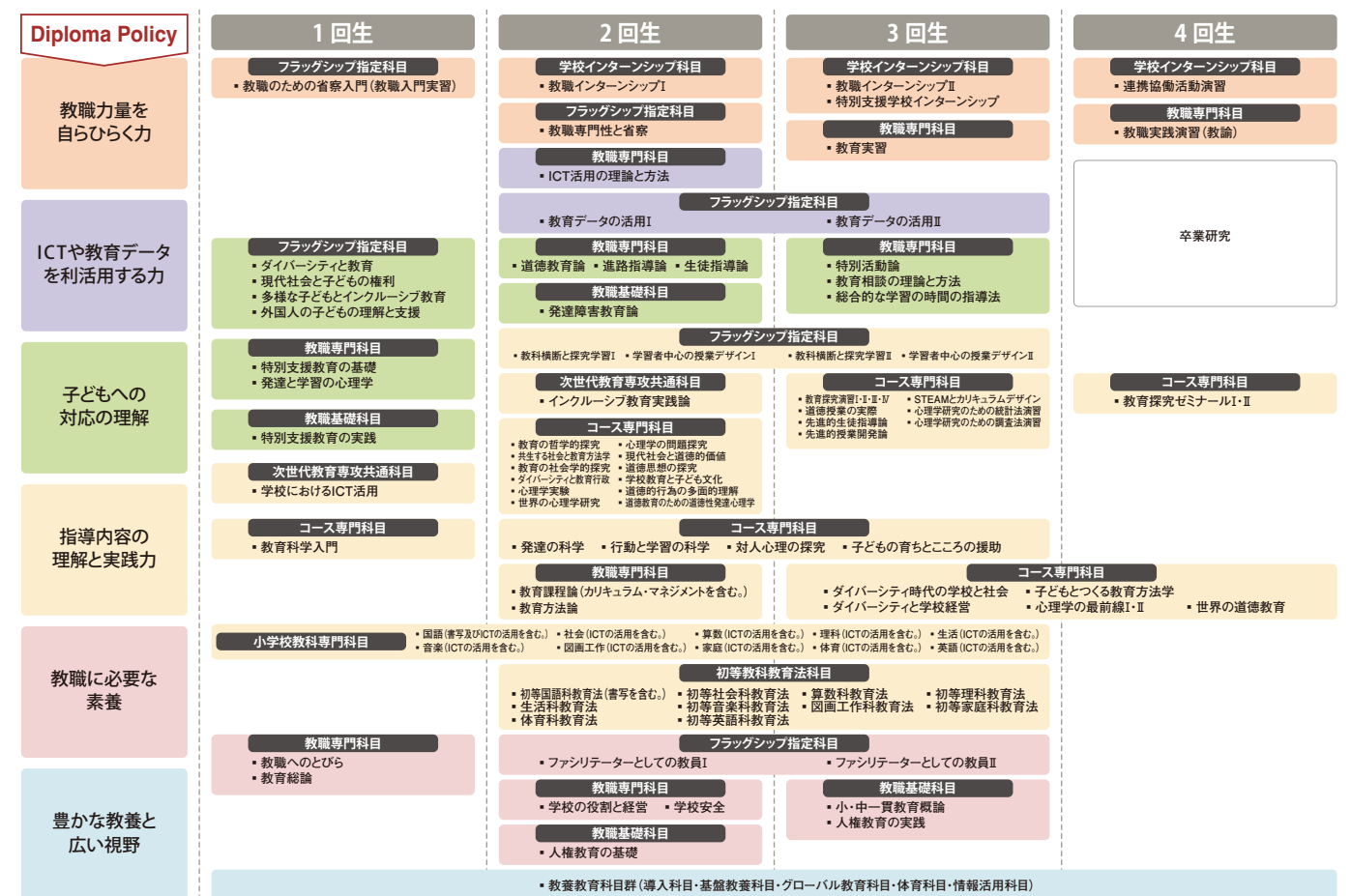
学校教育教員養成課程 次世代教育専攻(教育探究コース) カリキュラムマップ

カリキュラムマップは、各科目を履修することによりどのような力を身に付けることができるかを表しています。

以下は、学校教育教員養成課程 次世代教育専攻(教育探究コース)の事例です。

フラッグシップ指定科目とは、教員養成フラッグシップ大学の特例を適用した、本学独自の教職課程を編成するための新しい授業科目です。

各専攻・コースのページに記載の主な授業科目は令和8年度のもです。



✚ 教育職員免許状の副免許状及びその他の資格等を取得する場合、上記卒業に必要な科目の単位を修得するほか、各資格等の取得に必要な科目の単位を併せて修得する

教員養成フラッグシップ大学とは？

教員養成フラッグシップ大学とは、「令和の日本型学校教育」を担う教師の育成を先導し、教員養成の在り方を変革するけん引役を果たす大学として、文部科学大臣から令和4年3月に本学を含む4大学が指定されました。

ダイバーシティ教育を基盤とした先導的・革新的な教員養成プログラムの開発

本学では、フラッグシップ特例制度を活用し、新しい時代の教育に必要なダイバーシティ教育を基盤として4つのテーマ領域と実習系の科目で繰り返し学び続けるようなカリキュラムを開発しています。4年間にわたって、大学での学びと学校現場での実践を往復し、ふりかえり改善する力(省察)と探究力を修得する仕組みにより、「問い続け、寄り添える教師」の育成をめざします。

新しい時代の教育に必要な力(大阪教育大学独自のカリキュラム)

フラッグシップ 指定科目		教育実習・学校インターンシップ（詳細はP.9～10）	
		実践への参加の段階 各段階で期待される実践の発展	探究の発展
4 回 生	併修教育実習	●継続可能であり、かつ変革を志向する授業や学級づくりを計画し、実践する	実践を踏まえて 探究テーマを吟味する 
3 回 生	基本教育実習	●子ども集団に対してよりよい授業を計画し、実践する ●よりよい学級や集団づくりを計画し、実践する	探究テーマを決めて実践する 
2 回 生	学校インターンシップ	●個々の子どものニーズや子どもなりの論理を理解する ●様々な支援の方法や関わりの方 法を知り、即興的に実践する ●子どもと個別的に信頼関係を結ぶ	実践に関わる自分なりの 探究テーマを探る 
1 回 生	教職入門実習	●公教育の目的を意識する ●自身が受けてきた教育によって無自覚のうちに身に付けた、子どもや教育に対する見方を自覚する ●教わる立場から教える立場に転換する	実践に関わる自分なりの 問題意識を膨らませる 
ダイバーシティに関する科目 「ダイバーシティと教育」 「現代社会と子どもの権利」 「外国人の子どもと理解と支援」 「多様な子どもとインクルーシブ教育」		教職のための省察入門	

Pick Up! 産官学連携による教員養成プログラム開発

フラッグシップ指定科目の開発にあたっては、大学と社会や企業との連携の取り組みを授業に反映することで、新たな時代に対応する教員養成を進めようとしています。教師をめざす学生たちが将来、学校現場で直面する可能性の高い児童・生徒のさまざまな問題行動について深く学ぶことを目的に、「バーチャルスクール教材」を開発しました。この教材では、学校現場の様々な教員の仕事を疑似体験を通して学ぶことができ、大学の「多様な子どもとインクルーシブ教育」の授業などで活用しています。また、本学が社会や他の大学に提供する先進教員プログラムとして、広く公開する計画です。

多様なニーズをもつ子どもへの対応を学ぶ
バーチャルスクール空間の様子



大学の授業で活用しています



学校教育教員養成課程 幼小教育専攻

幼小連携を踏まえた実践力の高い 幼稚園・小学校教員をめざす

グローバルな視野と豊かな教養を身に付け、幼稚園と小学校との連携を踏まえた専門的知識・技能及び優れた実践力・応用力を有する教員を養成します。そのために、教養科目及び基礎的科目を修得しながら、教職に関わる科目を幅広く学ぶとともに、一人ひとりの子どもの人権や安全を守る教育についての知識や能力を養い、幼児教育と小学校教育の双方の専門分野について学修を深めます。「幼児教育コース」では、幼児を理解する力や豊かな表現力を身に付け、小学校教育との接続を踏まえた幼児教育について総合的な視点をもつ実践力のある幼稚園教員を養成します。「小学校教育コース」では、児童を理解する力や基礎的な指導力を身に付け、幼児教育との接続を踏まえた小学校教育について総合的な視点をもつ実践力のある小学校教員を養成します。

幼児教育コース

カリキュラムマップ



知識と技能を深め、幼・小連携を踏まえた幼稚園教員をめざす

幼児教育コースでは、幼児を理解する力や豊かな表現力を身に付け、高度な実践力・専門性及び幼児教育の総合的な視点をもつ幼稚園教員を養成します。幼児と出会う・幼児の発達を理解する・現実の幼児教育に関わる、の3つのステップを中心に、幼児とのふれあいの中から多くを学び、「幼児教育の現場と関わりつつ学ぶ」という創造的・体験的な側面を重視します。さらに、多文化共生としょうがい共生についての知識や能力を養います。1～2回生を柏原キャンパス、3～4回生を天王寺キャンパスで修学します。

求める学生像

- 高等学校等で履修した教科・科目における基礎学力を有している人
- 幼稚園等での教職に就くことを強く希望し、探究心を持って主体的に学ぶ態度を有している人
- 幼児教育に深い関心を持ち、学ぶための十分な学力と適性を有している人
- 幼児とのふれあいなどの体験的な活動を通じて学びたいと思っている人

POINT

- 幼児期から児童期の発達と学びを見通し、制度や歴史を理解する
- 幼児の主体的な表現を支える力量を育む
- 多文化共生、しょうがい共生、子育て支援など、新しい課題に対応する態度と基礎を培う

取得可能な免許

- 幼稚園教諭一種
- ◎小学校教諭一種

- 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状
- ◎卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状
- ※保育士資格は、年に2回実施される保育士試験を受験し、合格することで取得可能です。例年、幼児教育コースの学生の約90%が保育士資格を取得し卒業しています。

4年間の学びの流れ

1回生	2回生	3回生	4回生
「教職のための省察入門」での教職入門実習や附属幼稚園での入門的授業で、幼児教育の全体像をふまえます。 主な授業科目 ●教育総論 ●教職へのとびら ●幼児理解と教育相談 ○ダイバーシティと教育 ○現代社会と子どもの権利 ○多様な子どもとインクルーシブ教育 ○外国人の子どもの理解と支援 ○教職のための省察入門 ●5つの領域に関する専門的事項（健康、人間関係、環境、言葉、表現） ●幼児教育実践総論 ●ピアノ表現演習 I・II	5つの領域に関する指導法などから実践の基礎をかため、自身の得意領域も意識しはじめます。 主な授業科目 ●学校安全 ●幼児教育指導法 ●5つの領域に関する指導法（健康、人間関係、環境、言葉、表現） ○教職専門性と省察 ●幼児教育インターンシップ ●表現指導基礎演習 I・II ●幼児教育研究調査法 I・II ●就学前の教育学	教育実習や「幼小連携教育論」「保育とダイバーシティ」などにより、現場の機微を学び、多様性への対応力を養います。 主な授業科目 ●幼小連携教育論 I・II ●幼児教育課程論 ●教育実習 ●表現指導演習 I ●幼児教育分析演習 ●幼児教育プロジェクト演習 I・II ●幼児臨床学 ●家庭地域連携の政策 ●保育内容実践演習 I～IV ●保育とダイバーシティ ●幼児教育実践研究 I・II	領域を深めた授業や卒業論文で、自身が生涯をかけて取り組むテーマに出会うことをめざします。また「教職実践演習」などで現場に出る最終準備を行います。 主な授業科目 ●教職実践演習 ●表現指導演習 II ●幼児教育学特講 ●幼児教育探究演習 I・II ●保育内容特講 ●幼児教育実践研究 III・IV ●卒業研究

○は大学のフラッグシップ指定科目です。

専任教員・専門分野（五十音順）

ピアノ/演奏法・音楽表現
加藤 あや子

教育心理学
戸田 有一

幼児教育学・保育学
中橋 美穂

小学校教育コース

カリキュラムマップ



小学校教員としてのオールラウンドプレイヤー

小学校の全教科・領域に関する幅広い知識・技能・指導力や今日的な教育課題（ICT、発達障がい、多文化共生、英語を中心とした外国語能力）などに対応する能力と共に、児童を理解する力や基礎的な指導力を身に付け、特に幼児教育からの接続を理解した現場実践力の高い小学校教員を養成します。このコースは、1・2回生は柏原キャンパス、3・4回生は天王寺キャンパスで学びます。天王寺キャンパスは交通の便がよく、学校インターンシップや児童いきいき放課後事業（大阪市）で小学校現場に通うのも便利で、学生のうちから学校現場を身近に経験することができます。

求める学生像

- 小学校教育について関心があり、教職に就くことを強く希望し、探究心を持って主体的に学ぶ態度を有している人
- 小学校教員をめざすために必要な基礎学力を有している人
- 社会の多様性を理解し、多様な人々とコミュニケーションを図り、協働できる能力を身に付けようと思っている人
- 教職に必要な知識や技能、教科に関わる専門分野への関心があり、それらを学ぶための十分な学力と適性を有している人

POINT

- 小学校の全教科について全方的な力量形成
- 柏原でホップ、天王寺でステップ、現場へジャンプ！
- たいせつなことはすべて小学校教育コースが教えてくれる

取得可能な免許

- 小学校教諭一種
- ◎幼稚園教諭一種
- 中学校教諭一種または二種（技術・家庭 以外）
- 高等学校教諭一種（工業・家庭・書道 以外）
- 特別支援学校教諭一種（知・肢・病）

- 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状
- ◎卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状
- 取得をめざすことができる教員免許状

4年間の学びの流れ

1回生	2回生	3回生	4回生
「教職のための省察入門」での教職入門実習、教育学や心理学の教職専門科目を通して小学校教育の全体像を学ぶ。 主な授業科目 ●教育総論 ●教職へのとびら ○ダイバーシティと教育 ○現代社会と子どもの権利 ○多様な子どもとインクルーシブ教育 ○外国人の子どもの理解と支援 ○教職のための省察入門	幼児教育も視野に入れ、教科に関する専門科目を学ぶ。 主な授業科目 ●学校安全 ●ICT活用の理論と方法 ○教科横断と探究学習 I ○教育データの活用 I ○ファシリテーターとしての教員 I ○学習者中心の授業デザイン I ○教職専門性と省察 ●学校インターンシップ体験 ●初等教科教育法（社会、生活、家庭、体育）	教育や教科の指導法を学び、「教育実習」や学校インターンシップを通して実践力を高める。 主な授業科目 ●幼小連携教育論 I・II ●教育実習 ○教育データの活用 II ○学習者中心の授業デザイン II ○初等教科教育法（国語、算数、理科、音楽、図画工作、英語） ●小学校教科専門（英語） ●教育学研究 Ia・Ib ●心理学研究法 a・b ●学校インターンシップ I ●ICT教育の実践研究 a・b ●学習指導研究 a・b（国語科、社会科、英語科、音楽科、図画工作科、体育科） ●数学入門 a・b ●数学・数学教育演習 a・b ●理科の実験 Ia・Ib ●生活科学 a・b	「卒業研究」や「教職実践演習」などを通して、幼児教育からの接続を理解した小学校教員としての資質能力を築きます。 主な授業科目 ●教職実践演習 ●課題研究 I・II ●学校インターンシップ II ●理科の実験 IIa・IIb ●卒業研究

●小学校教科専門（国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育）

○は大学のフラッグシップ指定科目です。

専任教員・専門分野（五十音順）

英語教育学
生馬 裕子

理科教育学
岡部 舞

英語教育学
小林 翔

教育哲学・教育思想
高松 みどり

基礎解析学・数学教育学
富永 雅

応用行動分析学・インクルーシブ教育
野田 航

地学教育・科学教育
廣木 義久

国語教育学
藤川 和也

国際経済学
裴 光雄

学校臨床心理学
牧 郁子

図画工作・美術・工芸教育
松井 祐

情報教育・ものづくり教育
向田 識弘

発達心理学
柳岡 開地

教育社会学
藪田 直子

音楽学・音楽教育学
吉野 秀幸



学校教育教員養成課程 次世代教育専攻

これからの時代の教育を探究する 先進的な教員養成コース

次世代教育専攻は、令和の日本型学校教育を担う教職人材を育成すべく、本学が文部科学省より指定された教員養成フラッグシップ大学構想を象徴する専攻として、令和6年度に新設されました。今や職業としての教職には、児童・生徒の多様性と個性、協働性を重視しながら、主体的・対話的で深い学びを実現する授業実践力、多様性を視野に入れた生活指導、ICTに関わる環境の整備や機器の活用など、総合的な資質・能力が求められます。次世代教育専攻は、このような現代的かつ総合的な教職力量を高めることを中心的な目標としています。

次世代教育専攻

教育探究コース

カリキュラムマップ



現代の幅広い教育課題に対応する未来志向の教職コース

教育探究コースは現代の教育課題に幅広く対応できる教員を養成するために、令和6年度に設置されました。多様な人々が共生する現代のダイバーシティ社会にあつては、様々な個性を見せる児童・生徒の学びを、時には従来の教科の枠に捉われず教科横断的に、時には個別的な問題意識に基づく探究的な学びとして、教育データを活用しながら効果的にデザインする必要があります。このような教職力量の育成をめざす本コースでは、教職力量の基盤となる教育学や心理学、道徳教育学、教科教育学を融合する先進的なカリキュラムを設定し、小学校を中心に教職を強く志望する学生をサポートしていきます。また本コースは、さらなるステップアップとして、本学教職大学院への進学にもスムーズに開かれています。

求める学生像

- 現代の様々な教育課題に対応できる幅広い教養を身に付けるため、高等学校で履修した教科・科目における基礎学力を有している人
- 教職の基盤となる教育学や心理学、道徳教育学さらには学習者中心の教科学習に関心があり、それらを専門的に学ぶための十分な学力と適性を有している人
- 社会の多様性を理解し、様々な個性を見せる児童・生徒の育成・支援をめざして、多様な人々とコミュニケーションを図り、協働できる能力を身に付けようと思っている人

POINT

- 現代の教育課題、特に大阪の教育課題(ダイバーシティ教育)に対応できる
- 最新の教育研究に基づいた実践的課題解決力の育成
- 学校教育現場や教職大学院と連携した学びの展開

取得可能な免許

- 小学校教諭一種
 - 中学校教諭一種または二種(国語・英語・社会から選択)
 - 高等学校教諭一種(国語・英語・[地理歴史・公民]・情報から選択)
 - 中学校教諭一種または二種(上記に記載した以外の教科)
 - 高等学校教諭一種(上記に記載した以外の教科)
 - 特別支援学校教諭一種(知・肢・病)
- 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状
 - 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状
 - 取得をめざすことができる教員免許状

4年間の学びの流れ

1回生

ダイバーシティ(多様性)社会を前提とした教育研究を進めるにあたり、入門的性格を帯びる各授業で、現代の学校教育に求められる諸課題や、それにアプローチする方法の概観を獲得します。

主な授業科目

- 教育総論
- 教職へのとびら
- ダイバーシティと教育
- 現代社会と子どもの権利
- 多様な子どもとインクルーシブ教育
- 外国人の子どもの理解と支援
- 教職のための省察入門
- 学校におけるICT活用
- 教育科学入門

教育学、心理学、道徳教育学、教科教育学という4つの領域の専門的学修が本格的に始まり、特に学習者中心を意識した自身の問題意識を醸成します。

主な授業科目

- 学校安全
- ICT活用の理論と方法
- 教科横断と探究学習Ⅰ
- 教育データの活用Ⅰ
- ファシリテーターとしての教員Ⅰ
- 学習者中心の授業デザインⅠ
- 教職専門性と省察
- 教職インターンシップⅠ
- インクルーシブ教育実践論
- 共生する社会と教育方法学
- 心理学の問題探究
- 道徳的行為の多面的理解
- 学校教育と子ども文化

- 初等教科教育法(国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、英語)

3回生

専門の学修と並んで、基本教育実習など実際の学校教育現場での体験も視野に入れながら、自身の「強み」を活かす探究課題を明確にし、卒業研究につながる活動を展開します。

主な授業科目

- 教育相談の理論と方法
- 教育実習
- 教科横断と探究学習Ⅱ
- 教育データの活用Ⅱ
- ファシリテーターとしての教員Ⅱ
- 学習者中心の授業デザインⅡ
- 小学校教科専門(英語)
- 先進的生徒指導論
- 心理学研究のための統計法演習
- 道徳授業の実際
- STEAMとカリキュラムデザイン

4回生

卒業研究(卒業論文)として自身の探究課題に取り組むとともに、希望に応じて、さらに高度な学修の道筋として、教職大学院等への進学を準備します。

主な授業科目

- 教職実践演習
- 教育探究ゼミナールⅠ・Ⅱ
- 卒業研究

○は本学のフラッグシップ指定科目です。

専任教員・専門分野(五十音順)

臨床心理学・
カウンセリング
上田 裕美

随伴性の科学・
実験的行動分析
大河内 浩人

道徳教育
金光 靖樹

道徳教育・
教育学
小林 将太

発達心理学・
教育心理学
小松 孝至

人権教育・
家族社会学・
部落問題研究
齋藤 直子

教科教育学
(生活科・総合的な学習)
佐久間 敦史

教育方法学・
生活指導
佐藤 雄一郎

教育哲学・
教育思想
瀬戸口 昌也

教育社会学
高橋 一郎

発達心理学・
教育心理学
高橋 登

国語科教育学
土山 和久

認知科学・
教育心理学
森 兼隆

教育方法学・
ライティング
教育研究
森本 和寿

実験心理学・
認知科学
渡邊 創太

外国語教育・
教師教育
王 林鋒



最先端のICTを活用できる知識と素養を身に付ける教職コース

予測困難な時代が到来する中で、ICTの活用は学校を支える基盤として必要不可欠なものになりました。GIGAスクール構想による1人1台端末環境を活かし、児童生徒も日常的に端末の活用が必須な時代です。この時代背景を受け、次世代の教育を支える人材を育成すべく、ICT教育コースが令和6年度に設置されました。GIGAスクール構想を踏まえたデジタル教材開発や、教育データの活用、インターネットを活用した教材開発、デジタル技術の活用による教育課題の発見や解決といった、学校内でICT活用に見解が深く、先導的な役割を担える教師の育成を行います。

求める学生像

- 現代の様々な教育課題に対応できる幅広い教養を身に付けるため、高等学校で履修した教科・科目における基礎学力を有している人
- 新しい概念や技術に自ら積極的に触れ合おうとする向上心を持つ人
- ICTの特性について理解するだけでなく、教育の情報化を推進するべく、他者にその特性を「伝える・教えられる」ようにするコミュニケーション能力や、他者と協働できる能力を身に付けようとする意欲のある人

POINT

- 最新の情報機器やクラウドサービスを積極的に活用した授業実践
- 情報科学の知識・技術を身に付けるための豊富な演習授業
- ICTの特徴理解をもとにした学校教育現場への実践力の育成

取得可能な免許

- ① ● 小学校教諭一種 ● 高等学校教諭一種(情報)
☐ 中学校教諭一種または二種
☐ 高等学校教諭一種(上記に記載した以外の教科)
☐ 特別支援学校教諭一種(知・肢・病)
- ② ● 中学校教諭一種(数学) ● 高等学校教諭一種(情報)
☐ 高等学校教諭一種(数学)
☐ 小学校教諭一種または二種
☐ 中学校教諭一種または二種(上記に記載した以外の教科)
☐ 高等学校教諭一種(上記に記載した以外の教科)
☐ 特別支援学校教諭一種(知・肢・病)

- 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状
☐ 取得をめざすことができる教員免許状
 ①もしくは②を出願時に選択します。

4年間の学びの流れ

1回生

教育現場におけるICT活用の理解を進めるにあたり、各専門領域の入門授業を中心にを行います。情報教育や学校におけるICT活用の必要性の理解をめざします。

主な授業科目

- 教育総論
- 教職へのとびら
- ダイバーシティと教育
- 現代社会と子どもの権利
- 多様な子どもとインクルーシブ教育
- 外国人の子どもの理解と支援
- 教職のための省察入門
- 学校におけるICT活用
- 情報倫理
- 情報処理演習
- 教育メディアの表現
- 教育メディアの技術

- ① ● 小学校教科専門(国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育) ● 小学校教科専門(英語)

- ② ● 線形代数学 a ● 代数学 a・b ● 幾何学 ● 数学科教育法 I・II・III・IV ○は本学のフラッグシップ指定科目です。
 ● 微分積分学 a ● 解析学 a・b ● 確率・統計概論

情報科学やデータサイエンスの基礎を学ぶための基礎数学や情報理論、プログラミングの演習を行います。プログラミングの演習では、座学のみならず受講生同士の議論を踏まえて、より良いコーディングスキルやディスカッションスキルの獲得をめざします。

主な授業科目

- 学校安全 ● ICT活用の理論と方法
- 教科横断と探究学習 I
- 教育データの活用 I
- ファシリテーターとしての教員 I
- 学習者中心の授業デザイン I
- 教職専門性と省察
- 情報科教育法 I・II
- 教職インターンシップ I
- インクルーシブ教育実践論
- 計算機科学 ● データサイエンス I
- プログラミングとグループワーク I・II
- プログラム言語

専門分野の理解を深化するべく、ICTを活用した教材開発や学習環境の構築、情報通信ネットワークの基礎等を学び、学校現場においてICT活用の普及・促進するための技術を体系的に獲得することをめざします。また、自分自身の研究テーマを探索します。

主な授業科目

- 教育相談の理論と方法
- 教育実習
- 教科横断と探究学習 II
- 教育データの活用 II
- ファシリテーターとしての教員 II
- 学習者中心の授業デザイン II
- 情報通信ネットワーク
- ICTを活用した教材開発
- データ構造とアルゴリズム
- ロボット教材とプログラミング A・B
- システムソフトウェア
- ソフトウェア設計・開発
- データベース演習

これまでの学びをふりかえり、学校教員に必要な資質・能力を確認します。各研究室でそれぞれの専門をより深く学び、その集大成として卒業研究を通して情報教育に深く理解のある教員をめざします。

主な授業科目

- 教育実習
- 教職実践演習
- ICT課題研究 I・II
- ICTを活用した教育支援
- 卒業研究

学校教育教員養成課程 教科教育専攻

令和の日本型教育を視野に入れた
教科学習を構想・実践しよう！

教科教育専攻は、ICTの活用、個に応じた教育(個別最適化)、協働的な学びなど、令和の日本型学校教育に求められる学校教育の諸課題に対応し、主に小・中学校の教科学習を中心に、教師としての授業力を開発することを目指す専攻です。基本的には、各教科に独特の教科内容や指導法に関する授業が展開され、各教科の探究的な学びにじかに触れることができ、それと並んで、教科を横断する授業開発のありかたも学ぶことができます。さらに、条件が合えば、所属する教科コースで取得する中学校・高等学校の教科免許状以外に、他教科の免許状を取得する可能性も開かれています。

国語教育コース
英語教育コース
社会科教育コース
数学教育コース
理科教育コース
技術教育コース
家政教育コース
保健体育コース
音楽教育コース
美術・書道教育コース

専任教員・専門分野(五十音順)

教育情報学 情報教育学 計算機科学 教科教育学(情報)
 尾崎 拓郎 納庄 聡 望月 久稔 若杉 祥太



国語の専門家として学び続ける教師を育てる

国語教育コースでは、小学校から中学校、高等学校を通じて取り組まれる母語としての国語教育に関する幅広い確かな知識と技能を持ち、児童・生徒の言葉の力を豊かに育てる国語教育実践力を備えたエキスパートとしての資質・能力を育成します。そのために、国語科の基礎科学としての国語学、日本文学、児童文学、漢文学等を学ぶとともに、授業実践につながる精緻な教材分析、学習者を中心とした授業づくり、教育ファシリテーションについて学びます。

求める学生像

- 高等学校で履修した教科・科目における基礎学力を有している人
- 国語科を中心に、教科に関わる専門分野への関心があり、それらを学ぶための十分な学力と適性を有している人
- 社会の多様性を理解し、多様な人々とコミュニケーションを図り、協働できる能力を身に付けようと思っている人
- 子どもたちの成長に関わることへの関心があり、教職に就くことを強く希望し、探究心を持って主体的に学ぶ態度を有している人

POINT

- 基本から発展へ 学習者から指導者へ
- 実践力につながるアクティブラーニング
- 国際的視野に立つ国語教育

取得可能な免許

- 小学校教諭一種 ●中学校教諭一種(国語)
- ◎高等学校教諭一種(国語)
- ☐ 中学校教諭一種または二種(上記に記載した以外の教科)
- ☐ 高等学校教諭一種(上記に記載した以外の教科)
- ☐ 特別支援学校教諭一種(知・肢・病)

- 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状
- ◎卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状
- ☐ 取得をめざすことができる教員免許状

4年間の学びの流れ

1回生

国語学概論、国文学概論、漢文学概論、国語科教育入門という各専門領域を学び始めます。ことばの力の基礎作りをめざします。

- 主な授業科目**
- 教育総論
 - 教職へのとびら
 - ダイバーシティと教育
 - 現代社会と子どもの権利
 - 多様な子どもとインクルーシブ教育
 - 外国人の子ども理解と支援
 - 教職のための省察入門
 - 国語学概論 A・B
 - 国文学概論 A・B
 - 漢文学概論 A・B
 - 国語科教育入門 A・B

2回生

教科専門科目は、概論から特論・講義へと進みます。より専門的な内容になり、広がりが深まり、ことばの力が大きく伸びます。また、「国語科資質・能力開発論」では、教材研究の仕方や国語科授業作りの基礎基本、指導方法などを学び、「書道概論」では、国語教師としての書道の基本を学びます。

- 主な授業科目**
- 学校安全
 - ICT活用の理論と方法
 - 教科横断と探究学習Ⅰ
 - 教育データの活用Ⅰ
 - ファシリテーターとしての教員Ⅰ
 - 学習者中心の授業デザインⅠ
 - 教職専門性と省察
 - 中等国語科教育法Ⅰ・Ⅱ
 - 教職インターンシップⅠ
 - 国語学特論 A・B
 - 国文学特論 A・B
 - 書道概論Ⅰ・Ⅱ
 - 国語科資質・能力開発論Ⅰ・Ⅱ

3回生

専門分野に分かれて、課題を探究しながら、実践につながる力を身に付けていきます。今まで培ったことばの力を、教育実習の場で発揮します。学習者のことばの力を育てるための「ことばの授業づくり」に取り組み、実践します。

- 主な授業科目**
- 教育実習
 - 教科横断と探究学習Ⅱ
 - 教育データの活用Ⅱ
 - ファシリテーターとしての教員Ⅱ
 - 学習者中心の授業デザインⅡ
 - 中等国語科教育法Ⅲ・Ⅳ
 - 国語学講義ⅠA
 - 国文学講義ⅠA
 - 国語科授業実践論
 - 小中連携国語科学習開発論
 - 国語教育実践演習Ⅰ・Ⅱ
 - 小学校教科専門(英語)

4回生

卒業論文を書くのは、小学校からの学校教育生活16年間の総まとめです。ことばをめぐるいろいろな現象を研究対象に選び、自分の力で分析し、結論を導き、他の人にそれが伝わるように文章表現として構成し、卒業論文としてまとめます。

- 主な授業科目**
- 教職実践演習
 - 国語学研究Ⅰ・Ⅱ
 - 国文学研究Ⅰ・Ⅱ
 - 国語教育学研究Ⅰ・Ⅱ
 - 国語教育ゼミナールⅠ・Ⅱ
 - 卒業研究

- 初等教科教育法(国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、英語)

- 小学校教科専門(国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育)

○は本学のフラッグシップ指定科目です。

専任教員・専門分野(五十音順)

国語教育学 (文学教育)	国語教育学 (漢文教育)	近現代文学/ 児童文学	古典文学	国語教育学 (説明的文章教育)	国語学
住田 勝	中川 雅道	成實 朋子	堀 淳一	村井 隆人	脇 忠幸



Let your dreams take flight with us!

英語教師になることをめざしている皆さんのために、英語教育コースは英語力と教師力(合わせて英語教師力)を養成しています。児童や生徒の「こんなことを英語で話せたらいいな」をかなえる学習者中心の学びにつながる指導を心がけています。そのために、理論的知識に加え、指導技術を高めるために模擬授業を大切にして、実践力を育成します。さらに、さまざまな海外留学を支援しています。とりわけ英語指導法の海外研修プログラムは他大学にはない独自の制度で、修了するとTEFL(外国語としての英語教授法)の資格が取得できます。教員採用試験合格率向上のための面接指導も充実しています。あなたの夢を英語教育コースで羽ばたかせましょう!

求める学生像

- 高等学校までの基礎学力を有するだけでなく、必要な知識・技能・関連する専門分野への関心があり、それらを学ぶための十分な学力と適性を有している人
- 多様性を理解し、多様な人々とコミュニケーションを図り、協働できる能力を身に付ける意欲のある人 他者に寄り添う心を持った人
- 児童や生徒の成長に関わることへの関心があり、教職に就くことを強く希望し、探究心を持って主体的に学ぶ態度を有している人
- 「グローバル化」「ダイバーシティ」「教科横断的な学び」「探究学習」など、教員に求められる課題に柔軟かつ前向きな姿勢で臨む人

POINT

- 英語力と実践的な指導力の育成
- 独自の海外研修プログラムを含む留学制度の充実
- 教員採用試験に向けた手厚い支援

取得可能な免許

- 小学校教諭一種 ●中学校教諭一種(英語)
- ◎高等学校教諭一種(英語)
- ☐ 中学校教諭一種または二種(上記に記載した以外の教科)
- ☐ 高等学校教諭一種(上記に記載した以外の教科)
- ☐ 特別支援学校教諭一種(知・肢・病)

- 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状
- ◎卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状
- ☐ 取得をめざすことができる教員免許状

4年間の学びの流れ

1回生

英語教師として必要な英語そのものの知識、英語を使うスキルを身に付けます。「英語音声Ⅰ」では英語の個々の音を発する仕組みを学び、「比較文化論」では英語圏に限らず多様な文化を学びます。Integrated Englishでは4技能統合型の授業で全体的な英語力向上をめざします。6月に教職入門実習を体験します。

- 主な授業科目**
- 学校安全
 - ICT活用の理論と方法
 - 教科横断と探究学習Ⅰ
 - 教育データの活用Ⅰ
 - ファシリテーターとしての教員Ⅰ
 - 学習者中心の授業デザインⅠ
 - 教職専門性と省察
 - 中等英語科教育法Ⅰ・Ⅱ
 - 教職インターンシップⅠ
 - 中等英語科授業研究
 - 応用言語学
 - 英語科評価論

2回生

1回生での学びをベースに、英語を指導するとはどういうことを学びます。「応用言語学」では言語習得の基礎を、「英語科評価論」では言語運用能力をどう測るかを学びます。「中等英語科教育法」では授業の分析を行い、指導法・教授法を学び、模擬授業を行います。

- 主な授業科目**
- 教育実習
 - 教科横断と探究学習Ⅱ
 - 教育データの活用Ⅱ
 - ファシリテーターとしての教員Ⅱ
 - 学習者中心の授業デザインⅡ
 - 中等英語科教育法Ⅲ・Ⅳ
 - 英語学研究Ⅰ・Ⅱ
 - 英語教育学研究Ⅰ～Ⅷ
 - TEFL Studies
 - 小学校教科専門(英語)

3回生

個々の興味に応じたゼミに所属してさらに学びを深めます。「英語学研究」では英文法を科学的に捉え、「英語教育学研究」では理論に基づく英語指導を様々な角度から検討します。秋には教育実習で教壇に立ちます。英語教育に特化した留学プログラム(TEFL Studies)にもぜひトライしてください。

- 主な授業科目**
- 教育実習
 - 教科横断と探究学習Ⅱ
 - 教育データの活用Ⅱ
 - ファシリテーターとしての教員Ⅱ
 - 学習者中心の授業デザインⅡ
 - 中等英語科教育法Ⅲ・Ⅳ
 - 英語学研究Ⅰ・Ⅱ
 - 英語教育学研究Ⅰ～Ⅷ
 - TEFL Studies
 - 小学校教科専門(英語)

4回生

各ゼミで卒業論文執筆に向けた研究が進められます。もし、高等学校や特別支援学校の免許状を取得するなら、4回生で「併修実習」を受けます。並行して教員採用試験やさらに学びを深めるための教職大学院入試に向けて準備します。英語教育コースの教員が指導に当たる、教員採用試験対策講座を受けて、合格を勝ち取りましょう!

- 主な授業科目**
- 教職実践演習
 - 英語教育セミナーⅠ・Ⅱ
 - Academic Writing
 - 卒業研究

- 初等教科教育法(国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、英語)

- 小学校教科専門(国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育)

○は本学のフラッグシップ指定科目です。

専任教員・専門分野(五十音順)

英語教育 (特に、全人教育としての英語教育のあり方)	英語教育 (特に、小中連携・国際理解教育)	英語教育 (特に、スピーキング、ICT活用)	英語教育 (特に、ライティング)
加賀田 哲也	北野 梓	篠崎 文哉	柴田 直哉
英語統語論	第二言語習得・英語教育 (特に、リーディング・リスニング)	英語教育(特に、音声指導)	英語教育 (特に、英語コミュニケーション)
寺田 寛	橋本 健一	箱崎 雄子	Pool, Justin Parker

社会科教育コース

カリキュラムマップ

社会科に強みをもち、児童生徒と教員のウェルビーイングのための
学校づくりに貢献できる教員

社会科教育コースでは、広い視野と豊かな教養を持ち、多様な人々との共生社会を実現できる優れた人権感覚を身に付け、小中学校の社会科教育に関する幅広い知識や技能、およびファシリテーション能力に優れた小中学校の教員を主に養成します。そのため基礎的な教養科目を修得した上で、学習者中心の授業づくりができるよう教職に関する多面的な科目を学びます。また社会科教育コースの専門分野における研究活動を通して、児童生徒の探究学習を豊かにデザインし指導できる力を身に付けていきます。

求める学生像

- 教員の基盤としての広く豊かな教養を身に付けるため、高等学校までに履修した教科・科目、とりわけ社会科・地理歴史科・公民科の基礎学力を有している人
- 教職に必要な知識や技能、および社会科の専門分野に関心があり、それらを学ぶための十分な学力と適性を有している人
- 児童生徒および社会の多様性を理解し、多様な人々とコミュニケーションを図り、協働できる能力を身に付けようと思っている人
- 子どもたちの成長に関わることへの関心があり、教職に就くことを強く希望し、探究心を持って主体的に学ぶ態度を有し、自分がいる場所をより良くしようとして行動できる人

POINT

- 幅広い分野を網羅するカリキュラム
- 自主性と専門性を育てる細やかな指導
- 4年間にわたる学校現場での実践的学修

取得可能な免許

- 小学校教諭一種 ● 中学校教諭一種(社会)
- ◎ 高等学校教諭一種(地理歴史・公民)
- 中学校教諭一種または二種(上記に記載した以外の教科)
- 高等学校教諭一種(上記に記載した以外の教科)
- 特別支援学校教諭一種(知・肢・病)

- 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状
- ◎ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状
- 取得をめざすことができる教員免許状

4年間の学びの流れ

1回生

幅広い視野と教養を身に付けるとともに、社会科の各専門領域の基礎を学びます。自分自身が主体的に学びを獲得していく姿勢を身に付けます。

主な授業科目

- 教育総論
- 教職へのとびら
- ダイバーシティと教育
- 現代社会と子どもの権利
- 多様な子どもとインクルーシブ教育
- 外国人の子どもの理解と支援
- 教職のための省察入門
- 小学校教科内容(社会)
- 地誌概論
- 世界史概説
- 社会学
- 経済学
- 哲学の基礎
- 自然地理学の基礎
- 人文地理学の基礎

2回生

教職関連の科目の比重が増し、教員に必要な知識とスキルを積み上げていきます。また社会科の専門性を深め、授業づくりの基礎的力量を高めています。

主な授業科目

- 学校安全
- ICT活用の理論と方法
- 教科横断と探究学習Ⅰ
- 教育データの活用Ⅰ
- ファシリテーターとしての教員Ⅰ
- 学習者中心の授業デザインⅠ
- 教職専門性と省察
- 中等社会科教育法Ⅰ・Ⅱ
- 教職インターンシップⅠ
- 地理学概論 ●日本史概説
- 法律学 ●政治学
- 倫理学の基礎
- 歴史探究の基礎
- 社会調査
- 西洋思想概論
- 倫理学諸問題
- 社会科教育学基礎論

- 初等教科教育法(国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、英語)

3回生

専攻内の各専門分野に所属し、より専門性の高い学びを進めていきます。演習形式の授業も始まり、学問への理解を広げ、自身の研究テーマを探索する時期です。

主な授業科目

- 教育実習
- 教科横断と探究学習Ⅱ
- 教育データの活用Ⅱ
- ファシリテーターとしての教員Ⅱ
- 学習者中心の授業デザインⅡ
- 中等社会科教育法Ⅲ・Ⅳ
- 社会科基礎演習Ⅰ・Ⅱ
- 自然地理学特講
- 人文地理学特講
- 地理探究の基礎
- 日本史特講Ⅰ・Ⅱ
- 東洋史特講 ●西洋史特講
- 社会学特講 ●哲学諸問題
- 公民科探究
- 小学校教科専門(英語)

大学での学びの集大成として、卒業論文に取り組みます。1年間を通じた探究を通して、研究スキルと専門性を身に付けていきます。また、これまでの学びをふりかえって、必要な補正を行います。

主な授業科目

- 教職実践演習
- 社会科発展演習Ⅰ・Ⅱ
- 卒業研究

- 小学校教科専門(国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育)

○は本学のフラッグシップ指定科目です。

専任教員・専門分野(五十音順)

社会科教育学	哲学・倫理学	社会学	日本史	社会科教育学	哲学・倫理学	地理学
飯島 敏文	倉本 香	小林 和美	櫻澤 誠	手取 義宏	松本 啓二郎	山田 周二

数学教育コース

カリキュラムマップ



算数・数学の基本を身に付け、本質を見抜く教員になろう

数学教育コースでは、将来、教育の現場において、算数・数学に関して優れた指導力をもち、中心的な役割を担う小学校・中学校・高等学校教員を育成することをめざします。数学的な能力を高め、算数教育・数学教育の理解を深めることにより、論理的に正しく考え、何が大切かを理解するとともに、個々の児童・生徒を観察し、どう教えたら腑に落ちる体験に導けるかを見抜く力を養成することに重点を置きます。

求める学生像

- 高等学校で履修した教科・科目における基礎学力を有している人で、特に、数学に関しては、数Ⅲまで履修した人
- 社会の多様性を理解し、多様な人々とコミュニケーションを図り、協働できる能力を身に付けようと思っている人
- 数学の専門知識と数学教育に関する実践力の習得に意欲をもつ人
- 創意工夫することができて、数学の楽しさ・面白さを児童・生徒に伝えたいと思っている人
- 専門知識を駆使して、数学の諸問題に積極的に取り組める人

POINT

- 算数・数学教育に必要な専門知識を学ぶ
- 専門知識に基づいた実践研究力を身に付ける
- 教育実習を通して実践指導力を育てる

取得可能な免許

- 小学校教諭一種 ● 中学校教諭一種(数学)
- ◎ 高等学校教諭一種(数学)
- 中学校教諭一種または二種(上記に記載した以外の教科)
- 高等学校教諭一種(上記に記載した以外の教科)
- 特別支援学校教諭一種(知・肢・病)

- 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状
- ◎ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状
- 取得をめざすことができる教員免許状

4年間の学びの流れ

1回生

高校数学までは、与えられた問題を解くことを通して数学の学習を行いました。大学数学では自ら論理を組み立てて、それを展開していくことが重視されます。このような大学数学を学ぶ上でのポイントは問題意識の変革です。1回生では、その変革を促すようなショッキングな講義が展開されます。この意識の変革により、大学数学を学ぶ4年間の基盤を創ります。

主な授業科目

- 教育総論
- 教職へのとびら
- ダイバーシティと教育
- 現代社会と子どもの権利
- 多様な子どもとインクルーシブ教育
- 外国人の子どもの理解と支援
- 教職のための省察入門
- 小学校教科内容(算数)
- 数学基礎
- 線形代数学 a・b
- 微分積分学 a・b

- 小学校教科専門(国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育)

2回生

2回生では、1回生での入門を経て、数学を代数学、幾何学、解析学、確率・統計という分化した形で体系的に学んでいきます。また、演習により、自力で論理を組み立てたり、表現する力を養成します。さらに、算数科教育法や数学科教育法の授業も始まり、「小学校で算数を、中学校・高等学校で数学を教えるとはどういうことか」について学び始めます。

主な授業科目

- 学校安全
- ICT活用の理論と方法
- 教科横断と探究学習Ⅰ
- 教育データの活用Ⅰ
- ファシリテーターとしての教員Ⅰ
- 学習者中心の授業デザインⅠ
- 教職専門性と省察
- 数学科教育法Ⅰ・Ⅱ
- 教職インターンシップⅠ
- 代数学 a・b ●距離空間
- 幾何学 ●解析学 a・b
- 確率・統計概論

- 初等教科教育法(国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、英語)

3回生

1、2回生で学習したことを基礎として、代数学、幾何学、解析学、確率論、算数・数学教育学といった各分野の専門性を高めていきます。このようにして身に付けた高い専門性を背景に、基本教育実習に臨みます。そこで、児童・生徒を実際に教えることにより、「教育とは、教えるとは、分かるとは」等を真剣に考えます。

主な授業科目

- 教育実習
- 教科横断と探究学習Ⅱ
- 教育データの活用Ⅱ
- ファシリテーターとしての教員Ⅱ
- 学習者中心の授業デザインⅡ
- 数学科教育法Ⅲ・Ⅳ
- 代数学 c
- 幾何学Ⅰ
- 解析学 c
- 確率論
- 算数・数学教育論
- 小学校教科専門(英語)

○は本学のフラッグシップ指定科目です。

4回生では、専門的な各分野(代数学、幾何学、解析学、確率論、数学教育学)に分かれて、セミナー形式で数学および数学教育学を学びます。セミナーでは、学生が担当箇所を決めて専門書を読み進め、内容を整理して発表し、全員で議論する「輪読」を中心に進められます。自ら考え、他者に伝え、議論を通して理解を深めるこの学びは、講義とは異なる主体的で深い学修を可能にします。これにより、数学とはどのような学問か、算数・数学の専門書を読むとはどういうことか、算数教育・数学教育はいかにあるべきかについて学びます。同時に、論理的に説明する力、他者の考えを的確に理解する力、問いを立てる力など、教員として不可欠な資質も養われます。また、少人数での継続的な学びを通して、主体的に学び続ける姿勢や、専門的内容をわかりやすく伝える力も身に付きます。これらは、将来教員になったとき、自らの核となる確かな力となります。

主な授業科目

- 教職実践演習
- 数学演習 a・b
- 卒業研究



身近な「自然」や「科学技術」を学ぶことの喜びや感動を児童・生徒と分かち合える教員をめざす

理科教育コースでは、学習内容や指導の背景となる物理学・化学・生物学・地学・理科教育学の知識や技能によって裏付けられた確かな専門性を持つとともに、総合的な学習・探究の時間等にも対応できる教科・領域横断的な力量を兼ね備えた、理科教育の中核となる人材を育成します。

求める学生像

- 小学校・中学校・高等学校の教員になることを強く希望し、自然科学に関する知識の修得と教員としての課題の探究に意欲を持つ人
- 理科における探究的な学習や実験・観察についての興味や経験を持っている人
- 高等学校までに理科をはじめとする様々な教科・科目における基礎学力を有している人

POINT

- 自然科学についての幅広い教養と高い専門性を身に付ける
- 仲間とともに「学びあい」ながら教員資質を高める
- 学内外との交流・連携により実践的理科指導力を育成する

取得可能な免許

- 小学校教諭一種 ●中学校教諭一種(理科)
 - ◎高等学校教諭一種(理科)
 - ☐ 中学校教諭一種または二種(上記に記載した以外の教科)
 - ☐ 高等学校教諭一種(上記に記載した以外の教科)
 - ☐ 特別支援学校教諭一種(知・肢・病)
-
- 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状
 - ◎卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状
 - ☐ 取得をめざすことができる教員免許状



めざせ ものづくり教育の達人

技術教育コースでは、ものづくりについての幅広い教養を身に付けると共に、専門的知識や技能と優れた教育実践力や指導力を持ち、生徒たちの創造性や技術的な課題を解決する能力を育成することのできる小学校、中学校又は高等学校において技術教育に関わる教員の養成を目的としています。そのため、教科横断的な教育実践力も含めて、技術に関する専門分野や教科教育法に関する授業を学習者中心に展開しています。

求める学生像

- 小学校、中学校又は高等学校において技術教育に関わる教員をめざすために必要な基礎学力を有している人。特に数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、物理基礎、物理を履修した人が望ましい。
- 小学校、中学校又は高等学校において技術教育に関わる教員になることを強く希望し、探究心を持って主体的に学ぶ態度を有している人
- ものづくりの好きな人、失敗することを恐れない人
- ものづくりを通して創意工夫することの楽しさを児童・生徒に伝えたいと思っている人

POINT

- 体系立ったカリキュラム
- 少人数教育によるきめ細やかな指導
- 体験的学び(実験・実習)の重視

取得可能な免許

- 小学校教諭一種 ●中学校教諭一種(技術)
 - ◎高等学校教諭一種(工業)
 - ☐ 中学校教諭一種または二種(上記に記載した以外の教科)
 - ☐ 高等学校教諭一種(上記に記載した以外の教科)
 - ☐ 特別支援学校教諭一種(知・肢・病)
-
- 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状
 - ◎卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状
 - ☐ 取得をめざすことができる教員免許状

4年間の学びの流れ

1回生	2回生	3回生	4回生
幅広い教養とともに、自然科学を学んでいくために必要な理科の各分野や、科学の言語としての数学の基礎的な内容を学びます。さらに、教職の基礎を学びます。 主な授業科目 ●教育総論 ●教職へのとびら ○ダイバーシティと教育 ○現代社会と子どもの権利 ○多様な子どもとインクルーシブ教育 ○外国人の子どもの理解と支援 ○教職のための省察入門 ●科学のための数学 ●物理学ⅠA ●化学ⅠA ●生物学ⅠA ●地学ⅠA	理科教育の目的とその内容や指導方法を学びます。また、理科の各分野の実験を通して小学校・中学校・高等学校で必要な観察・実験の実践的なスキルを身に付けます。 主な授業科目 ●学校安全 ●ICT活用の理論と方法 ○教科横断と探究学習Ⅰ ○教育データの活用Ⅰ ○ファシリテーターとしての教員Ⅰ ○学習者中心の授業デザインⅠ ○教職専門性と省察 ●中等理科教育法Ⅰ・Ⅱ ●教職インターンシップⅠ ●物理学実験Ⅰ ●化学実験Ⅰ ●生物学実験Ⅰ ●地学実験Ⅰ ●力学 ●電磁気学 ●無機化学入門 ●物理化学 ●動物科学 ●植物科学 ●気象学 ●天文学	小学校・中学校・高等学校の教員に必要な資質・能力の向上を図るために、教職と教科の専門性を深めます。また、これまでの学びの成果を教育実習の実践の場で活かすとともに、自らの新たな課題を見出し、今後の学びにつなげます。 主な授業科目 ●教育実習 ○教科横断と探究学習Ⅱ ○教育データの活用Ⅱ ○ファシリテーターとしての教員Ⅱ ○学習者中心の授業デザインⅡ ●中等理科教育法Ⅲ・Ⅳ ●熱力学 ●反応有機化学 ●生命科学 ●地学野外実習 ●小学校教科専門(英語)	これまでの学びをふりかえり、身に付いた小学校・中学校・高等学校の教員に必要な資質・能力を確認します。また卒業研究を通して、理科教育の課題や自然界の仕組みを探究できる教員をめざします。 主な授業科目 ●教職実践演習 ●理科ゼミナールⅠ・Ⅱ ●卒業研究
●小学校教科専門(国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、英語)			

1回生	2回生	3回生	4回生
工学に関する基礎科目を学ぶと共に、技術教育を担う教員として必要な各専門分野(木材加工、金属加工、機械、電気、栽培、情報)及び技術科教育法(教育の方法)などに関する基礎的な内容を学びます。また、専門科目での実験・実習を通して、技術教育を担う教員として必要な基礎技能を身に付けます。 主な授業科目 ●教育総論 ●教職へのとびら ○ダイバーシティと教育 ○現代社会と子どもの権利 ○多様な子どもとインクルーシブ教育 ○外国人の子どもの理解と支援 ○教職のための省察入門 ●工学概論 ●工学基礎 ●工業数学A・B ●木材加工学Ⅰ ●金属加工学Ⅰ ●情報基礎 ●技術科内容論	主な授業科目 ●学校安全 ●ICT活用の理論と方法 ○教科横断と探究学習Ⅰ ○教育データの活用Ⅰ ○ファシリテーターとしての教員Ⅰ ○学習者中心の授業デザインⅠ ○教職専門性と省察 ●技術科教育法Ⅰ・Ⅱ ●工業科教育法Ⅰ・Ⅱ ●教職インターンシップⅠ ●木材加工学実習 ●製図Ⅰ・Ⅱ ●金属加工学実習 ●機械工学Ⅰ・Ⅱ ●電気工学Ⅰ・Ⅱ ●電気工学実験 ●栽培Ⅰ・Ⅱ ●情報基礎実習	主な授業科目 ●教育実習 ●技術科教育法Ⅲ・Ⅳ ○教科横断と探究学習Ⅱ ○教育データの活用Ⅱ ○ファシリテーターとしての教員Ⅱ ○学習者中心の授業デザインⅡ ●木材加工学Ⅱ・Ⅲ ●金属加工学Ⅱ・Ⅲ ●機械工学実験 ●電子計算機 ●情報処理 ●制御・情報工学 ●電子情報実習 ●職業指導 ●小学校教科専門(英語)	主な授業科目 ●教職実践演習 ●技術教育演習Ⅰ・Ⅱ ●卒業研究
●小学校教科専門(国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、英語)			

専任教員・専門分野(五十音順)

理科教育学(環境教育)	生物学(生化学)	生物学(植物科学)	物理学	化学(有機化学)	科学教育	理科教育学(諸外国の科学教育)
石川 聡子	鵜澤 武俊	岡本 圭史	鈴木 康文	種田 将嗣	種村 雅子	日高 翼
複合科学(地球惑星物質科学)	物理学	化学(無機・錯体化学)	地学(天文学)	地学(気象学)	理科教育学(教師教育)	
平川 尚毅	深澤 優子	福本 晃造	松本 桂	吉本 直弘	米田 典生	

専任教員・専門分野(五十音順)

電気工学/人と共存するロボット技術	木材加工学/技術教育	材料加工学/STEAM教育	情報と教育/人に優しい情報技術
篠澤 一彦	永富 一之	成田 一人	光永 法明

家政教育コース

カリキュラムマップ



めざせ 暮らしのプロフェッショナル

家政教育コースでは、ダイバーシティやインクルーシブの視点から今日の多様な生活課題に対応できる問題解決能力を育成するとともに、学校教育において、生活に関わる教科横断・探究学習活動を担える教員を養成します。そのために、生活に関わる専門的な知識と技能を学びます。

求める学生像

- 高等学校で履修した教科・科目における基礎学力を有している人
- 家庭科を中心に、小学校教員や中学校・高等学校教員をめざすために十分な教育実践力を身に付けようとする意欲にあふれている人
- 子どもたちの成長に関わることへの関心があり、教職に就くことを強く希望し、探究心を持って主体的に学ぶ態度を有している人
- 社会の多様性を理解し、多様な人々とコミュニケーションを図り、協働できる能力を身に付けようと思っている人

POINT

- 生活に密着した分野の授業科目を数多く開講
- 体験的学び(演習、実習、実験)を重視
- 少人数ゼミ指導による学びの深化

取得可能な免許

- 小学校教諭一種 ●中学校教諭一種(家庭)
- ◎高等学校教諭一種(家庭)
- 中学校教諭一種または二種(上記に記載した以外の教科)
- 高等学校教諭一種(上記に記載した以外の教科)
- 特別支援学校教諭一種(知・肢・病)

- 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状
- ◎卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状
- 取得をめざすことができる教員免許状

4年間の学びの流れ

1回生	2回生	3回生	4回生
学校教育について学びます。また、高等学校までの学習を踏まえ、家庭科の指導に必要な専門性を持つための基礎を学びます。 主な授業科目 ●教育総論 ●教職へのとびら ○ダイバーシティと教育 ○現代社会と子どもの権利 ○多様な子どもとインクルーシブ教育 ○外国人の子どもの理解と支援 ○教職のための省察入門 ●被服学Ⅰ ●生活経営学Ⅰ ●住居学Ⅰ ●保育学Ⅰ	具体的な教育課題や授業の組み立て方、教科内容について学びます。家庭科指導の中心となる実習を体験的に学びます。 主な授業科目 ●学校安全 ●ICT活用の理論と方法 ○教科横断と探究学習Ⅰ ○教育データの活用Ⅰ ○ファシリテーターとしての教員Ⅰ ○学習者中心の授業デザインⅠ ○教職専門性と省察 ●中等家庭科教育法Ⅰ・Ⅱ ●教職インターンシップⅠ ●調理学実習Ⅰ ●保育学実習Ⅰ ●家族関係学Ⅰ ●被服製作実習Ⅰ ●食物学Ⅰ(栄養学・食品学を含む)	学校教育について体験的に学び立て方、教科内容について学びます。教育実習に備え、また、その成果を活かす学習をします。各々の興味・関心に応じて家庭科の専門性を深めます。 主な授業科目 ●教育実習 ○教科横断と探究学習Ⅱ ○教育データの活用Ⅱ ○ファシリテーターとしての教員Ⅱ ○学習者中心の授業デザインⅡ ●中等家庭科教育法Ⅲ・Ⅳ ●家庭科基礎演習 ●保育学演習 ●家庭科教育学演習 ●生活研究論Ⅰ ●被服学実験 ●食物学実験 ●小学校教科専門(英語)	課題の発見と課題の探究を行い、成果を客観的な立場で他者に伝える意義を学びます。4年間のふりかえりを通して、教員としての自律性を育てます。 主な授業科目 ●教職実践演習 ●家庭科発展演習Ⅰ・Ⅱ ●卒業研究
●小学校教科専門(国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育)			○は本学のフラッグシップ指定科目です。

専任教員・専門分野(五十音順)

食物学 井奥 加奈	家庭科教育学 大本 久美子	保育学 小崎 恭弘	被服学 山田 由佳子
--------------	------------------	--------------	---------------

保健体育コース

カリキュラムマップ



身体を動かす楽しさを児童・生徒に伝えられる教員を育成

保健体育コースでは、保健体育やスポーツに関する広い知識と豊かな教養を持つとともに、小学校、中学校および高等学校の教育に関する知識や技能を持ち、専門の教科のみならず教科横断・探究学習についての指導力に優れた教員を育成します。また、学校安全や危機管理についての知識や能力を養うとともに、教育データの活用や学習者中心の学習を行うことで、自らが所属するコースにおいて専門分野の学習を深めます。

求める学生像

- 保健体育を中心に、小学校から高等学校の教員をめざすために十分な教育実践力を身に付けようとする意欲にあふれている人
- 保健体育やスポーツに興味と関心を強く抱き、運動の最適学習期にある児童・生徒を、その発達段階に応じて適切に指導することに喜びを見いだせる人
- 高等学校までに履修した教科・科目における基礎学力を有している人
- 子どもたちの成長に関わることへの関心があり、教職に就くことを強く希望し、探究心を持って主体的に学ぶ態度を有している人
- 社会の多様性を理解し、多様な人々とコミュニケーションを図り、協働できる能力を身に付けようと思っている人

POINT

- 多種多様な体育・スポーツ種目を経験することが可能である
- 様々な保健体育やスポーツに関する専門的知識を身に付けることが可能である
- 小学校教員または保健体育教員として教育現場で活躍できる知識・技能を身に付けることが可能である

取得可能な免許

- 小学校教諭一種 ●中学校教諭一種(保健体育)
- ◎高等学校教諭一種(保健体育)
- 中学校教諭一種または二種(上記に記載した以外の教科)
- 高等学校教諭一種(上記に記載した以外の教科)
- 特別支援学校教諭一種(知・肢・病)

- 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状
- ◎卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状
- 取得をめざすことができる教員免許状

4年間の学びの流れ

1回生	2回生	3回生	4回生
教員となるための資質を育てる第一歩として、学校教育及び保健体育やスポーツに関する知識や経験の身に付けていくために、幅広い学びの場があります。 主な授業科目 ●教育総論 ●教職へのとびら ○ダイバーシティと教育 ○現代社会と子どもの権利 ○多様な子どもとインクルーシブ教育 ○外国人の子どもの理解と支援 ○教職のための省察入門 ●運動生理学Ⅰ・Ⅱ ●衛生学及び公衆衛生学Ⅰ・Ⅱ ●水泳 ●器械運動 ●体づくり運動 ●スポーツ教育原理 ●スポーツ社会学	1回生で学んだことを基に、学校教育及び保健体育やスポーツにまつわる知識や経験を身に付けていくために、幅広い学びの場があります。 主な授業科目 ●学校安全 ●ICT活用の理論と方法 ○教科横断と探究学習Ⅰ ○教育データの活用Ⅰ ○ファシリテーターとしての教員Ⅰ ○学習者中心の授業デザインⅠ ○教職専門性と省察 ●保健体育科教育法Ⅰ・Ⅱ ●教職インターンシップⅠ ●運動学Ⅰ・Ⅱ ●学校保健Ⅰ・Ⅱ ●陸上競技 ●ダンス ●スポーツ心理学 ●スポーツマネジメント論 ●体育史 ●柔道 ●剣道	教員になるための学びをより実践的にしていくために、実習・演習等を通じて深めていきます。また、研究室に所属し、より専門的な知識を深めていきます。 主な授業科目 ●教育実習 ○教科横断と探究学習Ⅱ ○教育データの活用Ⅱ ○ファシリテーターとしての教員Ⅱ ○学習者中心の授業デザインⅡ ●保健体育科教育法Ⅲ・Ⅳ ●保健体育学研究各論演習A・B ●小学校教科内容(体育) ●学校と地域スポーツ ●発達発達学 ●サッカー ●バスケットボール ●バレーボール ●小学校教科専門(英語)	教員採用試験に向けて取り組むことはもちろん、実際に教壇に立つための自覚と自信を育むために、自ら考え、求め、学んでいく姿勢を大切に、4年間の学びをまとめていきます。 主な授業科目 ●教職実践演習 ●保健体育学ゼミナールⅠ・Ⅱ ●ハンドボール ●ラグビー ●テニス ●卒業研究
●小学校教科専門(国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育)			○は本学のフラッグシップ指定科目です。

専任教員・専門分野(五十音順)

コーチング学 石川 美久	体育科教育学 井上 功一	武道論 太田 順康	学校保健学 小川 剛司
保健体育科教育学 住本 純	運動生理学 鉄口 宗弘	体育哲学 林 洋輔	保健体育科教育学 森井 亮和

音楽教育コース

カリキュラムマップ



音楽で表現する楽しさや喜びを子どもと共有できる教師

子ども自身が「こんな風に歌いたい」「○○なイメージの音楽にしたい」というように学習者中心の音楽科授業を展開できるような教師の育成をめざします。そのために、音楽教育コースでは実技面と理論面の両側面からアプローチしていき、「誰もが取り組める」というインクルーシブの視点をもった音楽科の授業構成ができるように指導していきます。

求める学生像

- 高等学校で履修した教科・科目における基礎学力を有している人
- 子どもたちの成長に関わることへの関心があり、教職に就くことを強く希望し、探究心を持って主体的に学ぶ態度を有している人
- 現在の教育に求められている音楽科の学習活動を展開できる能力を身に付けようとする意欲のある人

POINT

- 教師に求められる実践的指導力が身に付くカリキュラム
- 音楽科の学習指導に必要な専門的な知識や演奏技能の習得
- 4年間にわたる学校現場での実践的学修

取得可能な免許

- 小学校教諭一種 ●中学校教諭一種(音楽)
- ◎高等学校教諭一種(音楽)
- ☐ 中学校教諭一種または二種(上記に記載した以外の教科)
- ☐ 高等学校教諭一種(上記に記載した以外の教科)
- ☐ 特別支援学校教諭一種(知・肢・病)

- 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状
- ◎卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状
- ☐ 取得をめざすことができる教員免許状

4年間の学びの流れ

1回生

まずは、教育を取り巻くさまざまな現状を把握することが重要になります。そのために、教職についての基礎を学ぶと共に、音楽表現に必要な実技科目および理論科目を通して、音楽教育にかかわる基礎を習得します。

主な授業科目

- 教育総論
- 教職へのとびら
 - ダイバーシティと教育
 - 現代社会と子どもの権利
 - 多様な子どもとインクルーシブ教育
 - 外国人の子どもの理解と支援
- 教職のための省察入門
- ソルフェージュ
- 創作表現Ⅰ
- 演奏基礎(こえ)
- ピアノ伴奏法
- 音楽学Ⅰ
- 小学校教科内容(音楽)

2回生

1回生で身に付けた内容を踏まえて、教職に関する内容や教科専門の内容をステップアップさせていきます。音楽科教科法の授業も始まり、実際の小中高等学校での音楽科授業にかかわる基礎理論と実践について学びます。

主な授業科目

- 学校安全
- ICT活用の理論と方法
 - 教科横断と探究学習Ⅰ
 - 教育データの活用Ⅰ
 - ファシリテーターとしての教員Ⅰ
- 学習者中心の授業デザインⅠ
- 教職専門性と省察
- 中等音楽科教育法Ⅰ・Ⅱ
- 教職インターンシップⅠ
- アンサンブル指揮法
- 演奏基礎(ピアノ)
- 合奏Ⅰ・Ⅱ
- 演奏表現(こえ)Ⅰ・Ⅱ
- 演奏表現(ピアノ)Ⅰ・Ⅱ
- 音楽教育学

- 初等教科教育法(国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、英語)

- 小学校教科専門(国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育)

学びのメインは夏休みに実施される教育実習になります。教育実習では、教科専門および教科教育のそれぞれの授業で身に付けた全ての能力が統合され、実際の授業の中で児童・生徒の学力の育成にどのように生きて働くかが課題となります。また、定期演奏会の企画運営を通して、学校行事等を行う能力を身に付けます。

主な授業科目

- 教育実習
 - 教科横断と探究学習Ⅱ
 - 教育データの活用Ⅱ
 - ファシリテーターとしての教員Ⅱ
 - 学習者中心の授業デザインⅡ
- 中等音楽科教育法Ⅲ・Ⅳ
- 和楽器アンサンブルⅠ・Ⅱ
- スコアリーディング
- 音楽学Ⅱ
- 演奏表現(こえ)Ⅲ・Ⅳ
- 演奏表現(ピアノ)Ⅲ・Ⅳ
- 舞台表現演習(伝統音楽を含む)
- 同声合唱Ⅰ・Ⅱ

演習を中心としたより実践的な学びを通して、教育実習等で得た課題を解決するための力を付けていきます。それらの学修が、教員採用試験や大学院の入試につながります。また、これまでの学びの集大成となる卒業研究に取り組みます。ここでは、演奏表現や論文執筆を通して自らの課題を一層明確にし、卒業してからの課題をもちます。

主な授業科目

- 教職実践演習
- 音楽教育学研究各論演習Ⅰ・Ⅱ
- 音楽教育実践演習
- 合唱指導法(混声)Ⅴ・Ⅵ
- 和楽器アンサンブルⅢ・Ⅳ
- 合奏Ⅴ・Ⅵ
- 卒業研究

○は本学のフラッグシップ指定科目です。

専任教員・専門分野(五十音順)

声楽・合唱 浦田 恵子	音楽教育学 兼平 佳枝	作曲 清水 慶彦	ピアノ 東山 洸雅	音楽教育学 藤本 佳子
----------------	----------------	-------------	--------------	----------------

美術・書道教育コース

カリキュラムマップ
(美術)カリキュラムマップ
(書道)

アート×人 美術・書道教育で未来を拓く

美術・書道教育コースでは、表現・鑑賞の活動を通し、子どもの人格形成を図る教育を展開できる教師を育成します。実習や講義により、美術・書道に関する様々な知識・技能を身に付け、教科横断的な学びや、探究学習を取り入れつつ、学習者中心の指導方法を学びます。セミナー合宿、研修旅行など、学年を越えたつながりを大切に、卒業研究では、専門のゼミに分かれ、4年間の成果を展覧会などで発表します。美術・書道を通し、人と交流し自らの世界を広げ学ぶ力を育てる教育をめざします。

求める学生像

- 高等学校で履修した教科・科目における基礎学力を有している人
- 美術・書道分野に関し、小学校・中学校・高等学校教員をめざすために十分な教育実践力を身に付けようとする探究心を持った意欲あふれる人
- 子どもたちの成長に関わることへの関心があり、教職に就くことを強く希望し、探究心を持って主体的に学ぶ態度を有している人
- 社会の多様性を理解し、多様な人々とコミュニケーションを図り、協働できる能力を身に付けようと思っている人

POINT

- 美術・書道の基礎から、実践的な教育、制作、研究へ
- 子どもによりそい感性を豊かに
- 4年間にわたる学校現場での実践的学修

取得可能な免許

- 「美術分野」
 - 小学校教諭一種 ●中学校教諭一種(美術)
 - ◎高等学校教諭一種(美術)
 - ☐ 中学校教諭一種または二種(上記に記載した以外の教科)
 - ☐ 高等学校教諭一種(上記に記載した以外の教科)
 - ☐ 特別支援学校教諭一種(知・肢・病)

- 「書道分野」
 - 小学校教諭一種
 - 高等学校教諭一種(書道)
 - ☐ 中学校教諭一種または二種(上記に記載した以外の教科)
 - ☐ 高等学校教諭一種(上記に記載した以外の教科)
 - ☐ 特別支援学校教諭一種(知・肢・病)

- 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状
- ◎卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状
- ☐ 取得をめざすことができる教員免許状

4年間の学びの流れ

1回生

一般教養と教職入門をはじめとする教職基礎科目を主体としたカリキュラム構成です。幼稚園、小学校、中学校で幼児、児童、生徒の実態や先生の指導方法を観察する実習があります。美術・書道の専攻科目では、造形の基礎・書法の基礎を学びます。

主な授業科目

- (共通)教育総論
- (共通)教職へのとびら
 - (共通)ダイバーシティと教育
 - (共通)現代社会と子どもの権利
 - (共通)多様な子どもとインクルーシブ教育
 - (共通)外国人の子どもの理解と支援
 - (共通)教職のための省察入門
- (美術)絵画・彫刻表現基礎 A・B
- (美術)デザイン・工芸表現基礎 A・B
- (美術)小学校教科内容(図工)
- (美術)日本美術史概論
- (書道)仮名書法研究Ⅰ
- (書道)楷書法研究Ⅰ
- (書道)小学校教科内容(書写)

- (共通)小学校教科専門(国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育)

2回生

一般教養と教職基礎および教職専門科目を主体としたカリキュラム構成です。図画工作科教育法、美術科教育法、造形の基礎、美術理論、書道理論、書道史を中心に学び、教材研究にも取り組みます。

主な授業科目

- (共通)学校安全
- (共通)ICT活用の理論と方法
- (共通)教科横断と探究学習Ⅰ
- (共通)教育データの活用Ⅰ
- (共通)ファシリテーターとしての教員Ⅰ
- (共通)学習者中心の授業デザインⅠ
- (共通)教職専門性と省察
- (共通)美術科教育法Ⅰ・Ⅱ
- (共通)教職インターンシップⅠ
- (美術)絵画・彫刻表現研究 A・B
- (美術)絵画・彫刻表現発展研究 A・B
- (美術)デザイン・工芸表現研究 A・B
- (美術)デザイン・工芸表現発展研究 A・B
- (美術)美術理論Ⅰ
- (書道)書道概論Ⅰ・Ⅱ(書写を中心とする)
- (書道)中国書道史
- (書道)日本書道史
- (書道)行書法研究Ⅰ・Ⅱ
- (書道)草書法研究Ⅰ・Ⅱ
- (書道)仮名書法研究Ⅱ

- (共通)初等教科教育法(国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、英語)

これまでの学びを基に教育実習を行い実践的指導力を身に付けます。美術・書道の専攻科目では、専門分野の学びを深めます。また、卒業研究に向けた研究テーマを設定しゼミ形式での研究を始めます。

主な授業科目

- (共通)教育実習
 - (共通)教科横断と探究学習Ⅱ
 - (共通)教育データの活用Ⅱ
 - (共通)ファシリテーターとしての教員Ⅱ
 - (共通)学習者中心の授業デザインⅡ
- (美術)美術科教育法Ⅲ・Ⅳ
- (書道)書道科教育法Ⅰ・Ⅱ
- (美術)美術科応用研究Ⅰ・Ⅱ
- (美術)デザイン・工芸史
- (美術)コミュニティとアート
- (書道)漢字作品制作Ⅰ・Ⅱ
- (書道)仮名作品制作Ⅰ・Ⅱ
- (書道)書鑑賞論
- (書道)書論研究
- (書道)書道文化論Ⅱ
- (書道)書道と文字学Ⅱ
- (書道)書道研究基礎Ⅰ・Ⅱ
- (共通)小学校教科専門(英語)

3回生で設定したテーマにもとづき卒業研究を進めます。教職実践演習を通して、教職に対するこれまでの学びをふりかえり、それぞれの課題に応じ必要な力を伸ばします。卒業研究の成果は、卒業制作展などで発表されます。

主な授業科目

- (書道)教育実習
- (共通)教職実践演習
- (美術)美術科発展研究Ⅰ・Ⅱ
- (書道)実用書式の研究
- (書道)書道自由研究Ⅰ・Ⅱ
- (共通)卒業研究

○は本学のフラッグシップ指定科目です。

専任教員・専門分野(五十音順)

漢字書道・書写書道教育 池田 利広	彫刻 加藤 可奈衛	美術教育・染織 佐藤 賢司	仮名書道・書写書道教育 瀬川 賢一	日本美術史 高間 由香里
デザイン・工芸 谷村 さくら	書論研究・漢字学 出野 文莉	国語・書写教育 原口 貴美子	絵画・美術教育 渡邊 美香	



学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻

特別なニーズのある多様な子どもたちに 対応できる特別支援教育の専門性を身に付ける

本専攻では、特別支援学校及び通常の学校における特別支援教育の高度な専門性を有する教員を養成するため、①多様な障がいのある子どもの教育・支援に関する高度な知識・能力を培い、②障がいのある子どもと障がいのない子どもが共に学び育つ授業やクラスづくりに向けた専門性を育み、③充実したインターンシップや教育実習により、特別支援教育の実践力を高めています。

求める学生像

- 高等学校で履修した教科・科目における基礎学力を有している人
- 特別支援教育に必要な教育実践力を身に付けようとする意欲にあふれる人
- 障がいのある子どもの成長に関わることへの関心があり、特別支援教育の専門性を活かして教職に就くことを強く希望し、探究心を持って主体的に学ぶ態度を有している人
- 社会の多様性を理解し、多様な人とコミュニケーションを図り、協働できる能力を身に付けようと思っている人

POINT

- 視覚障がい、聴覚障がい、知的障がい、肢体不自由、病弱、発達障がいという6つの障がい領域を専門とする日本有数の専任教員により特別支援教育の高度な専門性を有する教員を養成
- 視覚障がい、聴覚障がい、知的障がい、肢体不自由、病弱(5領域)の教員免許状を取得
- 現場経験のある専門性豊かなスタッフによる教員採用試験対策等の就職支援の結果、全国の特別支援学校教員や小学校教員等として就職し活躍

取得可能な免許

- 小学校教諭一種
 - 特別支援学校教諭一種 ※
(視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱)
 - 中学校教諭一種または二種
 - 高等学校教諭一種
- 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状
□取得をめざすことができる教員免許状
※ 所属コースに応じた3領域を取得。
さらに選択科目の単位を修得することで最大5領域とすることができる。

4年間の学びの流れ

1回生

新入生を対象とした講義が用意され、4年間で共に過ごす仲間や教員と特別支援教育の基礎を学びます。また小学校で行う教職入門実習では通常の学校で学ぶ子どもの教育を実際に学びます。

主な授業科目

- 教育総論
- 教職へのとびら
- ダイバーシティと教育
- 現代社会と子どもの権利
- 多様な子どもとインクルーシブ教育
- 外国人の子どもの理解と支援
- 教職のための省察入門
- 特別支援教育総論
- 手話学習の基礎
- 点字指導法
- インクルーシブ教育システム基礎論

2回生

6つの障がい種のいずれかのコースに所属し専門性を高めます。また、所属コース以外の障がい種の授業を受講することで、特別支援学校教諭一種免許状にはすべての障がい種を付記できます。特別支援学校インターンシップでは特別支援学校で障がいのある子どもの教育を実際に学びます。

主な授業科目

- 学校安全
- ICT活用の理論と方法
- 教科横断と探究学習Ⅰ
- 教育データの活用Ⅰ
- ファシリテーターとしての教員Ⅰ
- 学習者中心の授業デザインⅠ
- 教職専門性と省察
- 特別支援学校インターンシップ
- 視覚障害教育 ●聴覚障害教育
- 知的障害教育
- 肢体不自由教育
- 病弱教育 ●発達障害教育
- 特別支援教育コーディネーター基礎論

3回生

小学校と特別支援学校での教育実習をそれぞれ3週間行い、幅広く高度な実践力を培います。またゼミに所属し、自分の興味・関心のあるテーマについて少人数で議論しながら、見識・知見を深め広げていきます。

主な授業科目

- 教育実習
- 教科横断と探究学習Ⅱ
- 教育データの活用Ⅱ
- ファシリテーターとしての教員Ⅱ
- 学習者中心の授業デザインⅡ
- 特別支援教育実践論
- 障害児のキャリア教育
- 知的障害者の心理・生理・病理
- 肢体不自由者の心理・生理・病理
- 病弱者の心理・生理・病理
- 視覚障害心理
- 聴覚障害心理
- 小学校教科専門(英語)

4回生

特別支援教育専攻独自の教員採用試験(筆記試験・面接試験)対策講座に参加し、「教採合格」をめざします。ゼミでは、各自の興味・関心に基づき、卒業論文を指導教員の個別指導を受けながらまとめていきます。

主な授業科目

- 教職実践演習
- 視覚障害指導論
- 聴覚障害指導論
- 知的障害指導論
- 肢体不自由指導論
- 病弱指導論
- 発達障害指導論
- ユニバーサルデザイン授業論
- 卒業研究

- 初等教科教育法(国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、英語)
- 小学校教科専門(国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育)

○は本学のフラッグシップ指定科目です。

専任教員・専門分野(五十音順)

聴覚障がい児の心理と教育 井坂 行男	知的障がい教育 今枝 史雄	脳科学/ リハビリテーション医学 大内田 裕	病弱教育/ICT活用 五島 脩	障がいのある幼児の心理/ 音楽療法 茂野 仁美	視覚障がい児の心理と教育/ 教師の職能成長 奈良 里紗
人間性心理学/ 発達障がい児の心理 西山 健	肢体不自由教育 早野 真美	院内学級での教育/ 病弱者の心理 平賀 健太郎	視覚障がい教育/ 自立活動 正井 隆晶	特別支援教育(行政) 山崎 愛子	聴覚障がい心理・音声学/ 発達・言語障がい教育 湯浅 哲也



学校教育教員養成課程 小学校教育(夜間)5年専攻

都市型キャンパスで学校現場が求める 優れた実践力を身に付ける

小学校の全教科・領域に関する幅広い知識・技能・指導力や今日的な教育課題（ICT、発達障がい、多文化共生、英語を中心とした外国語能力）などに対応する能力と共に、昼間の勤労経験や教育現場でのインターンシップ活動などの豊富な経験を活かした、豊かな人間性と社会性を備えた現場実践力の高い小学校教員を養成します。

小学校教育についての知識及び技能を身に付け、小学校教育に関する最先端の知見や指導力を備えた教員を養成します。

求める学生像

- 小学校教育について、強い関心があり、それらを学ぶための十分な学力と適性を有している人
- 小学校教員をめざすために、高等学校で履修した教科・科目における基礎学力を有している人
- 社会の多様性を理解し、多様な人々とコミュニケーションを図り、協働できる能力を身に付けようと思っている人
- 子どもたちの成長に関わることへの関心があり、教職に就くことを強く希望し、探究心を持って主体的に学ぶ態度を有している人

POINT

- 昼は自由に活動、夕方から大学で学ぶ
- 広く豊かに、何でも学ぶ充実の5年間
- 多様な経験を持つ、多才な仲間たちとの学び

取得可能な免許

- 小学校教諭一種
- 卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状

5年間の学びの流れ

1回生	2回生	3回生	4回生	5回生
「教職へのとびら」や教養教育科目を通して、大学での学びの基礎を築きます。「教職のための省察入門」で小学校を訪問します。	「教育総論」や学校インターンシップ科目、小学校教科専門科目により、教育や授業づくりの基礎を学びます。	教育・実習実践系列科目や教科教育系列科目により、教育や授業づくりに関する知を深め、実践に備えます。	「教育実習」や学校インターンシップを通して、学校での実践力を高めます。「卒業研究」に向けて希望する専門の授業を受講します。	「教育実習」や「教職実践演習」などを通して、小学校教員としての資質能力を養います。また「卒業研究」を通して、学校教育の諸課題を探究します。
主な授業科目 —— ●教職へのとびら ○ダイバーシティと教育 ○現代社会と子どもの権利 ○多様な子どもとインクルーシブ教育 ○外国人の子どもの理解と支援 ○教職のための省察入門 ●小学校教科専門（国語、社会、算数、理科）	主な授業科目 —— ●教育総論 ○教科横断と探究学習Ⅰ ○教育データの活用Ⅰ ○ファシリテーターとしての教員Ⅰ ○学習者中心の授業デザインⅠ ○教職専門性と省察 ●生活科教育法 ●学校インターンシップ体験 ●小学校教科専門（生活、音楽、図画工作、家庭、体育）	主な授業科目 —— ○学習者中心の授業デザインⅡ ●初等教科教育法（国語、社会、理科、図画工作、英語） ●小学校教科専門（英語） ●教育学研究Ⅰa・Ⅰb ●学校インターンシップⅠ ●ものづくり教育研究a・b ●社会科学習指導研究a・b ●数学・数学教育研究a・b ●理科の実験Ⅰa・Ⅰb ●生活科学a・b	主な授業科目 —— ●学校安全a・b ●総合的な学習の時間の指導法 ●教育実習Ⅰ ●初等教科教育法（算数、音楽、家庭、体育） ●教育学研究Ⅱa・Ⅱb ●心理学研究法a・b ●学校インターンシップⅡ ●学習指導研究a・b（国語科、英語科、音楽科、図画工作科、体育科） ●理科の実験Ⅱa・Ⅱb	主な授業科目 —— ●教育実習Ⅱ ●教職実践演習 ●課題研究Ⅰ・Ⅱ ●卒業研究

○は本学のフラッグシップ指定科目です。

専任教員・専門分野（五十音順）

英語教育学 生馬 裕子	理科教育学 岡部 舞	英語教育学 小林 翔	教育哲学・教育思想 高松 みどり	基礎解析学・数学教育学 富永 雅	応用行動分析学・インクルーシブ教育 野田 航	地学教育・科学教育 廣木 義久	国語教育学 藤川 和也
国際経済学 裴 光雄	学校臨床心理学 牧 郁子	図画工作・美術・工芸教育 松井 祐	情報教育・ものづくり教育 向田 識弘	発達心理学 柳岡 開地	教育社会学 藪田 直子	音楽学・音楽教育学 吉野 秀幸	

カリキュラムマップ



幼小教育専攻

次世代教育専攻

教科教育専攻

特別支援教育専攻

小学校教育(夜間)5年専攻

養護教諭養成課程

教育インベーション専攻

教育コミュニケーション支援専攻

グローバル教育専攻



カリキュラムマップ



幼小教育専攻

次世代教育専攻

教科教育専攻

特別支援教育専攻

小学校教育(夜間)5年専攻

養護教諭養成課程

教育インベーション専攻

教育コミュニケーション支援専攻

グローバル教育専攻

養護教諭養成課程

学校保健の中心的役割を担う養護教諭

養護教諭養成課程では、教育学の基礎の上に、医学・看護学・養護学など、幅広い専門分野の基礎知識と実践能力を備え、健康を保持増進する能力を子どもたちが獲得できるように、様々な機会を捉え支援する資質を備えた養護教諭を養成します。そのため、幅広い教養教育の基礎の上に立って、各専門分野の学習を深めるとともに、臨床(病院)実習、養護実習などをとおして実践能力の向上をめざします。さらに、学校安全や危機対応についての知識や能力を養います。

求める学生像

- 養護教諭をめざするために必要な基礎学力があり、十分な教育実践力を身に付けようとする意欲にあふれた人
 - 養護教諭になることを強く希望し、その意志を持ち続けることのできる人
 - 子どもたちの健康な学校生活を支援することにやりがいと使命を感じる人
 - 人と明るく温かなコミュニケーションが図れる能力や個性を備えている人
- ※生物、化学を入学までに学習していることが望ましい

POINT

- 養護教諭として、幅広い教養と高い専門性を身に付ける
- 養護教諭として、子どもの心身の健康を支援する実践力を高める
- 養護教諭として、様々な教育課題に対応する実践力を身に付ける

取得可能な免許

- 養護教諭一種

卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状

4年間の学びの流れ

1回生

教養教育科目と教職専門科目・フラッグシップ指定科目を通して、教職の意義、教職への動機づけ、さらに、学校教育における今日的課題について関心を深める。また、特別な配慮や支援を必要とする子どもについて理解し、支援についての基礎的知識を修得する。養護専門科目を通して、養護教諭として、からだの構造・機能、子どもの発育・発達に関する基礎的知識を修得するとともに、子どもの健康の保持増進を考えていく上で必要不可欠な基本的理念・知識を体系的に理解する。

主な授業科目

- 教育総論
- 教職へのとびら
- 発達と学習の心理学
- 特別支援教育の基礎
- ダイバーシティと教育
- 現代社会と子どもの権利
- 多様な子どもとインクルーシブ教育
- 外国人の子どもの理解と支援
- 教職のための省察入門
- 学校保健
- 解剖生理学Ⅰ・Ⅱ
- 小児保健

2回生

教職基礎・専門科目を通して、人権侵害や差別の現状、道徳教育の理論・指導法、子どもの生活背景について理解し、学校の役割と経営についての基礎的知識を修得するとともに、今日における生徒指導上の諸問題に関する理論的・実践的な認識を身に付ける。また、学校安全や危機管理についての基本的事項を理解する。養護専門科目を通して、健康診断、保健指導、保健室経営等における養護教諭として必要な指導力の基礎を養う。子どもの援助と指導に関して、看護学・精神保健学の基本的理論と技法・技能を修得する。

主な授業科目

- 人権教育の基礎
- 学校の役割と経営
- 学校安全
- 道徳教育論
- 生徒指導論
- 教職専門性と省察
- 教職インターンシップⅠ
- 養護概説
- 養護活動実習
- 看護学Ⅰ
- 精神保健学

3回生

教職専門科目を通して、特別活動及び総合的な学習や探究の時間の指導法についての基礎的知識を修得する。心理学の基礎的な理論や教育相談などの技法を理解する。養護専門科目を通して、専門的資質・能力を高める。健康相談の知識・技能を修得する。救急処置実習・臨床実習を通して、実践的な更なる技能の向上を図り、養護実習の履修前に知識・技能を深める。養護実習を行い学校現場における経験を踏まえ、学修成果と今後の課題を再認識する。

主な授業科目

- 特別活動論
- 教育相談の理論と方法
- 養護実習
- 養護学Ⅰ
- 健康相談活動の理論と方法
- 看護学Ⅱ
- 救急処置実習
- 臨床実習

4回生

養護教諭になるために必要とされる養護専門科目の履修と卒業研究を通して、更なる深い専門的知識と技能を修得する。4年間の集大成として、養護教諭として必要な知識・技能全体について到達点と課題を確認し、課題克服に努め、養護教諭としての資質・能力を確かなものとする。

主な授業科目

- 教職実践演習
- 養護教育演習Ⅰ・Ⅱ
- 卒業研究

○は本学のフラッグシップ指定科目です。

専任教員・専門分野(五十音順)

学校保健学
大道 乃里江

衛生学・公衆衛生学
永井 由美子

看護情報学
橋弥 あかね

養護学・子ども学・キャリアデザイン学
平井 美幸

教育協働学科

教育イノベーション専攻／教育コミュニティ支援専攻／グローバル教育専攻

専門性を深く探究し、
教育的な視点から社会とつながり、
学校・家庭・地域・企業と協働して
未来を支える人を育てる。

地域と連携・協働し、 多様な教育課題の解決方法を創造できる人材へ

総合的な教養に加え、教育マインドと専門性の高い能力を身に付け、チーム学校による支援に加えて、企業やNPO法人、行政等との連携・協働をより一層推進できる人材を養成すべく、令和7年4月に教育協働学科の専攻・コースを再編しました。

令和7年4月より、教育協働学科は「教育イノベーション専攻」「教育コミュニティ支援専攻」「グローバル教育専攻」で構成されています。
教育イノベーション専攻は、数理・知能情報コースと環境安全科学コースに分かれ、数理・AI・データサイエンスや、自然科学・環境科学・安全科学などの専門的知識・技能を修得します。
教育コミュニティ支援専攻は、心理科学コース、スポーツ健康コース、芸術表現コースに分かれ、心理科学やスポーツ活動、芸術活動に関する専門的知識・技能を修得します。
グローバル教育専攻は、日本語教育コースと国際協働英語コースに分かれ、日本語・日本文化に関する専門的知識・技能や高度な英語運用能力を身に付けます。
各専攻・コースの詳細については、後掲のページをご覧ください。

▼柏原キャンパス

教育協働学科	教育イノベーション	数理・知能情報	
		環境安全科学	
	教育コミュニティ支援	心理科学	
		スポーツ健康	
		芸術表現	音楽 美術
	グローバル教育	日本語教育	
		国際協働英語	

教育協働学科がめざす人材育成

協働力

社会のグローバル化に対応し、学校や地域等と連携の上、協働して課題解決にあたる。他者と協働して問題を分析のうえ整理し、課題解決に向けてのプランを策定することができる能力や、課題解決プランを他者と協働して実行するための実践力を持つ。

多様性理解

社会における人種・宗教・歴史・文化・ジェンダー・年齢・価値観等の多様性を理解・尊重し、異文化・多文化を受容できる寛容な態度を身に付ける。グローバル時代における多様な課題を解決するために能動的に行動ができる。

専門的知識・技能

所属する専攻・コースの分野に係る専門的知識・技能を備え、専門分野に関する内容やその意義を社会に向けて的確に伝達、表現することができる能力を有し、主体的に物事を考え、専門的知識・技能を活用した行動ができる。

教育協働学科 教育イノベーション専攻 数理・知能情報コース カリキュラムマップ

カリキュラムマップは、各科目を履修することによりどのような力を身に付けることができるかを表しています。

以下は、教育協働学科教育イノベーション専攻数理・知能情報コースの事例です。

各課程の専攻及びコースごとのカリキュラムマップは、本学ウェブページに掲載しています。

各専攻・コースのページに記載の主な授業科目は令和8年度のもです。

Diploma Policy				
専門的 知識・技能	1 回生		2 回生	
	専攻共通科目		専攻共通科目	
	専攻分野科目		専攻分野科目	
	課題探究プログラム科目		課題探究プログラム科目	
探究力	協働共通科目		協働共通科目	
	教育理解科目		教育理解科目	
	協働共通科目		協働共通科目	
	協働共通科目		協働共通科目	
協働力 教育協働実践力	教育理解科目		教育理解科目	
	協働共通科目		協働共通科目	
	協働共通科目		協働共通科目	
	協働共通科目		協働共通科目	
教育理解	教育理解科目		教育理解科目	
	協働共通科目		協働共通科目	
	協働共通科目		協働共通科目	
	協働共通科目		協働共通科目	
豊かな教養と 広い視野	教育理解科目		教育理解科目	
	協働共通科目		協働共通科目	
	協働共通科目		協働共通科目	
	協働共通科目		協働共通科目	
+ 教養教育科目群 (導入科目・基盤教養科目・グローバル教育科目・体育科目・情報活用科目)				
+ 教育職員免許状及びその他の資格等を取得する場合、上記卒業に必要な科目の単位を修得するほか、各資格等の取得に必要な科目の単位を併せて修得する				

教育協働学科の学びの特徴 1

専門を深め、他分野とつながり
社会の課題を解決する力を育む

教育イノベーション専攻

数理・知能情報コース

データサイエンス、AI
数学、数理科学、情報科学

環境安全科学コース

自然科学、安全科学、生活環境
フィールドワーク、自然観察、環境解析

教育コミュニティ支援専攻

心理学コース

心理学、生涯教育学、公認心理師
図書館情報学、社会福祉学

スポーツ健康コース

スポーツ実践力
生涯スポーツ、スポーツ指導、健康科学

芸術表現コース〈音楽〉〈美術〉

ピアノ、吹奏楽、声楽、演奏
絵画、立体造形、ビジュアルデザイン

グローバル教育専攻

日本語教育コース

日本語教育、国語教育、日本文化
異文化交流、異文化理解、多文化共生

国際協働英語コース

英語圏文化、国際協働、英語
コミュニケーション、異文化交流

教育協働学科の学びの特徴 2

協働力や多様性理解を育む「教育コラボレーション演習」

教育コラボレーション演習は本学が指定する演習先で30時間以上の社会貢献活動に取り組み
社会とつながりながら学びを深める教育実践です。

教育協働学科の学生が、社会のさまざまな現場で教育に関わる活動を体験し、
学校や地域と協力して教育を支える人材（教育協働人材）としての力を身に付
けることを目的としています。
実際の社会貢献活動を通して、主体的・対話的な学びを深め、自らのキャリア
形成へとつなげます。



演習受入先の一例（令和7年度実施分）

株式会社セレッソ大阪、株式会社ヤマハミュージックジャパン、大阪ユニセフ協会、株式会
社新興出版社啓林館、大阪市立住まいのミュージアム、キッズプラザ大阪、自衛隊大阪地方
協力本部、公益財団大阪 YMCA 大阪、大阪科学技術館、公益財団法人大阪国際交流センター、
博物館、子育て支援施設、国公私立学校、フリースクール、こども食堂（他、全 145 機関）

演習参加学生の声

文化活動 参加者

スタッフとして参加者のサポートを行い、先生方と協力しながら活動が
円滑に進むよう取り組んだ。その中で、課題を準備・運営することの大
変さを実感した。内容を考えるだけでなく、活動中に起こり得る問題、
当日の対応、活動全体の流れまで考える必要があることを学んだ。

国際交流多文化共生活動 参加者

言葉の壁がある中でも、簡潔でわかりやすい説明を心がけながら対応し
たことで、相手に伝わる喜びを感じた。また、外国人の視点から見た日
本での生活への疑問や不安に対して、大学の授業で得た知識や、留学生
交流で心がけている支援活動が社会で役立つことを実感した。

体験学習 参加者

留学生として、今回初めて本格的な日本式の活動を体験し、日本社会に
少し溶け込めたように感じた。また、これまで接してきた日本社会や日
本文化は、その一部に過ぎなかったことにも気づかされた。今回の活動
を通して、これまで経験したことのない体験をすることができた。

社会福祉活動 参加者

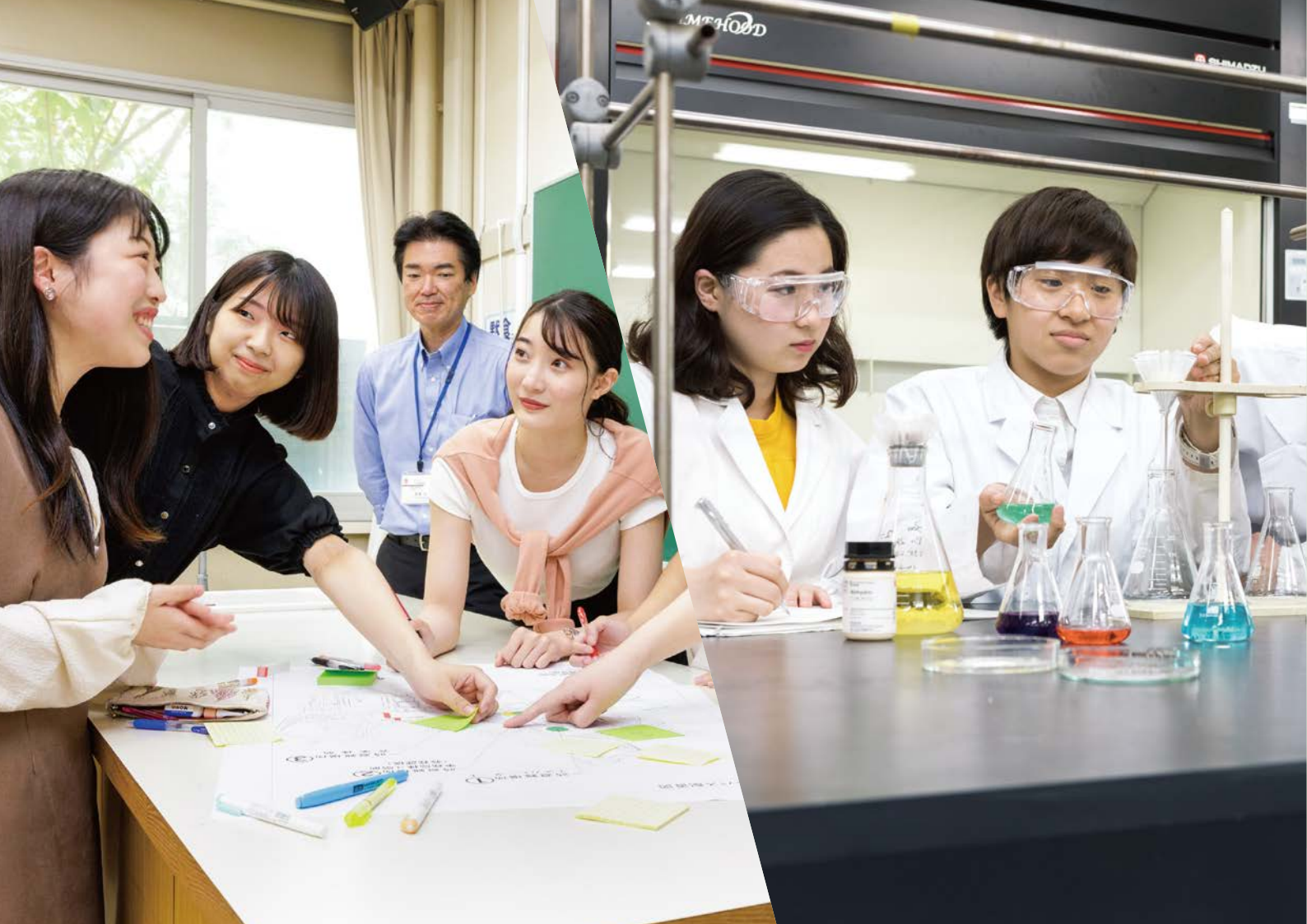
ボランティアや活動に協力してくださる方々との関わりがメインで、国
籍や老若男女問わず様々な人とコミュニケーションをとる機会があった。
また、自分が大学で専攻している分野に近いことを経験し、携わらせて
いただけることがあり、自分の今後の活動に大きく役立つと思った。

スポーツ関連活動 参加者

野外活動で子どもたちが自由に元気よく過ごしている中、多くの子ども
を自分ひとりで見守り、指導する難しさを学んだ。また、子ども同士の
もめごとにうまく対応できない場面もあり、普段の大学生活ではできな
い貴重な経験となった。

子育て支援活動 参加者

これまで小さな子どもと接した経験がほとんどなく、最初は関わり方に
戸惑った。しかし、職員の方や保護者の方の接し方から多くを学び、後
半は楽しみながら活動することができた。また、喧嘩をしたり泣き止ま
なかつたりする子どもへの対応を知ることができ、良い経験となった。



教育協働学科 教育イノベーション専攻

自分にまっすぐ、夢にまっすぐ

教育イノベーション専攻は、数理・AI・データサイエンスや環境安全科学に関する高度な専門的知識・技能と探究力を組み合わせて、学校や教育関連企業と連携・協働して多様な教育課題の解決方法を創造できる人材の養成を目的とします。

教育イノベーション専攻

数理・知能情報コース

カリキュラムマップ



未来を計算し、知能を創造する

数理・知能情報コースでは、数理・AI・データサイエンスに関する高度な専門的知識・技能を効果的に活用し、学校や教育関連企業と連携・協働して、データ分析や情報マネジメントによる教育現場のDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進することにより、多様な教育課題の解決方法を創造できる人材を養成します。

求める学生像

- 数理・AI・データサイエンスに関する専門性を有しつつ教育理解をもって多様な専門家や市民と協働し、生涯教育社会における学校と地域社会と共に探究心を持って、多様な教育課題の解決を自ら図る意欲のある人
- 数理・AI・データサイエンスに関する高度な知識や高い技能を修得し、それらとICTを活用して学校、家庭、地域、社会において教育理解を持って連携・協働することに意欲のある人
- 確かな学力と旺盛な知的好奇心、人間への深い理解を持って、教育協働に資する分野で活躍したいと考えている人

POINT

- 数理学・情報科学(AI、データサイエンスを含む)の専門的な知識を身に付ける
- 数理学・情報科学の応用実践力を身に付ける
- 数理学・情報科学の教育マインドを身に付ける

取得可能な免許・資格等

- ◎ 中学校教諭一種(数学) ◎ 高等学校教諭一種(数学)
- ◎ 高等学校教諭一種(情報)
- 図書館司書 □ 学校図書館司書教諭

- ◎ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状
- 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる資格等

4年間の学びの流れ

1回生

「教育基礎セミナー」等により論理的な思考力を養います。また、「解析学基礎」「代数学基礎」「情報処理演習」などを通じて、数理学および情報科学の初歩を学びます。「教育協働概論Ⅰ・Ⅱ」等により、教育分野で協働することの大切さを学びます。

主な授業科目

- 教育基礎セミナー
- 教育総論
- ダイバーシティと教育
- 現代社会と子どもの権利
- 教育協働概論Ⅰ・Ⅱ
- 教育協働キャリア形成
- 創造探究演習Ⅰ
- 情報処理演習
- 解析学基礎
- 代数学基礎

2回生

数学の各分野(代数学・幾何学・解析学)の基礎を学び、「情報通信ネットワークⅠ」「AI概論」など情報科学の基礎を学びます。また、「アントレプレナーシップ概論」等で協働することについて学びます。

主な授業科目

- 学校安全
- アントレプレナーシップ概論Ⅰ・Ⅱ
- 創造探究演習Ⅱ
- データサイエンスⅠ
- マルチメディア教材開発
- 情報通信ネットワークⅠ
- AI概論
- 代数学A・B
- 幾何学A・B
- 解析学A・B

3回生

数学の各分野を深く学び、様々な問題を論理的に解決できる力を身に付けます。データサイエンス、プログラミング、AI技術と教育など情報分野と教育について学びます。教育コラボレーション演習」で外部組織と協働します。

主な授業科目

- 教育コラボレーション演習
- コミュニケーション実践演習
- 創造探究演習Ⅲ
- データサイエンスⅡ
- マルチメディア技術と教育
- 情報通信ネットワークⅡ・Ⅲ
- ロボット教材とプログラミングA・B
- ソフトウェア設計・開発
- AI技術と教育
- 統計活用

4回生

卒業研究においては、少人数のゼミナ形式で、洋書を読む、問題解決のためにソフトウェアを作成するなどして、様々な教育の場で活躍できるよう、個々の力を伸ばします。

主な授業科目

- 創造探究演習Ⅳ
- 卒業研究

専任教員・専門分野(五十音順)

算数教育/教育工学 木村 憲太郎	教育データサイエンス 高見 享佑	教育工学 Chen Li	教育工学 中野 淳	ラーニング アナリティクス 中村 航平	代数学 平木 彰	解析学 藤田 真依
情報工学/ ウェブ情報学 堀 真寿美	幾何学 町頭 義朗	情報通信システム 三島 和宏	応用数学 守本 晃	創造的思考/ AIデータサイエンス 安松 健	教育工学 山本 良太	確率論 湯浅 久利

環境安全科学コース

カリキュラムマップ

科学的知見に基づき
社会の環境と安全を支える

環境安全科学コースでは、自然科学や生活科学、安全科学など多様な専門的知識・技能を融合し、学校や教育関連企業、行政、自治体などと連携・協働して、身の回りの環境から地球環境に至る幅広い課題を探究することにより、多様な教育課題の解決方法を創造できる人材を養成します。

求める学生像

- 自然科学や生活科学、安全科学などに関する専門性を有しつつ教育理解をもって多様な専門家や市民と協働し、生涯教育社会における学校と地域社会と共に探究心を持って、多様な教育課題の解決を自ら図る意欲のある人
- 自然科学や生活科学、安全科学などに関する高度な知識や高い技能を修得し、それらとICTやデータサイエンスを活用して学校、家庭、地域、社会において教育理解を持って連携・協働することに意欲のある人
- 確かな学力と旺盛な知的好奇心、人間への深い理解を持って、教育協働に資する分野で活躍したいと考えている人

POINT

- 自然科学、生活科学、安全科学の専門的な知識を身に付ける
- 自然科学、生活科学、安全科学の応用実践力を身に付ける
- 自然科学、生活科学、安全科学の教育マインドを身に付ける

取得可能な免許・資格等

- ◎ 中学校教諭一種(理科) ◎ 高等学校教諭一種(理科)
□ 図書館司書 □ 学校図書館司書教諭

- ◎ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状
□ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる資格等

4年間の学びの流れ

1回生

「生命科学実験」、「自然災害教育論」、「住環境学」などの講義と実践により、自然科学や生活科学、安全科学の基礎・基本を習得していき、環境安全科学の土台となる基礎学力を身に付けていきます。

主な授業科目

- 教育基礎セミナー
- 教育総論
- ダイバーシティと教育
- 現代社会と子どもの権利
- 教育協働概論Ⅰ・Ⅱ
- 教育協働キャリア形成
- 創造探究演習Ⅰ
- 自然災害教育論
- 住環境学
- 生命科学実験

2回生

自然科学や生活科学、安全科学各分野の基礎を固めつつ、「分子生物学」、「熱力学」、「学校安全」、「安全行動学」など各領域の専門を修得し始めます。また、「アントレプレナーシップ概論」など、自然科学や生活科学、安全科学の知識を教育分野へどのように融合させるかについて学び始めます。

主な授業科目

- 学校安全
- アントレプレナーシップ概論Ⅰ・Ⅱ
- 創造探究演習Ⅱ
- 環境安全科学教育概論
- 食品の安全と環境
- 安全行動学
- 分子生物学
- 熱力学
- 地球科学概説
- 物質化学概説

3回生

「集団生物学」や「野外環境実習」、「環境安全情報学」、「住環境デザイン演習」などにより各専門領域の知識をより深く修得するとともに、「教育コラボレーション演習」で、その活用力を養います。さらに、学生自ら諸課題を発見し、その対応力を身に付けていきます。

主な授業科目

- 教育コラボレーション演習
- コミュニケーション実践演習
- 創造探究演習Ⅲ
- 環境インフォマティクス
- 住環境デザイン演習
- 環境安全情報学
- 基礎物理化学
- 集団生物学
- 野外環境実習

4回生

少人数での研究室分属による「卒業研究」や「環境安全科学教育実践演習」で研究手法や実践力をしっかりと養いつつ、研究の視点や研究手法の探究力を高めていきます。

主な授業科目

- 創造探究演習Ⅳ
- 環境安全科学教育実践演習
- 卒業研究



教育協働学科 教育コミュニティ支援専攻

スポーツ・音楽・美術の感性と、
教育・心理・社会の洞察を融合し、地域と未来に貢献する

教育コミュニティ支援専攻は、心理学や健康科学、スポーツ活動、芸術活動に関する高度な専門的知識・技能と探究力を組み合わせて、学校や教育関連企業と連携・協働して、多様な教育課題の解決方法を創造できる人材の養成を目的とします。

専任教員・専門分野(五十音順)

生態学 乾 陽子	住環境学 碓田 智子	ナノ構造科学 川越 毅	統計力学 喜綿 洋人	物理教育 串田 一雅	分析化学 久保埜 公二	環境安全情報学 後藤 健介	底生生物学 小林 元樹
安全行動学 豊沢 純子	STEAM教育 仲矢 史雄	食生活科学 西川 章江	惑星地震学 西川 泰弘	水圏科学 広谷 博史	安全教育学 藤田 大輔	有機化学 堀 一繁	地球化学 堀 真子

心理学コース

カリキュラムマップ



心理・福祉・教育の知を、支援の力に

心理学コースでは、人間の生涯にわたる心理や社会の課題を解決するために必要な理論と実践や、人間の発達とコミュニティのあり方に関する知識を修得し、学校・家庭・地域・企業等と連携・協働して、人々が安心して生活できる社会のあり方を探究することにより、多様な教育課題の解決を支援できる人材を養成します。

求める学生像

- 心理学や生涯教育学、社会福祉学に関する専門的な知識とスキルを身に付け、学校や地域との連携・協働のもと、多様な教育課題の改善や解決に貢献したいと思う人
- 公認心理師、図書館司書、社会福祉主事、児童心理司、児童福祉司などの資格等を取得することに関心のある人

POINT

- 心理学の知識を体系的に身に付ける
- 生涯学習、社会教育、社会福祉についての専門的知識を身に付ける
- 教育を手がかりに、広く「支援」にかかわるための知識とスキルを身に付ける

取得可能な免許

- ◎ 図書館司書
- ◎ 公認心理師(受験資格)※

◎ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる資格等
※ 受験資格を取得するためには、卒業後に実務経験又は大学院への進学が必要です。
※ 実習・演習科目については、実習施設等の都合により受講制限を行う場合があります。
✕ 教員免許は取得できません

4年間の学びの流れ

1回生

大学での学びの基礎となるスキルを修得するとともに、「生涯学習概論」「心理学概論」「社会福祉学概論」で各領域の基礎を体系的に身に付けます。

主な授業科目

- 教育基礎セミナー
- 教育総論
- ダイバーシティと教育
- 現代社会と子どもの権利
- 教育協働概論Ⅰ・Ⅱ
- 教育協働キャリア形成
- 創造探究演習Ⅰ
- 心理学概論
- 生涯学習概論
- 社会福祉学概論
- 人体の構造と機能及び疾病

2回生

多くの専門科目が開講されます。現在の関心や将来の進路を見据えて必要な科目を選択して履修します。現在学校で行なわれている協働の実践を理解するための科目もあります。

主な授業科目

- 学校安全
- アントレプレナーシップ概論Ⅰ・Ⅱ
- 創造探究演習Ⅱ
- 心理学研究法
- 生涯教育学研究法
- 心理学実験
- 生涯教育実践研究Ⅰ
- 臨床心理学概論
- 図書館サービス概論

3回生

引き続き多彩な専門科目を履修します。また「創造探究演習Ⅲ」では、これまでに身に付けた知識をもとにプロジェクトテーマをみずから考え、研究と実践をおこなうことをとおして卒業研究の準備をおこないます。

主な授業科目

- 教育コラボレーション演習
- コミュニケーション実践演習
- 創造探究演習Ⅲ
- 心理学的支援法
- 心理的アセスメント
- 生涯教育実践研究Ⅱ
- 社会教育課題研究
- 情報サービス概論
- 児童サービスと資料

4回生

4回生では大学での学びの集大成として卒業研究に取り組みます。みずから設定したテーマに沿って研究計画を作成し、資料やデータの収集と分析、考察や展望などを担当教員の指導のもとでおこない、卒業研究を完成させます。

主な授業科目

- 創造探究演習Ⅳ
- 卒業研究
- 心理演習
- 心理実習
- 社会教育実習

専任教員・専門分野(五十音順)

臨床心理学 石橋 正浩	精神神経科学 岩切 昌宏	図書館情報学 高 鞆 裕樹	社会福祉学 高橋 味央	生涯学習論 出相 泰裕	教育心理学 寺坂 明子	臨床心理学 山口 正寛
----------------	-----------------	------------------	----------------	----------------	----------------	----------------

スポーツ健康コース

カリキュラムマップ



スポーツと健康を通じた地域と未来への貢献！

スポーツ健康コースでは、高いスポーツ実技力を有した学生がスポーツの普遍的価値と社会における有用性、人間の心理的発達や機能発達におけるスポーツの重要性と有効性、心身の健康や運動行動、スポーツ活動などについての原理や方法を学びます。そして、学校・家庭・地域・企業等と連携・協働して、様々な人々が安全かつ健康にスポーツを実践し、交流を深められるような指導力を身に付け、多様な教育課題の解決を支援できる人材を養成します。

求める学生像

- 高いスポーツ実技力ならびにスポーツと健康に関する専門性と教育理解を備え、専門家や市民と協働し、生涯教育社会における学校や地域と共に、探究心を持って多様な教育課題の解決を図る意欲のある人
- スポーツや健康に関する高度な知識や技能、さらには様々なニーズに対応できるスポーツ実践力を修得し、ICTやデータサイエンスなども活用して学校、家庭、地域、社会において教育理解を持って連携・協働することに意欲のある人
- 確かな学力と旺盛な知的好奇心、人間への深い愛情と理解とともに、教育協働に資する分野で活躍したいと考えている人

POINT

- スポーツ実技力の専門性を高めるとともに、スポーツや健康の科学について実践的・多角的に学ぶ
- スポーツや健康づくりの実践経験や理論に基づいた指導力を身に付ける

取得可能な免許・資格等

- ◎ 中学校教諭一種(保健体育)
- ◎ 高等学校教諭一種(保健体育)
- 図書館司書 □ 学校図書館司書教諭
- △ スポーツコーチングリーダー
- △ ジュニアスポーツ指導員

◎ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状
□ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる資格等
△ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得した上で認定試験に合格すること等によって取得できる資格

4年間の学びの流れ

1回生

スポーツ指導者やチーム学校の一員となる初歩として、スポーツや健康、教育に関わる基礎的事項を講義や実技により広く学んでいきます。

主な授業科目

- 教育基礎セミナー
- 教育総論
- ダイバーシティと教育
- 現代社会と子どもの権利
- 教育協働概論Ⅰ・Ⅱ
- 教育協働キャリア形成
- 創造探究演習Ⅰ
- 水泳
- 器械運動
- 体づくり運動
- スポーツ社会学
- 運動生理学Ⅰ・Ⅱ
- 衛生学及び公衆衛生学Ⅰ・Ⅱ
- 健康生化学

2回生

1回生で学んだことを基に、スポーツや健康、教育に関する学びをさらに広げます。スポーツ指導者としての学びも本格的に始まります。

主な授業科目

- 学校安全
- アントレプレナーシップ概論Ⅰ・Ⅱ
- 創造探究演習Ⅱ
- 陸上競技
- 剣道 ● 柔道
- ダンス ● ソフトボール
- スポーツコーチング論
- 運動学Ⅰ・Ⅱ
- スポーツ心理学
- スポーツマネジメント論
- スポーツ医学
- スポーツトレーニングと応用
- 免疫学

3回生

スポーツ指導者やチーム学校の一員としての対応力を実習・演習等により深めていきます。また、研究室に所属し、スポーツや健康、教育に関する学術的知見を理解し、応用する力を身に付けます。

主な授業科目

- 教育コラボレーション演習
- コミュニケーション実践演習
- 創造探究演習Ⅲ
- バレーボール
- サッカー
- バスケットボール
- アスレティックリハビリテーション
- 救急処置法
- スポーツバイオメカニクス
- スポーツ指導者育成論
- スポーツと栄養
- スポーツ行政論

4回生

スポーツ指導者やチーム学校の一員としての学びを通して獲得した自覚と自信に基づき、多様なニーズに応える力や自ら学ぶ姿勢の育成を図るなど、スポーツや健康、教育に関する4年間の学びを社会に還元するための研鑽を重ねます。

主な授業科目

- 創造探究演習Ⅳ
- 卒業研究
- ハンドボール
- テニス
- ラグビー
- スポーツマッサージ

専任教員・専門分野(五十音順)

スポーツ科学 生田 泰志	健康科学 榎木 泰介	スポーツ科学 神藤 隆志	スポーツ医学 橋本 恒	スポーツ科学 松原 英輝	内科 松本 鉄也	スポーツ科学 吉田 雅行	身体教育学 吉見 英里
-----------------	---------------	-----------------	----------------	-----------------	-------------	-----------------	----------------

芸術表現コース〈音楽〉

芸術表現コース音楽分野では、専門教育を通じて高い演奏技量と表現法を習得し、音楽の重要性と有効性を理解したうえで地域との連携を実践します。
教育現場、音楽関連団体、企業において交流しながら協働について学び、社会において活躍幅広いジャンルで活躍できる人材を育成します。

求める学生像

- 芸術に興味・関心を持ち、教育及び芸術文化の発展に幅広く貢献したい人
- 専門領域の高度な表現能力を習得し、地域社会や学校教育現場で指導力を発揮したいと志す人
- コミュニケーション能力を発揮し、他の人々と協働し、教育及び芸術文化の多様な課題を解決したいと志す人
- 教育や社会における芸術表現の在り方について、実践的かつ持続的な活動を通して探究できる人
- 複雑化した現代社会において、人間らしく生きるための糧となる芸術の本質を追求・理解したい人

4年間の学びの流れ

1回生

「音楽専門実技」を中心に「ピアノ」「歌唱表現の基礎」といった基礎的な実技科目や「音楽理論」「音楽学」「芸術表現文化論」等の理論科目を通して音楽の基礎能力を身に付けます。

主な授業科目

- 教育基礎セミナー ●教育総論
- ダイバーシティと教育
- 現代社会と子どもの権利
- 教育協働概論Ⅰ・Ⅱ
- 教育協働キャリア形成
- 創造探究演習Ⅰ
- 音楽専門実技ⅠA・ⅠB

2回生

芸術表現能力をさらに高めるとともに「課外活動指導法(音楽)」等で、芸術がどのような学校や社会での教育協働活動に関わるかを学び、実践していきます。

主な授業科目

- 学校安全
- アントレプレナーシップ概論Ⅰ・Ⅱ
- 創造探究演習Ⅱ
- 音楽専門実技ⅡA・ⅡB
- 課外活動指導法(音楽)

3回生

専門能力を学校や社会で発揮するために、「創造探究演習Ⅲ」で様々な企画や運営を自ら考えアプローチします。「ピアノ指導法協働演習」でも問題解決型授業により指導力と人間力を高めていきます。

主な授業科目

- 教育コラボレーション演習
- コミュニケーション実践演習
- 創造探究演習Ⅲ
- 音楽専門実技ⅢA・ⅢB
- ピアノ指導法協働演習
- 障害を越える音楽

4回生

今日の課題の解決に関わる教育プロジェクト演習を通して教材の開発や多様性理解について学び、学校や社会との協働力を高めます。また4年間で修得した高度な専門能力を公開演奏会で披露します。

主な授業科目

- 創造探究演習Ⅳ
- 卒業研究
- 音楽専門実技ⅣA・ⅣB

専任教員・
専門分野(五十音順)

ピアノ
岡本 麻子

トランペット
神代 修

声楽
玉井 裕子

フルート
中務 晴之

指揮法
Paget Yannick

ピアノ
山畑 誠

カリキュラムマップ



POINT

- 高めよう 教える力 人間力
- 養おう 音楽の力 みっちりと
- つなげよう 学校・地域 音楽の輪

取得可能な免許・資格等

- ◎ 中学校教諭一種(音楽) ◎ 高等学校教諭一種(音楽)
- 図書館司書 □ 学校図書館司書教諭

- ◎ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状
- 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる資格等

芸術表現コース〈美術〉

芸術表現コース美術分野では、絵画、立体造形、デザインなどの実技を中心に学びながら、自分ならではの表現力を育てていきます。まずは幅広い学びや制作経験を通して視野を広げ、表現の基礎となる知識や技能を身に付けます。その上で興味や関心に応じて専門分野を深く学び、実技制作を重ねながら、「何を表現したいのか」「どのように表現するのか」を探究し、自分自身の表現方法を見つけしていきます。また、教育協働学科ならではの学びや地域・社会との関わりを通して、創造力と応用力を養います。身に付けた専門性をさまざまな人や社会と結び付けながら、新たな価値を生み出す力を育てます。

求める学生像

- 専門領域の高度な表現能力を学び、芸術文化の発展に幅広く貢献したい人
- 他の人々と協働し、社会の多様な課題を解決したいと志す人
- 社会における芸術表現の在り方について、実践的かつ持続的な活動を通して探究できる人
- 人間らしく生きるための糧となる芸術の本質を追求・理解したい人

4年間の学びの流れ

1回生

絵画、立体造形、デザイン各分野の基礎を学ぶ実技授業だけでなく、充実した教養科目を通して幅広い知識や教養を修得します。「創造探究演習Ⅰ」では、音楽領域の学生と共に芸術や教育支援に関するテーマについて理解を深めます。

主な授業科目

- 立体造形基礎演習 ●絵画基礎演習
- デジタルグラフィック基礎実習
- 創造探究演習Ⅰ
- ダイバーシティと教育
- 現代社会と子どもの権利
- 教育協働概論Ⅰ・Ⅱ
- キャリア形成論Ⅰ・Ⅱ ●教育総論

2回生

絵画、立体造形、デザイン各分野の実技授業に加え、非常勤講師による現代美術、アニメーション、ウェブデザイン、版画、シルクスクリーン印刷等の実技授業も始まります。「課外活動実践・美術」では高等学校と連携した学習活動を行います。

主な授業科目

- 立体造形演習 ●絵画演習
- 地域交流とデザイン
- 総合造形演習A・B
- 課外活動実践・美術
- 創造探究演習Ⅱ
- 学校安全
- アントレプレナーシップ概論Ⅰ・Ⅱ

3回生

3回生以降は、絵画、立体造形、デザインから1分野を選択し、より専門性の高い研究・制作活動に取り組みます。映像制作や、美術表現と福祉の世界をつなぐ方法論を実践的に学ぶ授業は、所属するゼミに関係なく履修できます。

主な授業科目

- 立体造形実習Ⅰ・Ⅱ ●絵画実習Ⅰ・Ⅱ
- デザイン実習Ⅰ・Ⅱ
- デジタルメディア教材開発Ⅰ・Ⅱ
- 社会芸術活動・美術
- 創造探究演習Ⅲ
- 教育コラボレーション演習
- コミュニケーション実践演習

4回生

3回生時から分属したゼミでの研究・制作活動の集大成として、1年間をかけて卒業制作に取り組みます。それらの研究・制作活動をより幅広い視野で検証・評価するために、絵画、立体造形、デザインの合同講評会(合評)も行います。

主な授業科目

- 立体造形実習Ⅲ・Ⅳ
- 絵画実習Ⅲ・Ⅳ
- デザイン実習Ⅲ・Ⅳ
- 総合制作活動
- 創造探究演習Ⅳ
- 卒業研究

専任教員・
専門分野(五十音順)

ビジュアルデザイン
江藤 亮

立体造形
五明 真

絵画・平面表現
寺島 みどり

カリキュラムマップ



POINT

- 高度な表現能力の習得をめざす指導が受けられる
- 教育や地域社会と芸術表現の関わり方について学ぶ

取得可能な免許・資格等

- ◎ 中学校教諭一種(美術) ◎ 高等学校教諭一種(美術)
- 図書館司書 □ 学校図書館司書教諭

- ◎ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状
- 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる資格等

教育協働学科 グローバル教育専攻

ことばの力で地域と社会を変えよう

グローバル教育専攻は、異文化・多文化共生に対する理解の下、日本語・日本文化に関する専門的知識・技能や高度な英語運用能力と国際的な視野から学ぶ協働に関する専門的知識・技能と探究力を組み合わせて、学校や教育関連企業と連携・協働して、多様な教育課題の解決を創造できる人材の養成を目的とします。

専任教員・専門分野(五十音順)

ドイツ文学・
ドイツ女性史
赤木 登代

日本近現代文学
石橋 紀俊

歴史学
井上 岳彦

フランス文学
井上 直子

ドイツ文学
亀井 一

日本語学
柳引 祐希子

英語学・応用言語学
小坂 拓海

英語学・
コミュニケーション学
小山 哲春

日本語教育学
辻本 桜子

中国文学
中野 知洋

比較・国際教育学
中山 あおい

比較教育学
飛田 麻也香

英語圏文学
藤田 萌々子

英語学・英語教育学
Sanborn Robert Brown

公法学
棟形 康平

日本語教育学
米澤 千昌

日本語教育コース

カリキュラムマップ

幅広い知見が、日本語教師としての
確かな力になる

日本語教育コースでは、日本語および日本文化に関する専門的知識を修得し、学校・家庭・地域・企業等と連携・協働して、異文化間のコミュニケーションと相互理解を率先して推進することにより、多様な教育課題の解決方法を創造できる人材を養成します。

求める学生像

- 日本語・日本文化に関する専門性を有しつつ教育理解をもって多様な専門家や市民と協働し、生涯教育社会における学校と地域社会と共に探究心を持って、多様な教育課題の解決を自ら図る意欲のある人
- 日本語・日本文化に関する高度な知識や高い技能を修得し、それらとICTやデータサイエンスを活用して学校、家庭、地域、社会において教育理解を持って連携・協働することに意欲のある人
- 確かな学力と旺盛な知的的好奇心、人間への深い理解を持って、教育協働に資する分野で活躍したいと考えている人

POINT

- 日本語・日本文化に関する専門性に基づいた視点から教育を考える
- 異文化間でのコミュニケーションの方法を学ぶ
- 日常的に日本人学生と留学生が共に学び合う

取得可能な免許・資格等

※ 登録日本語教員
◎ 中学校教諭一種(国語) ◎ 高等学校教諭一種(国語)
□ 図書館司書 □ 学校図書館司書教諭

※ 所定の単位を修得し、日本語教員試験(応用試験)に合格することにより取得可能。
◎ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状
□ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる資格等

4年間の学びの流れ

1回生

「教育基礎セミナー」や「創造探究演習Ⅰ」などにより、これからの学びの基本となるアカデミック・スキルを身に付けるとともに、言語文化教育についての基礎的知識や考え方を学びます。さらには多文化共生社会における言語文化教育の意義について探究します。加えて、グローバルな視点から幅広く教育について考えます。

主な授業科目

- 教育基礎セミナー
- 教育総論
- ダイバーシティと教育
- 現代社会と子どもの権利
- 教育協働概論Ⅰ・Ⅱ
- 教育協働キャリア形成
- 創造探究演習Ⅰ
- 多文化共生と言語文化教育
- 日本語教育概論Ⅰ

2回生

日本語や日本語教育、及び国語教育、さらには多文化理解に関する専門科目や専攻共通科目に加え、「創造探究演習Ⅱ」などを通して、言語文化教育分野を専門的に学ぶために必要とされる知識や研究手法を身に付けます。

主な授業科目

- 学校安全
- アントレプレナーシップ概論Ⅰ・Ⅱ
- 創造探究演習Ⅱ
- 日本語学研究ⅠA・ⅠB
- 日本文学研究ⅠA・ⅠB
- グローバル教育比較Ⅰ
- 言語習得概論
- 日本語教育概論Ⅱ

3回生

日本語や日本語教育、及び国語教育、多文化理解に関する専門科目を通して、2回生までに得た学識をさらに深めるとともに、「創造探究演習Ⅲ」によって具体的な研究テーマを構想しながら、そのために必要な知識や研究手法を修得します。加えて、様々な教育的課題や社会的課題に応用可能な汎用的実践力を身に付けます。

主な授業科目

- 教育コラボレーション演習
- コミュニケーション実践演習
- 創造探究演習Ⅲ
- 中国言語文化研究Ⅱ
- 異文化間教育
- 言語構造論
- グローバル教育と法
- 日本文学演習A・B

4回生

「創造探究演習Ⅳ」により、質の高い卒業研究を可能とする論理的思考力や表現力などを修得し、3回生までに積み上げてきた各自の学知と関心をさらに深め、その成果を卒業論文の作成につなげます。「日本語教育プロジェクト演習」では、日本語教育に関わる教壇実習に取り組みます。

主な授業科目

- 日本語教育プロジェクト演習
- 創造探究演習Ⅳ
- 卒業研究

国際協働英語コース

カリキュラムマップ

グローバル社会に貢献する、人文知と
コミュニケーション力を備えた国際人

国際協働英語コースでは、異なる文化、考え方を尊重し、共感を持ちながら、英語の運用能力と発信力を持って積極的にコミュニケーションを行うとともに、各国・地域の教育モデルを深く理解することにより、国際的な視野から新たな教育の在り方の創造や多様な教育課題の解決に貢献できる人材を養成します。

求める学生像

- 高度な英語運用能力と国際協働に関する専門性を有しつつ教育理解をもって多様な専門家や市民と協働し、生涯教育社会における学校と地域社会と共に探究心を持って、多様な教育課題の解決を自ら図る意欲のある人
- 高度な英語運用能力と国際協働に関する高度な知識や高い技能を修得し、それらとICTやデータサイエンスを活用して学校、家庭、地域、社会において教育理解を持って連携・協働することに意欲のある人
- 確かな学力と旺盛な知的的好奇心、人間への深い理解を持って、教育協働に資する分野で活躍したいと考えている人

POINT

- 高度な英語運用能力・発信力と国際協働の専門的な知識を身に付ける
- 国際的な視野からの教育を深く理解し、国際協働の応用実践力を身に付ける
- 国際的な視野からの協働力と教育マインドを身に付ける

取得可能な免許・資格等

◎ 中学校教諭一種(英語) ◎ 高等学校教諭一種(英語)
□ 図書館司書 □ 学校図書館司書教諭

◎ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる教員免許状
□ 卒業要件を満たし、さらに必要な単位を修得することによって取得できる資格等

4年間の学びの流れ

1回生

「教育基礎セミナー」や「創造探究演習Ⅰ」などにより、これからの学びの基本となるアカデミック・スキルを身に付けるとともに、「Speech Communication in English」などの専門科目で高度な英語4技能を身に付け、国際協働を視野に入れた英語学習法を習得します。「英語Ⅰa、Ⅰb」や「English World」で、さらに英語力をみがきます。

主な授業科目

- 教育基礎セミナー
- 教育総論
- ダイバーシティと教育
- 現代社会と子どもの権利
- 教育協働概論Ⅰ・Ⅱ
- 教育協働キャリア形成
- 創造探究演習Ⅰ
- Speech Communication in EnglishⅠ・Ⅱ
- Academic Presentation

2回生

グローバル教育科目「国際協働学習」で、国際交流を実践します。様々な国や地域における教育モデルを理解し、国際協働につながる基本的な知識や研究手法を「創造探究演習Ⅱ」や専門科目を通じて身に付けます。英語ネイティブスピーカー教員が担当する「外国語コミュニケーション」でSpeaking力をみがきます。

主な授業科目

- 学校安全
- アントレプレナーシップ概論Ⅰ・Ⅱ
- 創造探究演習Ⅱ
- English for CollaborationⅠ・Ⅱ
- Introduction to English LinguisticsⅠ・Ⅱ
- Introduction to British and American Literature
- Introduction to Communication Studies

3回生

英語ネイティブスピーカーの専任教員が担当する授業で、英語での学術論文の書き方を習得します。「コミュニケーション実践演習」で、英語の4技能をさらに向上させます。「創造探究演習Ⅲ」では、これまで身に付けた国際協働の知識や研究手法について、具体的な研究テーマを探究しながら、さらに深く学びます。

主な授業科目

- 教育コラボレーション演習
- コミュニケーション実践演習
- 創造探究演習Ⅲ
- Global CommunicationⅠ・Ⅱ
- Language Communication SeminarⅠ・Ⅱ
- English-Speaking Area Studies Seminar
- 国際協力学Ⅰ・Ⅱ

「創造探究演習Ⅳ」により、これまで身に付けたICTやデータサイエンスを用いて質の高い卒業研究を可能とする論理的思考力や表現力、問題解決能力を身に付けます。英語で卒業論文を執筆することにより、高度なWriting能力を習得します。

主な授業科目

- 創造探究演習Ⅳ
- 卒業研究



将来の進路を見据えた

3つの大学院と 1つの専攻科

連合教職大学院

[連合教職実践研究科(専門職学位課程)] 高度教職開発専攻

教職生活全体における高度かつ実践的な教員養成のための専門職大学院

教員の養成・採用・研修等を通じて、教員が教職生活全体を通じて職能成長を実現する環境づくりが進められており、教職大学院は高度専門職業人材養成に特化した大学院として、全国に設置されています。

学部段階の資質能力を基盤に深い教職専門性と実践的指導力を兼ね備える新任教員を養成

教員養成系大学あるいはその他の大学の学部新卒者に、それぞれの特色を活かした資質能力にさらなる教職専門性と学校現場に即応できる実践的指導力を培い、学校の有力な一員となる新任教員を養成します。

学校の組織的課題・子どもの教育課題に応じた教育実践力や指導的役割を発揮する現職教員を養成

多様で複雑化する学校の組織的課題や子どもの教育課題を適切にとらえ、それらの課題解決をめざす確かな教育実践の展開に指導的役割を果たすことができる、学校の中核となる教員を養成します。

Point

オンライン 授業科目の拡充

院生が学びやすい環境を整えるため、学校実習科目等の一部科目を除くほとんどの授業科目について、オンライン対応をしています。

多様なプログラムを 2つのキャンパスで展開

多様な学修ニーズや教育課題を踏まえたプログラムを柏原、天王寺の両キャンパスで展開します。学部卒院生はよりスムーズに学部と接続ができ、現職教員院生は多様な育成段階の教員が共に学びやすくなります。

プログラム科目の組み合わせで 自分の学びをカスタマイズ

多様化する学修ニーズに対応するため、「プログラム」を開設しています。専攻専門科目(プログラム科目)から構成される各プログラムを指針とすることで、院生は自らの関心や課題に合った学びを自由に組み合わせ(カスタマイズし)、履修することが可能です。

先取り履修制度

学部最終学年に連合教職大学院で開講している授業科目を院生と一緒に「先取り」して履修できる制度です。教職大学院へ入学後は、先取りした単位を修了要件に含めることができます。

名簿登載期間の延長措置が可能

自治体によっては、入学前及び在学中に教員採用試験に合格した場合、申請手続きを行うことで、名簿登載期間の延長措置が可能です。(名簿登載期間の延長がない自治体でも採用試験の一部免除が可能な場合があります)

仲間と出会える

連合教職大学院には、現職の指導主事や教諭や学部卒院生が存在しています。学校間・校種間・教科間、さらには世代を超えた院生同士の多種多様なつながりが生まれます。校種間連携や教科横断的な視野を広げ、在学時や修了後においてもお互いが支え合い、学び続ける仲間となります。

大学院

[教育学研究科(修士課程)] 高度教育支援開発専攻

教育学研究科は、全ての院生が教育・学習支援の実践力と課題分析力を身に付けられるよう教育課程を編成し、教員以外の立場から教育現場の課題解決・価値創造の一翼を担う高度な人材を養成します。

Point

「教育・学習支援の実践力」と 「課題分析力」の基盤的な 力を身に付けます

スマート社会の到来に伴い、教育を取り巻く環境も大きく変わる中、ICT、教育データ等の先端技術や教育・学習の実践的手法の両方を基盤的な力として身に付けるための授業を必修科目として開講します。

特定の領域での 高度な専門性を身 に付けます

特定の領域における高度な専門的知識・技能を身に付けることに加え、これを活用して教育・学習支援を深く探究するための実践力・研究力を修得するための学びを展開します。

実践的な 教育研究手法を 身に付けます

大学院修了後も様々な課題に直面した際に、主体的に分析、考察、解決ができるよう、調査・分析手法、論文作成手法など、汎用的な研究能力を身に付けます。

多職種協働による 課題探究型研究・ 教育を展開します

教育ファシリテーションコースにおいては、教育現場、企業、行政、地域から、多様なバックグラウンドを有する社会人が一堂に集まり、多職種協働による教育現場の課題解決に資する研究・教育を展開するため、「プロジェクトベース科目」を開講します。

専 攻	内 容
心理・教育支援コース	教育領域で従事する心理職や子どもに関する心理の専門家、さらに教育や子どもの発達に関する心理学研究を行いたい学生を対象に、「チーム学校」や教育協働についての理論と実践を学ぶための高度な心理学の教育を行います。また、所定の要件を満たして単位を修得した方は、公認心理師の受験資格を取得できます。
国際協働教育コース	主として留学生を受け入れ、国境や異文化間を越えてグローバルなフィールドで他者と協働しながら活躍できる教育・学習支援人材を養成します。また、本コースでは、「日本型教育システム開発領域」と「日本語教育支援高度化領域」の2領域を設けます。
教育ファシリテーションコース	主として社会人を受け入れ、自らの知識・技能、経験を他者の知見と組み合わせ、教育現場の最適化に資する実践知を生み出す能力を養成します。また、本コースでは、「教育イノベーション開発領域」、「地域教育・芸術支援人材高度化領域」及び「健康・安全教育高度化領域」の3領域を設けます。

大学院

[学校教育学研究科(後期3年課程のみの博士課程)] 共同学校教育学専攻

北海道教育大学・大阪教育大学・福岡教育大学の共同により、日本初の全国を縦断した「教員養成単科大学」だけで設置された博士課程です。教育現場をフィールドとした「臨床的研究」(※)により、学校教育の課題を明らかにするとともに、その課題の解決に向けた処方箋を教育現場等に還元する実践的学問としての学校教育学の修得をめざします。

(※)臨床的研究とは、学校教育の場で生じる事象を対象として、課題解決の方法を開発し、それが教育的に有用であることを教育現場から得たデータをエビデンスとして示そうとする研究です。また、学校教育の場における実践のプロセスの記録・分析を通じて得られた知見をもとに、既存の理論を修正したり、新たな理論を導いたりする研究です。



ウェブページは
こちら

特別支援教育特別専攻科

特別なニーズのある子どもを理解し支援する高い実践力を備えた人材を育成

特別支援教育特別専攻科は、特別支援教育の充実に資するために発達障がいをはじめ様々な障がい領域に関する専門教育を行い、実践的な指導力のある教員を養成することを目的としています。特別支援教育の現場では、子どもたちの障がいの多様化、重度化、重複化が進んでいます。また、通常の学校(通常の学級)においても、障がいのある子どもへの理解と支援が求められています。本専攻科では、インクルーシブ教育システム構築の観点から、子どもの個々の能力や個性、ニーズに応じた高度な教育支援を実践できる教員の育成をめざします。

●免許取得

免許状の種類

特別支援学校教諭一種免許状[※]

[※]「知的障害者」「肢体不自由者」「病弱者」に関する教育領域

さらに詳しい情報は、本学ウェブページや大学院案内などのパンフレットをご参照ください。



A棟 共通講義棟

大小の講義室、実験教室、ロッカールームの他に、外国語学習支援ルームやICT教育支援ルームがあります。

柏原キャンパス Kashiwara Campus

大阪教育大学は、大阪府柏原市の金剛生駒紀泉国定公園内に約67万㎡の広さを誇るメインキャンパスを配置。豊かな自然の中に優れた教育・研究を実現するための様々な施設が整備されています。エスカレーター上からは、美しい夜景を眺めることもできます。



Campus Map

C棟 教員養成課程棟

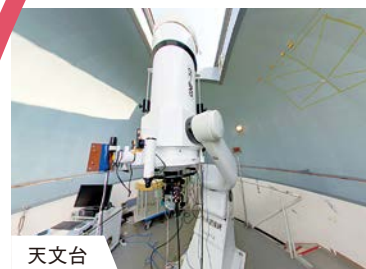
主に教員養成課程の講義室、実習室、研究室などがあります。入試課はC1棟1階にあります。憩いの場である「メロンルーム」や障がい学生修学支援ルームもあります。



教員養成課程棟



メロンルーム



天文台



障がい学生修学支援ルーム



ICT教育支援ルーム



外国語学習支援ルーム(GLC)



大講義室



図工室



講義室



教育協働学科棟



レモンルーム



ガリレオボード



教育協働学科棟

主に教育協働学科の講義室、実習室、研究室などがあります。憩いの場である「レモンルーム」や壁一面のホワイトボードスペース「ガリレオボード」もあります。



Sky Escalator(駅からのエスカレーター)
※Sky株式会社とネーミングライツパートナー
契約を結んでいます。

スポーツ施設

メインアリーナ、サブアリーナ、体操競技場、剣道場、柔道場、ダンスルーム、トレーニングルーム等があります。また体育館の隣には、テニスコート、プール、陸上競技場、サッカー・ラグビー場、野球場などスポーツ施設が充実しています。

AED 自動体外式除細動器

学内11箇所設置!

私たちの心臓は、規則的に正しく動き、全身へ血液を送るポンプの役目を負っています。AED(自動体外式除細動器)とは、心臓が小刻みに震え、全身に血液を送ることができなくなる心室細動等の致死性の不整脈の状態を、電気ショックを与えることにより、正常な状態に戻す機器です。2004年7月から一般市民による使用が認められました。本学では保健センター、体育館及び附属図書館等各所に設置しています。



体育館



ダンスルーム



剣道場



トレーニングルーム



メインアリーナ



柔道場



人工芝グラウンド



閲覧室

館内中央には吹き抜けがあり、光を取り込んだ明るい閲覧室です。小中高で使用されている教科書も利用でき、実習や教員採用試験に役立てることができます。また、館内で利用できるノートパソコンを10台用意しており、レポート作成等に利用できます。



まなびのひろば

〈まなびを共有する賑わいスポット!〉

学習のために人が集まり、「まなび」を共有する場所です。黒板や電子黒板も設置され、友達とディスカッションしながらの学習や、模擬授業、ゼミ・グループでの討論に利用できます。



附属図書館本館

地上3階、地下2階、5階建ての附属図書館です。90万冊以上の蔵書には、教育系の専門書や教科書を揃え、教職をめざす学生の“学び”をサポートしています。また、館内には、グループ学習やアクティブラーニングを目的とした施設も備えており、様々な学習の形に対応しています。



大学会館

Dining TERRA、第2食堂、レストランFORET、喫茶(SUN CAFE)、Shop IRIS(書籍・購買・旅行・サービス)などがあり、学生の憩いの場となっています。全ての食堂で日替わりや週替わりのメニューもあり、飽きのこない食事を提供しています。



グループ学習室

8〜16人用の個室が5室あり、グループでの学習や研究活動に利用できます。教育実習や教員採用試験に向けて、模擬授業の練習もできます。



サイレントルーム

会話やパソコンの使用が禁止されている部屋で、閲覧室より静かな環境です。座席も一席ずつに区切られているため、個人学習に最適です。



たまごギャラリー

本学の学生の作品の展覧会が行われるスペースです。年間を通じて、美術・書道専攻の学生や写真部等が多くの展覧会を開催しています。



柏原キャンパスには、授業の登録など修学上の諸手続きを行う事務局棟、ホールや実習室の他に練習室が約60室設置された音楽棟、美術や工芸の力を磨く美術棟・工房棟、体育・スポーツの理論を学ぶ体育・スポーツ棟など、様々な建物があります。また、サークル活動が行われる課外活動共用施設、さらに学生宿舎も配置されています。



教育研究施設

保健センター

学生・教職員の心身の健康保持・増進を目的としています。健康診断をはじめ、保健管理に関する専門的業務を行っています。
[センター長] 田中 雅彰

みらいICT先導センター

教育研究の発展への寄与を目的として、全学情報基盤システムの運営・管理や、情報実習室の管理を行っている学内共同利用施設です。学生・教職員に向けた全学ICTサービスの提供や利活用支援、情報セキュリティに関する注意喚起・啓発を行っています。
[センター長] 三島 和宏

ICT教育支援ルーム (みらいICT先導センター)

A棟312室において、ICT教育全般の技術的なサポートを行っています。

学び続ける教員支援センター

教員免許取得をめざす学部1回生から大学院生までの学生を対象に、学校インターンシップ、教育実習、大学院における学校実習等の教育実践活動と省察活動を支援しています。また、本学教員が専門性を活かして実施する現職教員や地域教育界に向けた教員研修を支援し、オンデマンド型と対面型を組み合わせた研修の充実に取り組んでいます。あわせて、ダイバーシティ教育を含む現代的な教育課題に対応し、学校現場と地域の教育を支える教員養成・教員研修の発展に貢献します。
[センター長] 小川 剛司

グローバルセンター

学生交流及び学術交流の企画・立案、留学生の受入れ・派遣の推進及び教育研究面での国際活動の充実を図ることを目的としています。
[センター長] 加賀田 哲也

外国語学習支援ルーム(GLC)

外国語のコミュニケーション能力の向上を目的とし、学生の自律的な学習を支援しています。さまざまな学習プログラムのほか、英語教員による個別相談も行っています。

産官学イノベーション共創センター

大学・産業界・官公庁それぞれが有しているリソースを統合、共創することで、“革新的な教育の形”を産み出すためのセンターです。同時に、科学機器の学内共同利用と整備・充実に関する業務とともに、科学技術教育に高い力量を持つ初等・中等教育教員の育成、学校や地域における科学技術教育の向上と活性化に寄与することを目的としています。
[センター長] 堀 一繁

キャリア支援センター

キャリア支援センターは、大学生活のあらゆる場での学生のキャリア形成と進路、職業選択を支援することを目的としています。指導教員と連携しながら、学生一人ひとりの適性・進路に合わせたきめ細かい支援を行っています。
[センター長] 住田 勝
[キャリアアドバイザー]
中務 高俊、浦部 孝英、山下 吉信、足立 多恵、小磯 久美子、近藤 一江、林原 伊美、柳本 智子

学校安全推進センター

平成13年6月8日、本学の附属池田小学校において23名の児童および教員が殺傷される事件が発生し、精神的に大きな傷を受けた児童・保護者・教員に対し長期にわたるケアが必要とされています。本センターは、このような学校危機の発生に対して、専門的に対応できる組織的・包括的な活動を支援する研究・教育機関として設置され、その後、学校安全の推進に関する研究領域を充実し、国立大学の教員その他でこの分野の研究に従事する者の利用に供することを目的としています。
[センター長] 藤田 大輔

修学支援センター

大学における学生相談、障がいのある学生の修学支援その他の学生の支援を行っています。カウンセリングルームと障がい学生修学支援ルームがあります。
[センター長] 大内田 裕
●**カウンセリングルーム**
学生生活上のさまざまな悩みについて、カウンセラー(公認心理師・臨床心理士)が心理的なサポートをしています。
[専任カウンセラー] 奥田 紗史美

●障がい学生修学支援ルーム

障がい学生修学支援ルームでは、障がい等のある学生が自らの能力を最大限に発揮し自己実現できるよう、修学支援に取り組んでいます。
【問合せ先】
072-978-3479(平日9:00〜17:00)
sienroom@bur.osaka-kyoiku.ac.jp
障がい学生修学支援ルームはC6棟2階北西角にあります。

教育実践支援ルーム

教育実践支援ルームでは、教育現場や子どもたちの教育・生活を支える現場で活動する学生の支援に取り組んでいます。教育現場の経験豊かな元校長と事務局スタッフが連携し活動を支援します。



保健センター



キャリア支援センター



学校安全推進センター



みらいICT先導センター



アクセス抜群！都市型キャンパス
天王寺キャンパス
Tennoji Campus

日本有数の高層ビル「あべのハルカス」をはじめ、観光やショッピングスポットとして注目を集める大阪市の阿倍野・天王寺エリア。
このエリアに1901年以降の歴史をめぐむ「天王寺キャンパス」は、今も昔も大阪の教育を支えています。JR寺田町駅から徒歩5分、JR天王寺駅から徒歩10分と抜群の交通アクセスを誇ります。
教育組織としては、2024年4月に改組を行った教育学部学校教育教員養成課程の「幼小教育専攻（4年制）」及び「小学校教育（夜間）5年専攻」に加えて、近畿大学との

連合による専門職大学院「連合教職実践研究科（連合教職大学院）」及び2021年4月に大幅な改組を行った大学院「教育学研究科」を設置しています。
さらに、「日本の教育課題に対応し、新たな未来教育を創造する産官学連携による共創拠点」を形成することをコンセプトに「みらい教育共創館」の供用を2024年4月から開始しました。
これらの学部・大学院、みらい教育共創館、そして附属図書館天王寺分館や附属学校を併設している天王寺キャンパスは、大阪の教育拠点とも言えるキャンパスです。



みらい教育共創館

日本の教育課題に対応し、新たな未来教育を創造する
産官学連携による共創拠点

教育委員会や企業、NPO法人などの専門的知識や技術が一堂に会する共創拠点を構築し、教育や教員養成の高度化に寄与します。



大学と5つの法人との協働により、教育課題の解決や教員養成・育成の高度化に資する事業に取り組むスペースです。



ガラス張りの教室とオープンスペースがあり、電子黒板や大型プロジェクターなどの先端機器を配置しています。さまざまな形態に対応した授業のほか、セミナーなども開催できます。



大画面で迫力ある映像を映し出す大型プロジェクターを備え、セミナーやシンポジウム、ポスターセッションなどのイベント開催が可能です。



「多様性を認める社会の実現をめざし、誰もが安心して快適に利用できる」をコンセプトとしたトイレです。

Guide Movie



附属学校統括機構・附属学校園

本学では、大学と附属学校園を結ぶ「附属学校統括機構」を設け、次世代の教育を推進しています。

この機構は、11の附属学校園（小学校：3校、中学校：3校、高等学校：1校3校舎、特別支援学校：1校、幼稚園：1園）を統括し、学校運営の効率化、先進的な指導法や教育研究の深化、さらには学校安全教育の充実を図るとともに、大学部局との連携を進めています。

また、附属学校園は、教育研究・教育実習の重要な拠点としての役割を果たし、それぞれ地域の特色に基づいた教育テーマに取り組むとともに、連絡進学をはじめとする相互連携を図っています。

附属学校統括機構

天王寺地区	附属天王寺小学校	池田地区	附属池田小学校	平野地区	附属幼稚園	附属高等学校平野校舎
	附属天王寺中学校		附属池田中学校		附属平野小学校	附属特別支援学校
	附属高等学校天王寺校舎		附属高等学校池田校舎		附属平野中学校	

天王寺地区 TENNOJI

研究テーマ

人間と科学の調和を拓くりテラシー教育（平成22年度～）

物事に対する知的好奇心を基礎に、科学的・論理的な知識や技能を活用し、課題の発見や解決への道を体験的な学びを通して開拓していくリテラシーの育成をめざしています。



特色ある取組

小中高連携による生徒の資質育成

天王寺地区では小中高の生徒の協働活動を通じて、将来につながる資質の育成に努めています。教員志望の高校生が小学校に向かい合う支援活動や、小中高連携の宿泊型避難訓練など、実際の活動の場を作っています。



附属天王寺小学校



本校は、長年にわたり教科研究を深化させるため、校内研修・校内研究を推進し、その成果を毎年授業研究会で全国に広く発信しています。また、令和2年度及び3年度には国立教育政策研究所の教育課程研究指定校として、令和7年度には教育課程特例校として「教科横断的な学習としてのSTEAM教育」を推進しました。そして、令和8年度より、文部科学省研究開発学校に指定され、STEAM科を核にICT活用を通して児童の学びを深めています。

附属天王寺中学校



「質実剛健」の校風を持ち、歴史と伝統を誇る「天王寺学びのもり」から多くの有為な人材を輩出してきました。本物体験とコミュニケーション能力を高める場が数多くプログラムされています。さらに、新しい文化や情報の発信を行い、教員・生徒をはじめ保護者やステークホルダーすべての人々の力を結集して、「学びたい学校、学んでよかった学校、学ばせたい学校」をめざしています。

附属高等学校天王寺校舎



本校は、「自由・自主・自立」の精神を大切に、自ら学び、考え、行動できる人材の育成をめざす学校です。生徒一人ひとりが他者と協働しながら学びを深める教育環境を整え、実物に触れる「ホンモノ体験」を重視した学びを推進しています。生徒自治会活動をはじめ、知的好奇心を刺激する多様な活動の場を提供しています。また、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）の第3期では、国際的に協働できる文理融合型の学習者を育成しています。アメリカやタイの理数科高校との交流を積極的に行い、グローバルな視野と実践力を育む教育を展開しています。



池田地区 IKEDA

研究テーマ

グローバル社会を協働的に創造する資質・能力の育成 (令和5年度～)

持続可能な社会の実現に向けて、「安全」等の様々な課題を自分のこととして捉えられるよう、そして、多面的な視点で論理的・批判的に考え、主体的に学び続けることで、VUCAの未来を自主・自律の精神をもって生きてゆくことができる資質・能力の育成をめざしています。



特色ある取組

「グローバル市民性が育つ学び」に向けて

「グローバル市民性とは何か」を子どもの姿から見出し、12年間の教育活動において、発達の段階に応じた学習目標の設定・評価方法の構築をめざします。さらに、それらを教科学習に還元し、池田地区(小中高)が一体となって、新しい社会の創造に貢献できる資質・能力を追究していきます。



附属池田小学校



平成27年3月、日本初のセーフティプロモーションスクール(SPS)に認証された本校は、現在アドバンストSPS校として「主体・寛容・安全」をキーワードに教育活動を展開しています。「安全教育」「道徳教育」「協働活動」を通じ、自他の命や多様な考えを尊重し、共によりよい社会を築く資質の育成に取り組んでいます。また、全国の教員と交流する教育研修会を開催し、質の高い授業づくりの研究を推進しています。

附属池田中学校



自主・自律の精神のもと、コミュニケーション力、探究力を重視し、「安全教育」「道徳教育」「地域活動」を通じて、世界や社会の課題に向き合い、多様な人々と共に生きる豊かな心を育む教育を行っています。また、平成27年3月にセーフティプロモーションスクールSPSに認証され、令和6年3月には継続的に安全に取り組む学校として、アドバンストSPS校に認証されました。

附属高等学校池田校舎



自由・自主・自律の校風のもと、生徒一人ひとりの個性を大切にしながら、「安全教育」「国際教育」「創造活動」を通じて、持続可能な社会の実現に向けた課題を世界の人々と協働して創造的に解決する力を養う教育を行っています。令和2年度からWWLコンソーシアム構築支援事業の共同実施校となり、令和4年3月にはセーフティプロモーションスクール認証校となりました。



平野地区 HIRANO

研究テーマ

新しい社会を創造する子ども一人ひとりの育成を 目指した教育課程の実施と教育評価 ～主体性を育む自己選択・自己決定に 向けた学びを通して～(令和8年度)

すべての校種が近接する地区の特色を活かし、五校園が日常的に連携して子どもたちの交流・共同学習や教員の協働と研究を進めています。なかでも、幼稚園から高校まで学び続ける環境と特別な支援を得ながら育つ環境に基づく、全国的にもめずらしい「五校園共同研究」に取り組み、長期的な子どもの成長の視点にたった主体性の育成や探究的な学びの指導など、今日的な教育課題に焦点をあてた研究に邁進しています。



特色ある取組

地域との連携・地域への発信 —平野の学びを子どもたち・教員へ—

各校園の独自の取組、教育研究についての発表や研修会の実施に加え、五校園共同研究発表会では、地域の多くの教員が集まり、校園種の枠を超えた平野の学びと子どもの成長の様子を発表します。また、教育実習生は五校園内全体で交流し、より充実した実習を行います。大阪市平野区と五校園が協定を締結し、災害時の支援体制や防災教育の充実、安全・安心なまちづくりの推進に向けて相互協力を行っています。



ステップアップ研修(幼)



オープンカフェ(小)



課題研究研修会(高)

附属幼稚園



「すこやかに、あたかく、遊びに生きる子ども」という教育目標のもと、主体的に生活する子どもの育成をめざしています。園内の豊かな自然環境(実なる木、様々な動物等)、ものや身近な人々との関わりを通して学びが深まるよう取り組んでいます。また、保護者による「手づくり給食」を実施し、保育内容にも食の関心に繋がる内容を取り入れながら食育を推進しています。

附属平野小学校



教育目標「ひとりで考え ひとと考える 最後までやりぬく子」を基盤とし、令和6年度より、文部科学省研究開発学校に再度指定されたことを受けて、新教科「未来探究科」を新設し、「未来の社会を創り出す子ども」の育成をめざして研究を進めています。教職員・保護者・卒業生・地域が一体となって、子どもたちの健やかな成長に向けて、特色ある学校づくりに取り組んでいます。

附属平野中学校



本校では、「真剣を究める。」をスローガンに、授業や学校行事の中で主体性と協働への意欲を高め、生徒一人ひとりが最大限の力を発揮できる学校をめざしています。また、総合的な学習の時間(JOIN)では、日常生活や社会の課題に向き合い、課題解決のための提案を行います。平野五校園と家庭、地域が一体となり、教育実践を重ねています。

附属高等学校平野校舎



1学年120名という学校規模と令和2年度より指定を受けたワールド・ワイド・ラーニング(WWL)コンソーシアム構築支援事業拠点校としての強みを活かした教育活動を展開しています。少数精鋭・創造探究・自主自立の教育方針のもと、国内・海外の大学・高校・協働機関・平野五校園等と連携し、ホンモノとの出会いと深い学びから何事にも臆することのない探究心を育み、多文化・多様性を理解し世界で活躍するグローバルリーダーの育成に取り組んでいます。

附属特別支援学校



本校は、知的発達障害のある児童生徒が学んでいる学校です。一人ひとりの存在と個性を尊重した教育支援を日々実践しています。小学部から中学部、そして高等部まで一貫したキャリア教育の視点を取り入れ、自ら考え行動できること(自立)、仲間と支え合い共に活動できること(相互依存)、主体的に社会に関われること(社会参加)を目標として、子ども・保護者・地域にとって魅力ある学校づくりに取り組んでいます。

附属学校園教員と大学教員との研究交流会

この交流会は平成24年度に本学の研究活動を推進するうえで、附属学校園との交流を活性化させることが重要であるとの考えから始まりました。第14回目の開催となった令和7年度は企業からの参加もあり、交流会では、口頭発表12件、ポスター発表59件の発表がありました。教育・研究に関する情報を共有したことがきっかけで共同研究や附属学校園をフィールドにした実証研究が行われることも多々あります。また、教員志望の学生や院生も研究発表を行います。近年は附属学校園教員と大学教員との共同による研究発表に加え、企業と連携した発表も行われるようになり、研究交流会の重要性が増しています。



TOPIC



就職
実績

Employment Record

就職 DATA

令和7年度 卒業(修了)者の就職状況(3月卒+9月卒・留学生含む)

教育学部

(令和8年5月1日現在)

進路先		就 職 者																							進学 (C)	未 就 職		不明者	合 計 (D)												
		教 員										自営業 保育所 (B)	農業・林業	漁業	鉱業・採石業・砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸郵便業	卸売小売業	金融保険業	不動産業・物品賃貸業	学術・専門技術サービス業		宿泊・飲食・サービス業	生活関連サービス・娯楽業			教育・学習支援業	医療福祉	複合サービス事業	サービス業	分類不能	公務員 小 計 (自営業除く)	公務員 (教員以外)	教員以外志望	大学・短大等志望	その他		
		公立学校						小 計 (A)	小 計 (自営業除く)	公務員 (教員以外)	教員以外志望																													大学・短大等志望	その他
		小学校	義務教育学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園・幼児保育連携・と園																																		
課程・専攻 コース	初等教育教員養成課程	幼児教育					8 (0)	2 (0)	10 (0)	2															1	1	4	1					15 (0)								
	小学校教育	昼間コース	31 (5)					1 (1)	32 (6)				1	1	1			1				1						2	7	2	4			45 (6)							
夜間5年コース		29 (6)						29 (6)	1					1	1							1	1	1			3	9	2		1		42 (6)								
夜間5年コース (3年次編入学)		12 (5)						1 (1)	13 (6)						2			2									2	6	2	1		1	23 (6)								
教員養成課程	学校教育教員養成課程	特別支援教育	15 (3)				18 (0)	1 (1)	34 (4)				1		1		1	1	1		1						1	6	3	2		1	46 (4)								
		小中教育	学校教育	14 (1)				1 (1)	1 (1)	16 (3)	1					2		1				1								4	2	3			26 (3)						
	国語教育		19 (0)	4 (0)	2 (0)			1 (1)	26 (1)						1												2	3	3	3	1			36 (1)							
	英語教育		8 (1)	3 (1)	1 (0)			1 (1)	13 (3)								1												1					14 (3)							
	社会科教育		14 (3)	3 (0)	1 (0)			1 (1)	19 (4)				2	3							2							4	11	1	2			33 (4)							
	数学教育		7 (2)	4 (0)				1 (1)	12 (3)							1	1	2	1					1					6	2			2	22 (3)							
	理科教育		16 (1)	7 (1)	1 (1)			1 (1)	25 (4)						2		1									1			4	1	6		1	37 (4)							
	家政教育		4 (0)			1 (0)			5 (0)					1		1					1							1	4	1				10 (0)							
	保健体育		11 (3)	2 (0)	1 (1)				14 (4)				1				1	1		1			1	1			2	8	3	6	1		1	33 (4)							
	音楽教育		6 (1)	2 (0)				1 (1)	9 (2)																						1			10 (2)							
	美術・書道教育		5 (0)	2 (0)	1 (1)				8 (1)						2				2										4				1	13 (1)							
	中等教育	国語教育		2 (0)	3 (1)				5 (1)													1												6 (1)							
		英語教育		4 (2)				1 (0)	5 (2)								1					1	1				4	1	1				1	12 (2)							
		社会科教育		3 (1)	3 (0)			1 (1)	7 (2)									1						1				2	1	2				12 (2)							
		数学教育		6 (1)	6 (0)				4 (4)	16 (5)								1						3				4	1	3	1			25 (5)							
		理科教育		5 (2)	3 (0)			2 (1)	10 (3)							1			1		1		1				1	4	1	4				19 (3)							
		技術教育		4 (0)					4 (0)																									4 (0)							
		家政教育		4 (1)	1 (1)				5 (2)														1				1	2		1				8 (2)							
		保健体育		1 (0)	1 (0)				2 (0)								1											1	2	4				9 (0)							
		音楽教育		2 (0)	4 (0)				2 (2)	8 (2)																				1	1			10 (2)							
美術・書道教育		1 (0)	4 (3)				5 (3)									1						1				3	2					10 (3)									
養護教諭養成課程		13 (7)	5 (4)	2 (2)	3 (3)	4 (4)	27 (20)																			1	1		2			30 (20)									
小 計		206 (38)	66 (13)	31 (10)	19 (1)	11 (3)	26 (22)	359 (87)	2	2			4	5	16	2	10	7	5	1	4	4	10	4		24	98	31	46	5	2		7	550 (86)							

本学は、全ての学校種別と教科を網羅する西日本最大の教員養成大学として、
毎年約1,000人の卒業生を輩出しています。
近年は、正規教員採用試験合格者数全国トップクラスの実績を誇る教員のみならず、
公務員や一般企業の就職においても高い評価を得ています。

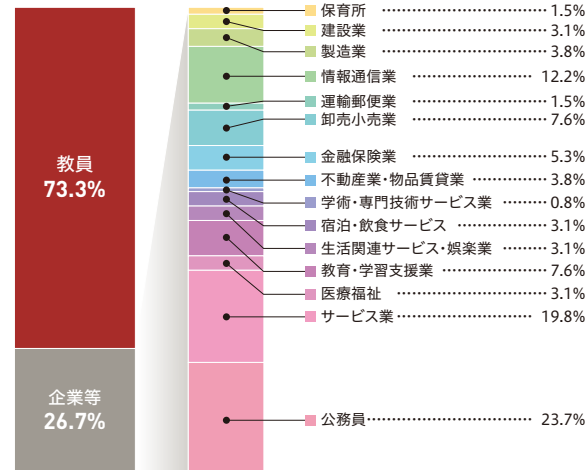
教育学部

(令和8年5月1日現在)

進路先 課程・専攻 コース		就 職 者																							進学 (C)	未 就職 教員志望	就 職 大学・短大等志望 教員以外志望	その他	不明者	合 計 (D)					
		教 員							自営業 保育所(B)	農業・林業	漁業	建設業 鉱業・採石業・砂利採取業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸郵便業	卸売小売業	金融保険業	不動産業・物品賃貸業	学術・専門技術サービス業	宿泊・飲食サービス業	生活関連サービス・娯楽業	教育・学習支援業	医療福祉							複合サービス事業	サービス業	分類不能	小計 (自営業除く)	公務員 (教員以外)
		公立学校																																	
		小学校	義務教育学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園・幼児保育等 子ども園	公立学校以外の教員		小計(A)																									
教育協働学科	教育心理学													2	3	1	1				1		4			1	13	7	9	1		2	32(0)		
	健康安全科学		1(1)	2(1)	1(1)	1(1)	2(2)	7(6)				1	4		1		3	2		1			2			2	16	3	4	2		1	33(6)		
	数理情報	数理情報		3(1)	2(1)		2(2)	7(4)				1	2		9	1	1	2	1	1	2						2	22	3	5	3		1	41(4)	
		自然科学		9(2)	1(0)			10(2)	1			1	1	1	10	0	5	2		2	2	1	3	1			2	31	6	13	1			62(2)	
	グローバル教育	英語コミュニケーション		3(1)	1(0)		1(1)	5(2)					2	2		3	1	1				1	1	1			2	14	1	3	1	2		26(2)	
		多文化リテラシー		3(2)	1(0)		4(3)	8(5)				1	3	2	2		1	1	2				1				1	14	3	11	2	10		3	51(5)
	芸術表現	音楽表現	1(1)	7(3)	1(0)		1(1)	10(5)						2				2	1	1			2	2			5	15		9		2	1	37(5)	
		美術表現												1		1		1									1	4	1	2				7(0)	
	スポーツ科学			4(2)		2(2)	1(1)	7(5)	1					2		1	3	6	2				1	3	1		7	26	6	10			1	51(5)	
	小 計		2(2)	31(12)	7(2)	2(2)	1(1)	11(10)	54(29)	2				6	19	3	30	3	18	14	6	4	6	3	10	10		23	155	30	66	3	19	2	9
教育学部合計		208(40)	97(25)	38(12)	21(3)	12(4)	37(32)	413(116)	4	2			10	24	3	46	5	28	21	11	5	10	7	20	14		47	253	61	112	8	21	2	16	890(116)

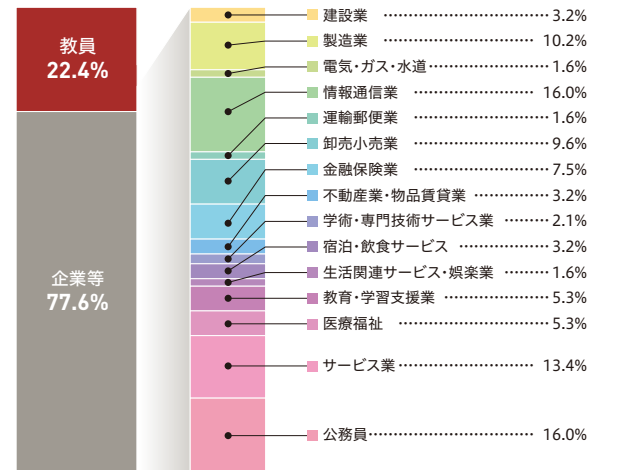
注) 1 ()内は、期限付講師等で内数 注) 2 教員志望及び教員以外志望は就職希望であり、未内定者 注) 3 その他は、アルバイト・就職不志望等
※教員就職率=(教員就職者数(A))÷(合計(D)-保育所(B)-進学(C))

教員養成課程



※端数処理の都合上、計が合わない場合があります。

教育協働学科





就職 DATA 3 POINT



POINT 01

教員志望者における教員就職率 **98.6%** (講師含む。令和7年度末学部卒業者)

教員に就職するには、都道府県等もしくは私立学校が実施する教員採用試験を受ける方法が一般的です。
教員採用試験の内容は各自治体の教育委員会によって異なりますが、一般的には次のような試験が実施されています。

第1次選考	面接	個人面接、集団面接、集団討論など
	筆答試験	教職教養(教育心理、教育法規など) 一般教養、専門科目
第2次選考	面接	個人面接、模擬授業、場面指導など
	筆答試験	小論文
	実技	水泳、器械運動、音楽など

POINT 02

大学院進学者もそのほとんどが国公立の大学院に

もっと知識・技能を身に付けてから、社会に貢献したいと考えて大学院に進学する学生も多くいます。
学部卒の大学院(専攻科含む)進学者のうち99人が国公立の大学院(専攻科含む)に進学しています。
令和7年度主な進学実績は以下のとおりです。

大学院名	人 数
大阪教育大学大学院、連合教職大学院、特別専攻科	58人
奈良先端科学技術大学院大学	8人
大阪大学大学院	5人
大阪公立大学大学院	5人
京都大学大学院	4人
筑波大学大学院	3人
神戸大学大学院	2人
その他	14人

POINT 03

就職支援行事は年間 **188回**開催 (令和7年度実績)

教員・企業・公務員就職希望者それぞれを対象とした多種多様な就職支援行事を、年間を通じ計画的に実施しています。
各就職相談室のアドバイザーによる面接指導や個別相談は、進路に応じたきめ細やかなサポートを行い、
学生の皆さんの夢の実現を力強くバックアップします。

区 分	主な行事	回 数
教員就職支援	教採対策講座、教育委員会・私立学校の採用担当者を招いた説明会 など	125回
企業・公務員就職支援	面接講座、職種・業界研究セミナー、企業等の採用担当者を招いた企業セミナー など	63回



学生数

令和8年
5月1日現在

Number Of Students

学生 DATA

教育学部

課程・学科			1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	男	女	計
令和5年度以前入学生	初等教育教員養成課程	幼児教育専攻	—	—	—	18	—	3	15	18
		(昼間コース)	—	—	—	49	—	12	37	49
		(夜間コース)	—	—	—	37	44	36	45	81
		(夜間コース3年次編入学)	—	—	—	14	20	17	17	34
	学校教育教員養成課程		—	—	—	509	—	261	248	509
	養護教諭養成課程		—	—	—	32	—	0	32	32
	令和6年度以降入学生	幼小教育専攻	494	501	493	—	—	672	816	1488
		次世代教育専攻								
		教科教育専攻								
		特別支援教育専攻								
		小学校教育(夜間)5年専攻	40	37	39	—	—	64	52	116
		小学校教育(夜間)5年専攻3年次編入学	—	—	11	—	—	4	7	11
	養護教諭養成課程		30	31	30	—	—	1	90	91
	合 計		564	569	573	659	64	1070	1359	2429
令和6年度以前入学生	教育心理科学専攻	教育心理科学専攻	—	—	42	51	—	29	64	93
		健康安全科学専攻	—	—	39	36	—	6	69	75
		理数情報専攻	—	—	94	112	—	153	53	206
		グローバル教育専攻	—	—	71	101	—	51	121	172
		芸術表現専攻	—	—	52	59	—	22	89	111
		スポーツ科学専攻	—	—	48	57	—	58	47	105
		教育イノベーション専攻	143	123	—	—	—	161	105	266
		教育コミュニティ支援専攻	133	138	—	—	—	102	169	271
		グローバル教育専攻	94	98	—	—	—	70	122	192
		合 計	370	359	346	416	—	719	772	1491

教育学研究科(修士課程)

専 攻	1年次	2年次	男	女	計
高度教育支援開発専攻	50	72	55	67	122

連合教職実践研究科(連合教職大学院)

専 攻	1年次	2年次	男	女	計
高度教職開発専攻	129	131	138	122	260

学校教育学研究科(博士後期課程)

専 攻	1年次	2年次	3年次	男	女	計
共同学校教育学専攻	5	5	—	6	4	10

特別支援教育特別専攻科

専 攻	男	女	計
特別支援教育専攻	1	14	15

※留学生(正規生)含む

課程・学科		専 攻	コ ー ス	日 程	大学入学 共通テストの 利用教科・科目数	教科・科目に係る 個別テスト等	募 集 人 員 (●)	志願者数	受験者数 (■)	合格者数 (■÷●)	受験倍率 (■÷●)	配 点		配点 合計	合格者の 共通テスト 平均	合格者の 総合平均	合格者の 総合最高	合格者の 総合最低
			共通テスト 個別															
学校教育教員 養成課程	幼小教育専攻	幼児教育コース	課す推薦(※)	6教科8科目又は 7教科8科目	実技、面接	5	9	9	5	1.8	950	500	1450	※	※	※	※	
			前期		面接	10	23	18	12	1.8	950	300	1250	587.2	811.8	978	753	
			課す推薦		面接	17	53	53	17	3.1	950	300	1250	※	※	※	※	
		小学校教育コース	課す推薦(特別枠)(※)	6教科8科目又は 7教科8科目	面接	5	30	30	5	6.0	◆	300	300◆	※	※	※	※	
			前期		小論文	23	41	26	23	1.1	950	300	1250	621.3	842.0	917	748	
			課す推薦		面接、活動報告書	10	24	23	10	2.3	950	390	1340	※	※	※	※	
		次世代教育専攻	教育探究コース	6教科8科目又は 7教科8科目	前期	小論文、活動報告書	20	23	14	13	0.7	950	360	1310	599.7	816.8	911	701
					後期	面接、活動報告書	10	58	16	15	1.6	950	360	1310	658.1	935.7	1002	721
					前期	【①情報+小学校】数学、小論文	12	2	2	2	1.3	950	600	1550	493.4	757.1	917	640
			ICT 教育コース	6教科8科目	後期	【②情報+中高数学】数学、小論文	3	2	2	2	1.0	950	600	1550	※	※	※	※
	前期				【①情報+小学校】数学、面接	8	14	6	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	後期				【②情報+中高数学】数学、面接	10	22	22	10	2.2	950	300	1250	※	※	※	※	
	教科教育専攻	国語教育コース	6教科8科目又は 7教科8科目	前期	国語、面接	30	70	61	35	2.0	950	600	1550	623.8	995.7	1126	909	
				後期	小論文、面接	5	39	15	6	3.0	950	600	1550	※	※	※	※	
				課す推薦	面接	8	13	13	8	1.6	1150	400	1550	※	※	※	※	
		英語教育コース	6教科8科目又は 7教科8科目	前期	英文ライティング、面接	17	29	21	20	1.2	1150	400	1550	752.8	1044.7	1224	840	
				課す推薦	面接	14	47	47	14	3.4	1150	350	1500	※	※	※	※	
		社会科教育コース	6教科8科目又は 7教科8科目	前期	小論文	26	43	29	27	1.1	950	300	1250	629.8	827.8	976	688	
				後期	数学、理科	25	40	37	28	1.5	950	650	1600	600.2	959.6	1347	726	
		数学教育コース	6教科8科目	前期	数学	20	110	48	25	2.4	950	600	1550	646.2	946.8	1063	824	
				後期	面接	10	41	40	10	4.0	1150	400	1550	※	※	※	※	
		理科教育コース	6教科8科目	前期	理科	40	76	62	44	1.6	1150	600	1750	721.1	1175.9	1343	1051	
				課さない推薦(※)	—	小論文、面接	4	7	7	4	1.8	—	500	500	※	※	※	※
		特別支援教育専攻	技術教育コース	6教科8科目	前期	小論文、面接、志望理由書	5	7	6	5	1.2	950	500	1450	※	※	※	※
					後期	面接、志望理由書	1	2	0	0	0.0	950	500	1450	※	※	※	※
					課す推薦	面接	4	8	8	4	2.0	950	600	1550	※	※	※	※
			家政教育コース	6教科8科目又は 7教科8科目	前期	小論文	8	16	12	10	1.5	950	300	1250	601.5	817.1	899	740
					後期	面接	3	20	2	2	0.7	950	600	1550	※	※	※	※
					課す推薦	実技、面接、証明書	5	6	6	5	1.2	750	560	1310	※	※	※	※
			保健体育コース	6教科6科目	前期	実技	25	54	50	29	2.0	750	560	1310	483.3	923.6	1045	865
					後期	実技	10	66	22	10	2.2	750	400	1150	548.2	866.2	890	835
					課す推薦													

令和9年度入学者選抜要項・募集要項
(一般選抜・学校推薦型選抜)

※紙媒体(冊子)で配布

※ウェブページのみ(PDF形式)

※ウェブページのみ(PDF形式)

学校推薦型選抜				
	課さない	課さない (地域教員希望枠)	課す	課す (高大接続枠)
出願期間	11月1日(日)～11月6日(金)(必着)			
試験日	11月21日(土)※	11月21日(土) 11月22日(日)	11月21日(土)※	11月21日(土)
合格発表	12月1日(火)	12月1日(火)	2月8日(月)	第1次選考合格 12月1日(火) 最終合格 2月8日(月)

※一部のコースは、志願者数により11月22日(日)にも実施

	前期日程	後期日程
出願期間	1月25日(月)～2月3日(水)(必着)	
試 験 日	2月25日(木)～ 2月26日(金)	3月12日(金)
合格発表	3月6日(土)	3月20日(土)

※ 学校推薦型選抜及び合格者数が6人以下の募集区分については、合格者の成績情報は公開していません。

※ 一部の専攻の合格者の総合最低点は公開していません。

◆印は、令和8年度大学入学共通テストにおいて本学の定める教科・科目を受験し、その総合点が満点の60%に達した合格内定者(令和9年度より「第1次選考合格者」と呼称)を最終合格者として決定したことを表しています。

入学料・授業料について

令和8年度入学	入学料 ※3	授業料(年額)
学部	282,000	535,800
学部(夜間5年専攻)	141,000	267,900
学部(3年次編入学)	141,000	267,900
大学院	282,000	535,800
大学院(長期履修学生制度の適用者) ※4	282,000	357,200
特別支援教育特別専攻科	58,400	273,900

※1 上記金額は、令和8年度入学者の金額であり、令和9年度入学者については、変更される場合があります。

また、このほか、テキストや英語能力測定試験、実習及び課外活動等の経費は別途必要となる場合があります。

※2 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

※3 入学の際には、入学料のほか、別途入学時諸費用がかかります。

※4 修士課程・教職修士課程における長期履修期間の授業料金額です。長期履修期間によって授業料金額が異なります。

共同学校教育学専攻
長期履修学生制度

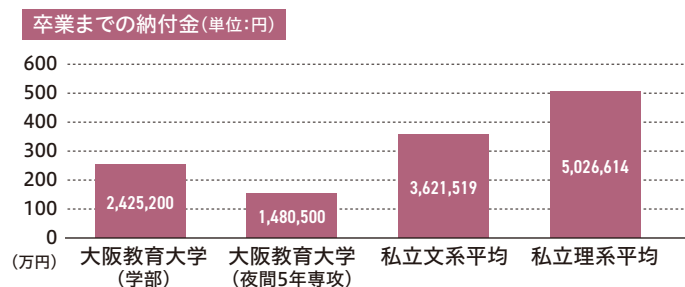


博士後期課程における長期履修期間の授業料金額は、右記QR遷移先の「授業料シミュレーション」よりご確認ください。

他大学との比較 (卒業までにかかる金額)

学部4年間の納付金は
私立文系平均の **66.9%**
私立理系平均の **48.2%**

夜間5年専攻の納付金は
私立文系平均の **40.8%**
となっています。



※「令和7年度 私立大学入学者に係る初年度学生納付金等平均額(定員1人当たり)の調査結果について」より

授業料・入学料免除制度

経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる学生などに授業料や入学料などの免除制度があります。(学部・学部(夜間)入学者については、高等教育の修学支援新制度による授業料免除・入学料免除となります。)

※詳細は本学募集要項や合格者に送付する入学手続関係書類を参照してください。

参考 令和7年度授業料免除実績(経済的理由)

区 分	免 除 率	前 期		後 期		免 除 額
		申請者数	免除者数	申請者数	免除者数	
学部	高等教育の修学支援新制度による免除	—	827	—	828	413,503,900
学部(夜間)	高等教育の修学支援新制度による免除	—	73	—	70	16,565,700
大学院・専攻科	全額免除	56	36	57	41	20,277,100
	半額免除		11		13	3,039,200
合 計						453,385,900

奨学金について

学業が優秀で、経済的理由により学資の支弁が困難な者には、《日本学生支援機構奨学金》又は《一般奨学金》の制度があります。
一般奨学金には、大きく分けて地方公共団体の奨学金と民間育英団体の奨学金があります。

参考 令和8年度入学者 日本学生支援機構の奨学金月額例

給付奨学金

奨学金の種類	給付月額	
	自宅	自宅外
給付奨学金	29,200円(第Ⅰ区分)	66,700円(第Ⅰ区分)
	19,500円(第Ⅱ区分)	44,500円(第Ⅱ区分)
	9,800円(第Ⅲ区分)	22,300円(第Ⅲ区分)
	7,300円(第Ⅳ区分 [多子世帯に限る])	16,700円(第Ⅳ区分 [多子世帯に限る])

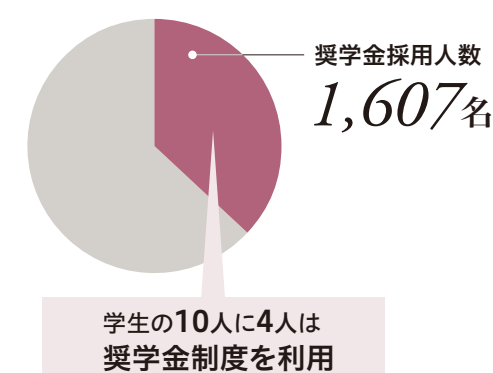
貸与奨学金

奨学金の種類	貸与月額	
	自宅	自宅外
第一種奨学金(無利子)	20,000円・30,000円・45,000円	20,000円・30,000円・40,000円・51,000円
第二種奨学金(有利子)	20,000円・30,000円・40,000円・50,000円・60,000円・70,000円・80,000円・90,000円・100,000円・110,000円・120,000円	

参考 令和7年度日本学生支援機構奨学金利用実績(令和8年3月末時点)

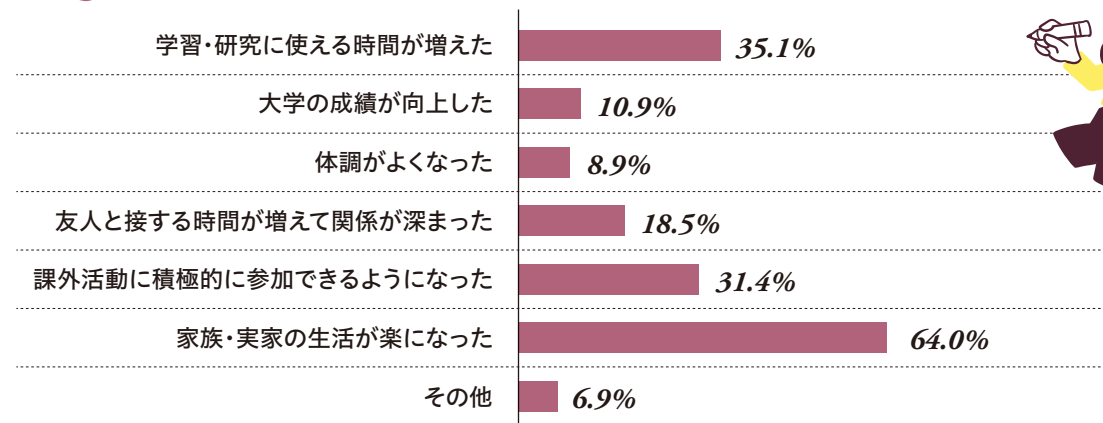
区分	日本学生支援機構奨学金					
	給付	第一種	第二種	合計	左記の内併用者(内数)	奨学金利用者数
学部	892	523	426	1,841	449	1,391
学部(夜間)	77	47	41	165	47	118
大学院・専攻科	—	97	9	106	8	98
合 計						1,607

本学学生数 [4,300名]



学生アンケート

授業料免除・奨学金を受けることで役に立ったと思うこと (令和元年度 学生生活実態調査より) (複数回答可)



【大阪教育大学教育学部】

①求める学生像

- 卒業認定・学位授与の方針に定める資質・能力を育成するために編成された教育課程を履修する学生として、次に掲げる人材を広く求めます。
- 子どもの未来への関心があり、教職への強い意欲と関心、探究心を持つ人
- 教職に必要な知識と技能、教科に関わる専門分野への関心がある人
- 広く豊かな教養と多様性理解、協調性の修得をめざす人
- 現代社会への幅広い関心と自らの課題意識を持って積極的に社会参画をめざす人
上記の求める学生像に加えて、外国人留学生では次のような人を求めています。
- 一定の日本語能力と大学教育を受けるに必要な基礎学力を持つ人
- 日本の文化や社会についての理解や経験を活かして国際的に活躍することをめざす人

②入学者選抜の基本方針

- 各課程・学科が求める学生を受け入れるために、学力の3要素(①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)等を多面的・総合的に評価し、一般選抜(前期日程・後期日程)、学校推薦型選抜、私費外国人留学生入学試験、第3年次編入学試験の多様な入学者選抜を実施します。

【学校教育教員養成課程】

①求める学生像

- 卒業認定・学位授与の方針に定める資質・能力を育成するために編成された教育課程を履修する学生として、次に掲げる人材を広く求めます。
- 教員の基盤としての広く豊かな教養を身に付けるため、高等学校で履修した教科・科目における基礎学力を有している人
- 教職に必要な知識や技能、教科に関わる専門分野への関心があり、それらを学ぶための十分な学力と適性を有している人
- 社会の多様性を理解し、多様な人々とコミュニケーションを図り、協働できる能力を身に付けようと思っている人
- 子どもたちの成長に関わることへの関心があり、教職に就くことを強く希望し、探究心を持って主体的に学ぶ態度を有している人

②入学者選抜の基本方針

- 教員養成課程が求める学生を受け入れるために、次の入学者選抜を実施します。なお、各選抜区分については、学力の3要素を別表のとおり評価します。

- 学校推薦型選抜では、「大学入学共通テスト」・「教科・科目に係る個別テスト」・「小論文」・「実技検査」・「面接」・「競技成績に関する証明書」・「活動報告書」を課します。各専攻・コースにおいて以下の選抜方法を複数組み合わせることによって、学力(「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」)と教職に就くことへの意欲を確かめます。
- 各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、さらに思考力や判断力を確かめるために、「大学入学共通テスト」を課します。
- 大学で学ぶに十分な知識を習得したかどうか、さらに知識に基づく高度な思考力や表現力を有しているかどうかを確かめるために、「教科・科目に係る個別テスト」を課します。
- 総合的な理解力、思考力、発想力、論理的構成力、表現力などを確かめるために、「小論文」を課します。
- 大学で専門分野を学ぶに十分な技能や表現力などを有しているかどうか、また専門分野に対する理解・関心度・意欲を確かめるために、「実技検査」を課します。
- 論理性・表現力・応用能力をみるとともに、専門分野についての関心や学校教育・教職への熱意・適性などを確かめるために、「面接」を課します。
- 十分な技能を有しているかどうかを確かめるために、「競技成績に関する証明書」の提出を求めます。
- 専門分野についての関心や教職に就くことへの意欲などを確かめるために、「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。
- 高等学校等で経験・修得したさまざまな分野(教育に関する分野を含む)における活動・技能等を確かめるため、「活動報告書」の提出を求めます。

- 一般選抜(前期日程)では、「大学入学共通テスト」・「教科・科目に係る個別テスト」・「小論文」・「実技検査」・「面接」・「志望理由書」・「活動報告書」を課します。各専攻・コースにおいて以下の選抜方法を複数組み合わせることによって、学力(「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」)と教職に就くことへの意欲を確かめます。
- 各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、さらに思考力や判断力を確かめるために、「大学入学共通テスト」を課します。
- 大学で学ぶに十分な知識を習得したかどうか、さらに知識に基づく高度な思考力や表現力を有しているかどうかを確かめるために、「教科・科目に係る個別テスト」を課します。
- 総合的な理解力、思考力、発想力、論理的構成力、表現力などを確かめるために、「小論文」を課します。
- 大学で専門分野を学ぶに十分な技能や表現力などを有しているかどうか、また専門分野に対する理解・関心度・意欲を確かめるために、「実技検査」を課します。

- 論理性・表現力・応用能力をみるとともに、専門分野についての関心や学校教育・教職への熱意・適性などを確かめるために、「面接」を課します。
- 専門分野についての関心や教職に就くことへの意欲などを確かめるために、「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。
- 高等学校等で経験・修得したさまざまな分野(教育に関する分野を含む)における活動・技能等を確かめるため、「活動報告書」の提出を求めます。

- 一般選抜(後期日程)では、「大学入学共通テスト」・「教科・科目に係る個別テスト」・「小論文」・「実技検査」・「面接」・「志望理由書」・「活動報告書」を課します。各専攻・コースにおいて以下の選抜方法を複数組み合わせることによって、学力(「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」)と教職に就くことへの意欲を確かめます。
- 各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、さらに思考力や判断力を確かめるために、「大学入学共通テスト」を課します。
- 大学で学ぶに十分な知識を習得したかどうか、さらに知識に基づく高度な思考力や表現力を有しているかどうかを確かめるために、「教科・科目に係る個別テスト」を課します。
- 総合的な理解力、思考力、発想力、論理的構成力、表現力などを確かめるために、「小論文」を課します。
- 大学で専門分野を学ぶに十分な技能や表現力などを有しているかどうか、また専門分野に対する理解・関心度・意欲を確かめるために、「実技検査」を課します。
- 論理性・表現力・応用能力をみるとともに、専門分野についての関心や学校教育・教職への熱意・適性などを確かめるために、「面接」を課します。
- 専門分野についての関心や教職に就くことへの意欲などを確かめるために、「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。
- 高等学校等で経験・修得したさまざまな分野(教育に関する分野を含む)における活動・技能等を確かめるため、「活動報告書」の提出を求めます。

③入学前に学習しておくことが期待される内容

- 高等学校卒業程度の基礎的な学力や技能を十分に修得したうえで、大学で学ぶ専門分野への関心を高めてください。さらに、子どもを教育することの意味を考え、学校教員という職業への自覚を深めてください。また、多様な人々とコミュニケーションを図り、そこから学ぶ態度も身に付けてください。

【養護教諭養成課程】

①求める学生像

- 卒業認定・学位授与の方針に定める資質・能力を育成するために編成された教育課程を履修する学生として、次に掲げる人材を広く求めます。
- 養護教諭をめざすために必要な基礎学力があり、十分な教育実践力を身に付けようとする意欲にあふれる人
- 養護教諭になることを強く希望し、その意志を持ち続けることのできる人
- 子どもたちの健康な学校生活を支援することにやりがいと使命を感じる人
- 人と明るく温かなコミュニケーションが図れる能力や個性を備えている人

②入学者選抜の基本方針

- 養護教諭養成課程が求める学生を受け入れるために、次の入学者選抜を実施します。なお、各選抜区分については、学力の3要素を別表のとおり評価します。

- 一般選抜(前期日程)では、「大学入学共通テスト」・「小論文」を課します。
- 「大学入学共通テスト」では、各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、高等学校での学習の達成度について評価します。
- 「小論文」では、提示された資料に対する理解力や思考力・発想力・論理的構成力を総合的に評価しますが、文章表現力についても採点・評価の対象とします。
- 専門分野についての関心や教職に就くことへの意欲などを確かめるために、「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。

- 一般選抜(後期日程)では、「大学入学共通テスト」・「面接」を課します。
- 「大学入学共通テスト」では、各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、高等学校での学習の達成度について評価します。
- 「面接」を通じて、論理性・表現力・応用能力、健康問題に関する理解をみるとともに、学校教育・教職への熱意・適性について総合的に採点・評価します。
- 専門分野についての関心や教職に就くことへの意欲などを確かめるために、「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。

③入学前に学習しておくことが期待される内容

- 高等学校卒業程度の基礎的な学力や技能を十分に習得してください。特に、生物及び化学については、入学までに学習していることを期待しています。

【教育協働学科】

①求める学生像

- 卒業認定・学位授与の方針に定める資質・能力を育成するために編成された教育

- 課程を履修する学生として、次に掲げる人材を広く求めます。

- 専門性を有しつつ教育理解をもって多様な専門家や市民と協働し、生涯教育社会における学校と地域社会と共に探究心を持って、多様な教育課題の解決を自ら図る意欲のある人
- 自らの専門分野で高度な知識や高い技能を修得し、それらとICTやデータサイエンスを活用して学校、家庭、地域、社会において教育理解を持って連携・協働すること
に意欲のある人
- 確かな学力と旺盛な知的好奇心、人間への深い理解を持って、教育協働に資する分野で活躍したいと考えている人

- 上記の求める学生像に加えて、外国人留学生では次のような人を求めています。
- 一定の日本語能力と大学教育を受けるに必要な基礎学力を持つ人
- 日本の文化や社会についての理解や経験を活かして国際的に活躍することをめざす人

②入学者選抜の基本方針

- 教育協働学科が求める学生を受け入れるために、次の入学者選抜を実施します。なお、各選抜区分については、学力の3要素を別表のとおり評価します。

- 学校推薦型選抜では、「大学入学共通テスト」・「小論文」・「実技検査」・「面接」・「演奏能力または競技成績に関する証明書」を課します。各専攻・コースにおいて、以下の選抜方法を複数組み合わせることによって、学力(「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」)と専門への適性を確かめます。
- 「大学入学共通テスト」では、各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、高等学校での学習の達成度 について評価します。
- 「小論文」では、提示された資料に対する理解力や思考力、発想力、論理的構成力を総合的に評価しま すが、文章表現力についても評価の対象とします。
- 「実技検査」では、専門的な実技能力や表現力などを評価します。
- 「面接」を通じて、論理性や表現力、応用能力をみるとともに、各専門分野への熱意や適性について総合的に評価します。
- 「演奏能力または競技成績に関する証明書」では、募集要項に示された出願資格に関わる大会における競技会・発表会の成績で、実技能力を評価します。
- 専門への意欲と教育課題への関心を確かめるために、「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。

- 一般選抜(前期日程)では、「大学入学共通テスト」・「教科・科目に係る個別テスト」・「小論文」・「実技検査」を課します。各専攻・コースにおいて、以下の選抜方法を複数組み合わせることによって、学力(「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」)と専門への適性を確かめます。
- 「大学入学共通テスト」では、各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、高等学校での学習の達成度について評価します。
- 「教科・科目に係る個別テスト」では、大学で学ぶに十分な知識を習得したかどうか、さらに知識に基づく高度な思考力や洞察力、表現力を有しているかどうかを評価します。
- 「小論文」では、提示された資料に対する理解力や思考力、発想力、論理的構成力を総合的に評価しますが、文章表現力についても評価の対象とします。
- 「実技検査」では、専門的な実技能力や表現力などを評価します。
- 専門への意欲と教育課題への関心を確かめるために、「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。

- 一般選抜(後期日程)では、「大学入学共通テスト」・「教科・科目に係る個別テスト」・「小論文」・「実技検査」・「面接」を課します。各専攻・コースにおいて、以下の選抜方法を複数組み合わせることによって、学力(「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」)と専門への適性を確かめます。
- 「大学入学共通テスト」では、各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、高等学校での学習の達成度について評価します。
- 「教科・科目に係る個別テスト」では、大学で学ぶに十分な知識を習得したかどうか、さらに知識に基づく高度な思考力や洞察力、表現力を有しているかどうかを評価します。
- 「小論文」では、提示された資料に対する理解力や思考力、発想力、論理的構成力を総合的に評価しますが、文章表現力についても評価の対象とします。
- 「実技検査」では、専門的な実技能力や表現力などを評価します。
- 「面接」を通じて、論理性や表現力、応用能力をみるとともに、各専門分野への熱意や適性について総合的に評価します。
- 専門への意欲と教育課題への関心を確かめるために、「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。

③入学前に学習しておくことが期待される内容

- 高等学校卒業程度の基礎的な学力や技能を十分に習得したうえで、幅広い教養と大学で学ぶ専門分野の基礎力を身に付け、教育に関心を持って他者と協働できる心構えを涵養していることを期待しています。

【アドミッションポリシー(別表)】



【大学院教育学研究科】



【大学院連合教職実践研究科】



【特別支援教育特別専攻科】



【大学院学校教育学研究科】



【教育学部】

グローバル化、情報化の進展など変化の激しい予測困難な時代が到来し、教育現場では様々な対応が求められています。教員養成大学は、教育のデジタル化や新たなニーズへの対応など、学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、探究心を持って自律的に新しい知識・技能を学び続け、子ども一人ひとりの個別最適な学び、協働的な学びの充実を通じて、子どもの主体的な学びを支援する伴走者としての役割を果たし、多様な教育課題に対応して教育現場を担うことができる人材を養成することや、学校教員と連携し、協働して学校教育を支えることができる人材を育成することが社会から期待されています。

このような状況の下、本学教育学部では、実践的な教職能力を養う優れた教員養成教育を推進し、子どもの多様性の理解の下、幼児・児童・生徒一人ひとりの学びに寄り添い、子どもを能動的、自律的な学習者へと導くことができる学校教員を養成するとともに、教育への深い理解と高い専門的知識・技能をもって、様々な職業分野において他者と連携・協働して、多様な教育課題の解決のための新たな方法を創造することができる人材を育成することを目標とします。

この目標に基づき、所定の単位を修得することによって、これらの人材に必要なとされる資質・能力を身に付け、豊かな教養と知性ととも、優れた教職能力を持つ教諭・養護教諭として教育現場を担うことができると認められる者、又は学校現場における多様な教育課題に関する知識並びに教育課題を解決するための汎用的能力と特定領域の専門性を融合し総合的に活用することを通じて、学校・家庭・地域・企業等と連携・協働し、多様な教育課題の解決のための新たな方法を創造することができると認められる者に学士(教育学)の学位を授与します。

【学校教育教員養成課程】

豊かな教養と知性ととも、優れた教職能力を持つ教諭として教育現場を担うことができると認められる者に共通して必要とされる資質・能力について、次のとおり設定しています。

(1)豊かな教養と広い視野

- 人文、社会、自然、芸術、スポーツ等の学術的・実践的な基本的知識とアカデミックライティングなどの初年次に必要な基本的スキルを学び、キャリア形成に向けた、ICT活用能力、言語運用能力、コミュニケーション力、および論理的・批判的思考からなる汎用基礎力を身に付けている。
- 世界の多様性を理解し、異文化・多文化を受容できる寛容な態度を身に付けている。

(2)教職に必要な素養

- 教育の理念や教育に関する歴史及び思想、並びに教職の意義、教員の職務内容についての基礎的な理解ができています。
- 教職員や学校園外の専門家、家庭や地域等を含めた他者と連携し、協働して課題を解決することの重要性を理解している。
- 人権意識を有し、学校教育に関する社会的、制度的、経営的事項、学校安全に関する基礎的な知識や技能を身に付けている。
- 子どもを能動的、自律的な学習者として導くことの意義を理解している。

(3)指導内容の理解と実践力

- 幼稚園の保育又は小学校の各教科及び所属するコースに対応する中学校・高等学校の教科や教科外の指導に必要な専門的知識・技能の基本を身に付けている。
- 学校教育における教育課程編成の意義と基本原理を理解し、教職員の配置や施設の維持管理の観点や教科横断的な視点をもって組織的に教育課程を編成の上、実施するとともに、学校園の実態に応じてカリキュラム・マネジメントを行うことの重要性を理解している。
- 子どもの興味・関心を引き出す教材研究を行いながら、学習指導や保育・授業の設計、実践、評価、改善を行う仕組みを構想することができる。
- 学習環境の整備ができ、また、アクティブ・ラーニングを取り入れた「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた学習者を中心とする指導計画の立案や保育・授業づくりができる。

(4)子どもへの対応の理解

- 生徒指導の意義や理論を理解し、他の教職員や専門家等と連携し、児童生徒に応じた指導や集団指導を実践することができる。
- 教育相談の意義や理論と幼児・児童・生徒を支援するために必要となる基礎的知識を有し、組織的な取り組みや学校園外の専門家等と連携する重要性を理解している。
- 進路指導やキャリア教育の意義を理解し、これらの視点からの授業改善やカウンセリングの充実に必要となる基礎的な知識を身に付けている。
- 子どもの心身の発達と学習の過程についての基礎的な理解ができています。
- 外国にルーツのある子どもや障がいのある子どもなど、特別な配慮や支援を必要とする子どもの特性や社会的包摂の理念を理解した上で、学校教員として対応するために必要となる知識や支援の方法を身に付けている。
- 道徳教育の理論及び指導法、特別活動の指導法及び総合的な学習や探究の時間の指導法について理解している。

(5)ICTや教育データを活用する力

- 学校におけるICTの活用の意義を理解し、授業や学校園務等にICTを活用するとともに、幼児・児童・生徒のICT活用能力を育成するための保育や授業を構想することができる。
- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けて、幼児・児童・生徒の学習の改善を図るため教育データを適切に活用することができる。

(6)教職力量を自らひらく力

- 実践的な教育活動に参画し、幼児・児童・生徒と積極的にコミュニケーションをとることができる。
- 自らの学修を記録などに基づいて省察し、目標達成に向けて成長しようとする意欲を身に付けている。
- 生涯にわたる教師の成長の特性と学習のあり方を理解の上、学び続ける教師としての姿勢や態度を身に付けている。

【養護教諭養成課程】

豊かな教養と知性ととも、優れた教職能力を持つ養護教諭として教育現場を担うことができると認められる者に共通して必要とされる資質・能力について、次のとおり設定しています。

(1)豊かな教養と広い視野

- 人文、社会、自然、芸術、スポーツ等の学術的・実践的な基本的知識とアカデミックライティングなどの初年次に必要な基本的スキルを学び、キャリア形成に向けた、ICT活用能力、言語運用能力、コミュニケーション力、および論理的・批判的思考からなる汎用基礎力を身に付けている。
- 世界の多様性を理解し、異文化・多文化を受容できる寛容な態度を身に付けている。

(2)教職に必要な素養

- 教育の理念や教育に関する歴史及び思想、並びに教職の意義、教員の職務内容についての基礎的な理解ができています。
- 教職員や学校園外の専門家、家庭や地域等を含めた他者と連携し、協働して課題を解決することの重要性を理解している。
- 人権意識を有し、学校教育に関する社会的、制度的、経営的事項、学校安全に関する基礎的な知識や技能を身に付けている。
- 子どもを能動的、自律的な学習者として導くことの意義を理解している。

(3)養護実践力

- 養護の理念や思想、養護学、学校保健や学校安全に係る基礎理論・知識を学び、養護教諭の役割を明確に理解している。
- 健康観察や健康診断の意義や方法、保健室の役割やその機能について理解している。
- 子どもの心身の健康に関して、健康相談や救急処置に係る基礎的な知識・技能を身に付けている。
- 学校におけるICTの活用の意義を理解し、保健管理や保健教育等の実践や学校園務等にICTを活用することができる。

(4)子どもへの対応の理解

- 生徒指導の意義や理論を理解し、他の教職員や専門家等と連携し、児童生徒に応じた指導や集団指導を実践することができる。
- 教育相談の意義や理論と幼児・児童・生徒を支援するために必要となる基礎的知識を有し、組織的な取り組みや学校園外の専門家等と連携する重要性を理解している。
- 子どもの心身の発達と学習の過程についての基礎的な理解ができています。
- 外国にルーツのある子どもや障がいのある子どもなど、特別な配慮や支援を必要とする子どもの特性や社会的包摂の理念を理解した上で、学校教員として対応するために必要となる知識や支援の方法を身に付けている。
- 道徳教育の理論及び指導法、特別活動の指導法及び総合的な学習や探究の時間の指導法について理解している。

(5)教職力量を自らひらく力

- 実践的な教育活動に参画し、幼児・児童・生徒と積極的にコミュニケーションをとることができる。
- 自らの学修を記録などに基づいて省察し、目標達成に向けて成長しようとする意欲を身に付けている。
- 生涯にわたる教師の成長の特性と学習のあり方を理解の上、学び続ける教師としての姿勢や態度を身に付けている。

【教育協働学科】

豊かな教養と知性ととも、学校現場における多様な教育課題に関する知識並びに教育課題を解決するための汎用的能力と特定領域の専門性を融合し総合的に活用することを通じて、学校・家庭・地域・企業等と連携・協働し、多様な教育課題の解決のための新たな方法を創造することができると認められる者に共通して必要とされる資質・能力について、次のとおり設定しています。

(1)豊かな教養と広い視野

- 人文、社会、自然、芸術、スポーツ等の学術的・実践的な基本的知識とアカデミックライティングなどの初年次に必要な基本的スキルを学び、キャリア形成に向けた、ICT活用能力、言語運用能力、コミュニケーション力、および論理的・批判的思考からなる汎用基礎力を身に付けている。
- 世界の多様性を理解し、異文化・多文化を受容できる寛容な態度を身に付けている。

(2)教育理解

- 社会や教育現場のグローバル化や多様な子どもへの対応を理解し、学校や地域等と連携・協働しながら課題解決にあたる教育協働人材としての意欲や態度を身に付けている。
- 教育の理念や歴史及び思想、子どもの発達と心理の理解、教育制度全般や学校の組織と役割の理解等の教育の基礎理論、学校安全及びICTや教育データの活用に関する理解を含む教育についての基礎的知識を身に付けている。

(3)協働力

- 他者と協働して課題を分析し、その課題を整理することができる。
- 他者と協働して課題解決に向けてのプランを策定することができる。
- 課題解決プランを他者と協働して実行するための実践力を身に付けている。

(4)探究力

- エビデンスに基づき、客観的に課題を分析することができる。
- 課題発見・解決や新たな価値創出に向けて探究するための計画を立案することができる。
- 諸分野の知見を集約し組み合わせて、横断的な観点から探究することができる。

(5)専門的知識・技能

- 所属する専攻・コースの分野に係る専門的知識・技能を備えている。
- 専門的知識・技能を用いて、専門分野に関わる内容やその意義を社会に向けて的確に伝達、表現することができる。
- 専門的知識・技能を主体的に活用し、行動することができる。

(6)教育協働実践力

教育的視点からキャリア形成の意義を学ぶとともに、教育協働人材のための汎用的スキルを修得し、学校・家庭・地域・社会と連携・協働することで、グローバル時代における多様な課題を解決するために実践的に行動できる。

【教育学部】

教育学部の教育課程は、卒業認定・学位授与の方針を踏まえ、教育学部各課程・学科において定める卒業時に必要とされる資質・能力を育成することを目的として、教育職員免許法を踏まえながら、教員養成フラッグシップ大学が加える科目を設定した上で、次のように体系的に編成し、実施するものとします。

教養教育については、大学全体の教員養成及び教育・学習支援人材養成の機能の充実・強化を支えるため、「教養教育ポリシー」を策定し、多様性の理解の下、学術的な基本的知識を獲得させるとともに大学生活に必要な資質・能力やキャリア形成に必要な資質・能力を育む教養教育の質的充実を図ります。

教員養成教育では、教育職員免許法を踏まえながら、学校教育の基礎的知識を修得し、指導内容と子どもへの対応の理解を深め、実践的な力量を育成するため、教育課程を編成します。また、義務教育学校や教科担任制への対応として、複数の免許状取得に力点を置いた教育課程を編成します。教育・学習支援人材のための教育では、教育の基礎的知識と専門的知識・技能を修得し、他者と連携し、協働して諸課題の解決を図ることができる力量を育成することを目的として教育課程を編成します。さらに、副専攻制度を拡充し、資格やその他の教育課題に対応するプログラムを編成し、学習者のキャリア志向に応じた主体的な履修を可能とするとともに、修了者には学習証明書等を授与し、学びを可視化します。

教育課程の編成にあたっては、卒業認定・学位授与の方針に定める「卒業時に必要とされる資質・能力」と授業科目との関連性について、教員と学生間で共有することを目的として、シラバスに明示するとともに、カリキュラムマップやナンバリングを活用して、その体系性を可視化します。また、学生の実践的な力量を育成する取り組みとして、インターンシップ活動やサービスラーニングを導入するとともに、その活動を支援する体制の充実を図ります。

学生が学修を進める過程においては、履修登録科目の登録上限数（CAP制）を設定し、単位の実質化の取り組みを充実させます。特に、学生の主体的な学修の促進を目的として、アクティブ・ラーニングの要素を取り入れた授業を拡大し、ラーニング・コモンズなどの環境整備を推進するとともに、電子ポートフォリオを活用して、学修のふりかえりと指導教員からの指導・助言を踏まえた、学生自身による主体的な学びを支援します。

各授業は、講義・演習・実験・実習などの方法により展開します。指導技術を向上させるための研修や教員同士での授業参観などを定期的に開催し、授業改善に取り組みます。

成績評価は、全学共通の評価基準を明示の上、プレゼンテーション、レポート、試験など、多様な方法により行うとともに、それらがどのように成績に反映されるか、シラバスに明記します。

評価基準の明確化や厳格な成績評価の実現に寄与することを目的として、GPA制度を導入し、その算定方法や活用方法を明示することによって、学習への意欲の増進や指導教員による履修指導の促進を図ります。

学生の学修成果については、履修カルテにおいて、「卒業時に必要とされる資質・能力」への到達度を把握するとともに、学生、教員及び就職先などからのアンケートを通じて、教育課程の編成及び実施についての評価・改善に取り組みます。

【学校教育教員養成課程】

学校教育教員養成課程の教育課程は、卒業認定・学位授与の方針を踏まえ、卒業時に必要とされる資質・能力を育成することを目的として、教育職員免許法を踏まえながら、教員養成フラッグシップ大学が加える科目を設定した上で、次のように体系的に編成し、実施するものとします。

(1)豊かな教養と広い視野

大学全体の教員養成及び教育・学習支援人材養成の機能の充実・強化を支えるため、「教養教育ポリシー」を策定し、多様性の理解の下、学術的な基本的知識を獲得させるとともに大学生活に必要な資質・能力やキャリア形成に向けた言語運用能力、ICT活用能力などを育む教養教育の質的充実を図る。

(2)教職に必要な素養

教育の理念や教職の意義、教員の役割、学校の役割、学校安全などに関する基本的知識と子どもを自律的な学習者へと導くことの意義を学ぶために教職専門科目とフラッグシップ指定科目を体系的に編成する。

(3)指導内容の理解と実践力

保育内容や、教科や教科外指導に必要な専門的知識と技能を身に付け、教育課程編成の意義を理解し、アクティブ・ラーニングを取り入れた学習者を中心とする指導計画の立案や保育・授業づくりのための資質・能力を育成するため、コース専門科目と教職専門科目、並びにフラッグシップ指定科目を体系的に編成する。

(4)子どもへの対応の理解

生徒指導や教育相談の意義や理論を理解し、道徳教育の理論及び指導法、特別活動の指導法及び総合的な学習や探究の時間の指導法、特別な配慮や支援を必要とする子どもに対応するために必要となる知識や支援の方法を身に付けるため、教職専門科目とフラッグシップ指定科目を体系的に編成する。

(5)ICTや教育データを活用する力

ICTや教育データを学校教育に活用する意義や方法に関する基礎的な知識と技能を身に付けるため、教職専門科目とフラッグシップ指定科目を体系的に編成する。

(6)教職力量を自らひらく力

目標達成に向けて成長しようとする意欲や学び続ける教師としての姿勢や態度を育成するため、教職専門科目とフラッグシッ指定科目を体系的に編成する。

(7)授業の実施・成績評価・授業改善

- 各授業は、講義・演習・実験・実習などの方法により展開する。
- 成績評価は、全学共通の評価基準を明示の上、プレゼンテーション、レポート、試験など、多様な方法により行うとともに、どのように成績に反映されるか、シラバスに明記する。
- 指導技術を向上させるための研修や教員同士での授業参観などを定期的に開催し、授業改善に取り組む。

【養護教諭養成課程】

養護教諭養成課程の教育課程は、卒業認定・学位授与の方針を踏まえ、卒業時に必要とされる資質・能力を育成することを目的として、教育職員免許法を踏まえながら、教員養成フラッグシップ大学が加える科目を設定した上で、次のように体系的に編成し、実施するものとします。

(1)豊かな教養と広い視野

大学全体の教員養成及び教育・学習支援人材養成の機能の充実・強化を支えるため、「教養教育ポリシー」を策定し、多様性の理解の下、学術的な基本的知識を獲得させるとともに大学生活に必要な資質・能力やキャリア形成に向けた言語運用能力、ICT活用能力などを育む教養教育の質的充実を図る。

(2)教職に必要な素養

教育の理念や教職の意義、教員の役割、学校の役割、学校安全などに関する基本的知識と子どもを自律的な学習者へと導くことの意義を学ぶために教職専門科目とフラッグシップ指定科目を体系的に編成する。

(3)養護実践力

養護の理念や思想、養護学、学校保健や学校安全、子どもの心身の健康に関する健康相談や救急処置に係る基礎理論・知識を学び、養護教諭の役割を明確に理解するとともに、健康観察や健康診断の意義や方法、保健室の役割やその機能について理解することができるよう、ICT活用の実践感を盛り込む養護学専門科目を体系的に編成する。

(4)子どもへの対応の理解

生徒指導や教育相談の意義や理論を理解し、道徳教育の理論及び指導法、特別活動の指導法及び総合的な学習や探究の時間の指導法、特別な配慮や支援を必要とする子どもに対応するために必要となる知識や支援の方法を身に付けるため、教職専門科目とフラッグシップ指定科目を体系的に編成する。

(5)教職力量を自らひらく力

目標達成に向けて成長しようとする意欲や学び続ける教師としての姿勢や態度を育成するため、教職専門科目とフラッグシップ指定科目を体系的に編成する。

(6)授業の実施・成績評価・授業改善

- 各授業は、講義・演習・実験・実習などの方法により展開する。
- 成績評価は、全学共通の評価基準を明示の上、プレゼンテーション、レポート、試験など、多様な方法により行うとともに、どのように成績に反映されるか、シラバスに明記する。
- 指導技術を向上させるための研修や教員同士での授業参観などを定期的に開催し、授業改善に取り組む。

【教育協働学科】

豊かな教養と知性ととも、教育的視点から学校・家庭・地域・社会と連携・協働することによって、グローバル時代における多様な課題の解決を図ることができると認められる者に共通して必要とされる資質・能力を育成することを目的として、教育課程は以下のとおり編成し、実施するものとします。

(1)豊かな教養と広い視野

大学全体の教員養成及び教育・学習支援人材養成の機能の充実・強化を支えるため、「教養教育ポリシー」を策定し、多様性の理解の下、学術的な基本的知識を獲得させるとともに大学生活に必要な資質・能力やキャリア形成に向けた言語運用能力、ICT活用能力などを育む教養教育の質的充実を図る。

(2)教育理解

社会のグローバル化や多様な子どもへの対応を理解し、学校や地域等と連携の上、協働して課題解決にあたる教育協働人材としての基礎である教育の理念や教育の歴史及び思想、子どもの発達と心理の理解、教育制度全般や学校の組織と役割の理解などの教育の基礎理論や、学校安全の学修を通して、学校や地域における諸課題に対して教育的視点から解決を図ろうとする意欲や態度を醸成するため、教育理解科目における「教育基礎セミナー」、「ダイバーシティと教育」、「現代社会と子どもの権利」、「教育総論」、「学校の役割と経営」、「学校安全」、「教育データの活用Ⅰ・Ⅱ」などにより体系的に編成する。

(3)協働力

他者と協働して問題を分析のうえ整理し、課題解決に向けてのプランを策定することができる能力や課題解決プランを他者と協働して実行するための実践力を育成するため、協働共通科目「教育協働概論Ⅰ・Ⅱ」、「教育協働実践デザイン演習」などにより体系的に編成する。

(4)探究力

現状を分析し、変革にあたっての課題を整理する力や教育に関する知識、汎用的な基礎力、専門的知識・技能を組み合わせ、自ら課題を発見し、解決に向けて探究する力を育成するため、各自が所属する専攻で設定したテーマに関わる課題解決型学習(PBL)の科目である「創造探究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」を編成する。

(5)専門的知識・技能

所属する専攻・コースの分野に係る専門的知識・技能を備え、専門分野に関する内容やその意義を社会に向けて的確に伝達、表現することができる能力や、主体的に物事を考え、行動することに専門的知識・技能を活用できる能力を育成するため、専門教育科目群において各自が所属する専攻に対応する専攻共通科目及び専攻分野科目を体系的に編成する。

(6)教育協働実践力

教育的視点からのキャリア形成や教育協働人材のための汎用的スキルを修得に向けて、学校・家庭・地域・社会と連携・協働することで、グローバル時代における多様な課題を解決するために実践的に行動できる能力を育成するため、協働共通科目「教育協働とキャリアスタディ」、「アントレプレナーシップ概論Ⅰ・Ⅱ」、「教育コラボレーション演習」、「コミュニケーション実践演習」、「連携協働活動演習」などにより体系的に編成する。

(7)授業の実施・成績評価・授業改善

- 各授業は、講義・演習・実験・実習などの方法により展開します。
- 成績評価は、全学共通の評価基準を明示の上、プレゼンテーション、レポート、試験など、多様な方法により行うとともに、どのように成績に反映されるか、シラバスに明記する。
- 指導技術を向上させるための研修や教員同士での授業参観などを定期的に開催し、授業改善に取り組む。

全国から集まる 大教大生

中国地方

大教大の魅力は？

学生の数が多い事と、敷地が広い事です。私の専門は理科なので、実験室や授業で利用した畑など様々な設備を使用しました。また、駅から大学までの道も長くはありますが、友達と話す時間としてはとてもいい道のりだと思います！

友達づくりのきっかけなど

私はサークルや同じ学科で仲良くなりました。他にもバイト先や実習先の友達もとても大切です。もともと私は人見知りなのですが、様々なコミュニティに入り、その中で気の合う友達と巡り合うことができたなと感じます。

教育協働学科
理数情報専攻 自然科学コース
横堀 凜さん



近畿地方

大教大を選んだ理由は？

教員になるにあたり、将来的にICTを活用した教育は一つの大きなテーマになると同時に大きな課題になると思いました。以前より大教大を志望していましたが、新たに生まれるICT教育という道を作り上げる一員になり、将来の子どもたちの能力をさらに引き上げる教育を作りたいと思い、ICT教育コースを選びました。

大教大の魅力は？

周りに教員をめざす学生が多く、自分の専門教科・科目の教育の課題について友達と語り合うことで教育について多くの知見を得ることができます。また教育についての情報を知れる授業が豊富で、教育に関するさまざまなイベントにも関わることができるところです。

学校教育教員養成課程
次世代教育専攻 ICT教育コース
稲葉 龍治さん

中国地方
入学者数
172名

四国地方
入学者数
130名

九州地方
入学者数
85名

大教大を選んだ理由は？

私は、日本語教員免許取得と国語科の中学校教諭免許が取得したいと考え、どちらも取得することができるという理由から大阪教育大学を選びました。また、高校時代の担任の先生におすすめされたことも選んだ理由の一つです。

大教大の魅力は？

大阪教育大学の魅力は、学部が一つであることから、同じ目標を持つ仲間と共に学べる点です。志を共有する仲間がいることで互いに刺激を受け、自分の力を磨き上げ、さらに高めることができるところに魅力を感じます。

教育協働学科
グローバル教育専攻
日本語教育コース
八島 世名さん



東北地方
入学者数
20名

中部地方
入学者数
191名

関東地方
入学者数
32名

近畿地方
入学者数
2,007名

中部地方

大教大の魅力は？

大教大の魅力は、学習環境が整っているところです。普段の授業カリキュラムに加え、インターンや実習など、学びたい事をとことん学べる、非常に適した環境です。また、教員をめざしている人が多いからか、大教大で出会う人はみんな人柄が良いなと感じます。

友達づくりのきっかけなど

学科内だけでなく、授業や実習、サークルやアルバイトなどを通して、様々な人との出会いを大切にすることです。大学生活は想像以上に短く、やりたい事に自ら挑戦することが大切です。そうした前向きな日々が、良い友達との出会いにも繋がると感じます。

学校教育教員養成課程
中等教育専攻 音楽教育コース
濱口 満衣さん



全国から 志願者・入学者が！

志願者数 8,052名
入学者数 2,660名

高卒認定試験・外国人留学生等を除く
(過去3年(令和6~8年度))

北海道地方

大教大の魅力は？

大教大には学校教育教員養成課程に加え、教育協働学科があり、多様な学びが展開されています。また、全国各地から学生が集まっていることも特徴です。西日本最大規模の大教大で多くの人と関わることで自然と自分自身の視野が広がっていくことが大きな魅力だと思います。

友達づくりのきっかけなど

同じ目標を持つ学部仲間と授業や実習を一緒に乗り越える中で自然と仲良くなりました。サークルでは同じ趣味を通して他の専攻・コースの学生と仲良くなることができました。普段の授業だけでは出会えない友人ができることもサークルや部活動の魅力の一つです。

養護教諭養成課程
森田 莉衣奈さん



関東地方

大教大を選んだ理由は？

私は国立大学でスポーツを学びたいと考えており、後期入試でそれを満たす、大教大を選びました。さらに調べると、全力で打ち込める部活や豊かな自然、教員免許の取得といった魅力まで備わっており、まさに自分の理想に合う環境だと確信しました。

大教大の魅力は？

キャンパス周辺は緑に囲まれ、落ち着いた学業や部活動に打ち込める環境がある一方で、電車で数駅行けば大阪の中心地へもアクセスできます。自然を感じながらのびのびと学び、休日は都市部で刺激を受けられるバランスの良さが魅力です。

教育協働学科
教育コミュニティ支援専攻 スポーツ健康コース
今村 太亮さん



九州地方

大教大を選んだ理由は？

もともと教育の道に進みたいと考えていて、大学を探していた時に大阪教育大学を見つけました。地元を離れなければならないことの不安はありましたが、自分と同じような夢を持つ人たちと高め合って勉強したいと思ったことが一番の理由です。

友達づくりのきっかけなど

サークルに所属することです。私は元々人見知りだということもあり、自分から話しかけに行くことができなかったのですが、サークルの新歓イベントに行ったときにたくさんの先輩や同期が話しかけてくれたことでたくさんの人と仲良くなることができました。

学校教育教員養成課程
次世代教育専攻 教育探究コース
妹尾 栞奈さん



大教大を選んだ理由は？

中学生の時から、地球環境のことについて興味があり、地球環境のことについて学べる学部を探していました。そんな時に、もう一つ興味のあった教育の分野と環境の分野が学べる学部が大阪教育大学にあったからです。

大教大の魅力は？

教育大学であるから、教員志望の人ばかりだと思っていましたが、教師以外の道に進む人もたくさんいることです。教育の分野について突き詰めてきた先生から講義を受けることができですが、教師になるときだけではなく、社会に出たときに役立つことがたくさん学べてとても面白いのです。

教育協働学科
教育イノベーション専攻
環境安全科学コース
谷原 清音さん

四国地方

志望者・入学者数

中国地方	鳥取	島根	岡山	広島	山口	近畿地方	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山
志願者数	94名	40名	143名	231名	45名	志願者数	74名	194名	3770名	1168名	628名	199名
入学者数	38名	17名	39名	68名	10名	入学者数	23名	56名	1227名	402名	226名	73名

九州地方	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	四国地方	徳島	香川	愛媛	高知
志願者数	66名	20名	44名	26名	24名	26名	32名	34名	志願者数	88名	113名	87名	37名
入学者数	15名	10名	9名	10名	9名	5名	11名	16名	入学者数	39名	34名	37名	20名

関東地方	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	東北地方	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島
志願者数	24名	11名	8名	17名	18名	52名	20名	志願者数	5名	8名	14名	8名	4名	12名
入学者数	7名	4名	1名	2名	6名	7名	5名	入学者数	0名	3名	5名	4名	2名	6名

中部地方	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野	岐阜	静岡	愛知	三重	北海道地方	北海道
志願者数	26名	48名	70名	68名	19名	35名	38名	62名	146名	100名	志願者数	56名
入学者数	11名	15名	26名	23名	5名	11名	12名	18名	41名	29名	入学者数	23名

